

東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

学部入学案内 2017



Contents

卒業生からのメッセージ	4
世界から日本へ、日本から世界へ	9
東京外国語大学の強み 6つのGlobal	13
東京外国語大学の学び	20
注目1 4年間の段階的カリキュラム	22
注目2 世界教養プログラム	24
注目3 英語を学ぶ、英語で学ぶ	26
言語文化学部	28
国際社会学部	34
東京外国語大学で学べる世界14地域27言語	40
サポート体制	64
留学	65
就職	74
生活全般	80
さらなる学び	82
キャンパスライフ	83
附属図書館	84
サークル活動	86
東京外大生の生活	90
キャンパスマップ	92
平成29年度 入試情報	94
キャンパスへのアクセス	98

世界知の蓄積と、 地球社会との協働を

Accumulation of World Knowledge, Interaction with the Global Society

東京外国語大学は、創立以来世界の言語と文化、社会、そして国際関係について研究を重ねています。その使命は、国際社会に関する豊かな知識と理解をもった創造性あふれる人材を育成するとともに、東京外国語大学ならではの知を広く社会に還元すること。長年の研究で培われた有形・無形の知の蓄積を、日本はもとより、広く世界へ発信していきます。



Voice | 卒業生からのメッセージ | from Atsushi Takeuchi |

竹内 淳

サントリースピリッツ ウイスキーブランド部課長

1998年東京外国語大学外国語学部スペイン語専攻卒業

頑張れるものを見つける

サントリースピリッツで、ウイスキーの市場開拓を担当しています。人を幸せにできる仕事をしたい、それも生活に欠かせない「食」を通じてと考えて、就職活動は食品メーカーに的を絞って、最終的に選んだのがサントリーでした。

最初の3年間は営業職で、担当エリアの飲食店、小売店を回っていました。相手はみなプロですから、もっとお酒に詳しくならなければと思い、ウイスキーのつくり手に何度か話を聞くうちに、そのこだわりをもっと広く世に伝えたいなりました。それで、社内公募制度でマーケティング職に異動しました。最初に手がけたのは、ハーフロック専用のグラスでした。

東京外大のスペイン語科を志望したのは、将来は海外で仕事をしたい、少人数の大学で学びたいと思ったからです。今思えば、体制や設備の点ではマンモス大学にかなわない分、学生が自然に自分で考え、行動するようになるんだと思います。世間ずれせずにいられ

るのも、外大ならではのですね。

とはいえ、大学時代は授業もそこそこに、アメリカンフットボールにのめり込んでいました。私自身がそうでしたが、ルールを知らない初心者でも試合に出られて、仲間と汗をかいて練習すればチームが強くなっていくので、ものすごく充実感があるんです。アメフト部に打ち込んだ4年間で、今の自分の原点と言っても過言ではありません。後輩にもそういう経験をしてほしいと思い、今も月に一度は大学に出向いてコーチを務めています。

社会人になってからのめり込んだのがウイスキーです。休暇を利用してスコットランド、アイルランド、アメリカの名だたるウイスキーの蒸留所を訪ね歩いたおかげで、舌も肥え、知識も増えました。

高齢化・衰退化していたウイスキー市場に歯止めをかけるべく立ち上げられたハイボール復活プロジェクトは、トライ&エラーの繰り返しでした。「一軒



1998年東京外国語大学外国語学部スペイン語専攻卒業。同年サントリー(現・サントリーホールディングス)に入社。営業として池袋を担当。池袋だけでなく、日本全体に洋酒の美味しさを伝えたい思いから現職に異動。自分の「好き」を大事にお酒の美味しさを伝え続けている。

目から焼き鳥を片手に]飲んでもらおうと提案したジョッキ+レモン入りには、反対の声も上がりました。でも、あきらめずに押し通せたのは、好きなことだから、これならいけるという確信があったからです。

今手がけているのは、家で気軽に楽しめる缶入り商品です。これは、アメリカのグループ会社のバーボンを使った日米共同プロジェクト。オーストラリアでの展開も予定されていて、日本にしながらにして世界を相手に仕事ができる状況となりました。

手間暇を惜しまないのが日本人の良さ。日本発のグローバル化を進めて、日米の長所をうまくミックスさせた商品や企画を生み出していきたいと思っています。

語学だけをウリにする外大卒業生は、会社で印象の薄い存在になってしまいがちです。在学中に視野を広げ、誰よりも好きなもの、これなら頑張れるというものを見つけてほしいと思います。



Voice | 卒業生からのメッセージ | from Kaori Sato |

佐藤 香

青森テレビ アナウンサー

2011年東京外国語大学外国語学部日本語課程日本語専攻卒業

2011年東京外国語大学外国語学部日本語課程日本語専攻卒業。同年青森テレビに入社。情報番組取材班として青森の魅力取材・紹介。2015年春から新番組「わっち!!」のMCとして、週2日、生放送に出演している。

言葉の力で、人を元気にしたい

高校生の時に訪れたオープンキャンパスで、1・2年次の専攻語の勉強がキツイと耳にし、「選んだ言語が自分に合わなかったら」という不安もあって日本語専攻を志望しました。大学時代は、クラスの3分の2が海外からの留学生という環境の中で異文化に触れ、また比較言語学などの授業を通じて日本語への興味が深まりました。

小さい頃から家族に「アナウンサーになったら」と言われるほどのおしゃべり。アナウンサーを目指した直接のきっかけは「物事には普段は気づかない、見えない面がある」と意識するようになったことです。放送、報道の仕事ならそういう部分を多くの人に伝えられ

ると思いました。

将来は番組作りにも関わりたいと考え、地方局で自社制作番組の多い青森テレビを受験し、入社したのは東日本大震災の翌月。福島の実家が被災したこともあって、テレビの報道内容やアナウンサーの一言一言に神経を尖らせていました。時には、言葉に心がこもっていないと思うことも……。人を元気にすることもあれば、傷つけることもある「言葉の力」を改めてかみしめ、アナウンサーとしてあるべき姿を心に刻みました。

今は夕方の情報番組「わっち!!」のMCを務めています。「本来は人見知り」ですが、サービス精神と好奇心を

大切にグルメレポートや街歩きの取材に臨んでいます。大学で打ち込んだサークルのバンド活動はアナウンサーバンドに、1年次に学んだ朝鮮語はソウル取材にと、学生時代の経験が現在の仕事や生活につながることも少なくありません。急遽決まった香港取材では、突然の連絡にもかかわらず元同級生の留学生がガイドをしてくれたこともありました。

青森の夏の風物詩「ねぶた祭」では、取材する側から太鼓で参加する側となり、青森の行事や食で四季を感じるようになりました。これからもどどん街へ出て人とふれあい、もっと視聴者に近い存在になりたいと思っています。



Voice | 卒業生からのメッセージ | from Kyoichi Tanada |

棚田 京一

トヨタ自動車 常務役員

トヨタ・モーター・タイランド プレジデント

1979年外国語学部インドシナ語学科(タイ語)卒業

1954年東京生まれ。1979年旧トヨタ自動車販売に入社。2009年7月からタイ国トヨタ自動車取締役社長。12年4月トヨタ自動車常務役員就任後、15年4月アジア・中近東本部部長、トヨタモーター アジア パシフィック エンジニアリングアンド マニュファクチャリング取締役社長、トヨタモーター アジアパシフィック 取締役社長就任。

日本は相当変わった国という自覚を

将来、商社マンになりたいと思い、貿易で日本と関係の深いタイの言語を専攻しました。とはいえ、入学後はろくに勉強もせず、野球漬けの日々。硬式野球部のレギュラーとしてレフトの4番を務めました。学業成績は、笑ってばかりの「可々可々」。最後は「野球部野球語学科卒業(笑)」ということで、先生に卒業を認めていただきました。

卒業後はトヨタ自販(後にトヨタ自動車と合併)に入社。東南アジアを中心に、中近東やヨーロッパ、アメリカ、中南米など世界60カ国を飛び回るなかで、日本とは文化・宗教も仕事に対する考え方も違うことを理解したうえで、相手とつきあうことの大切さを学びま

した。相手の立場に立って考えることの大切さを理解しなかり、真のグローバル化は達成できないと思います。

大きな転機となったのは、40代で人事部門を経験したこと。技能系人事を任された私は、農道を車で走って工場を回り、現場の人たちと話をしました。夜は研修所で寝泊まりし、血気盛んな男たちと酒を酌み交わしながら、トヨタの方針について理解を求めます。グローバルとはかけ離れた世界でしたが、現場でものづくりの大切さを学び、本当の意味で「メーカーの人間」になることができました。営業畑を歩いてきた私にとって、生産・製造と販売の両方を経営的な視点から俯瞰でき

たことは、後に経営の仕事をするうえでとても役立ちました。

多くのアルバイトを経験したことも、社会に出てから役に立ちました。家庭教師や土木作業、天津甘栗売り、野球場の掃除などを通して多くの出会いがありました。若い頃に人間に関心を持ち、コミュニケーション力を磨いたことは、私にとって大きな財産。学生時代は好奇心を持ち、挑戦してほしい。その経験は、後で必ず生きてきます。

東京外大は、アットホームな雰囲気があり、同窓の先輩も後輩に温かく接してくれます。グローバルに活躍したい人にとっては、東京外大はワン・ノブ・ベストだと思います。



Voice | 卒業生からのメッセージ | from Naoko Sugita |

杉田尚子

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 調査国際部 専門職 主幹
1993年外国語学部英米語学科卒業

東京外大卒業後、一橋大学大学院に進学。
95年宇宙開発事業団(現JAXA)に入社。
2000年ハーバード大学大学院に留学。10
年公共政策分析博士号取得(政策研究大
学院大学)。現在に至る。

悩みながら道を切り拓いてきた

東京外大は少人数のアットホームな雰囲気、先生も素晴らしい方ばかりでした。1、2年目は語学が6コマもあり大変でしたが、難解なことを学ぶことも含め授業が本当に楽しかったですね。学外サークルの「模擬国連」にも熱中しました。それぞれが各国の代表となり、特定の議題について英語で議論するのですが、大学の授業との相乗効果でとてもためになりました。日本代表として全米大会に派遣されたことも貴重な経験となりました。

国際政治学の研究者になりたいと大学院に進学したのですが、一日中誰とも話さない日が続き「この生活を30歳まで続けるのはキツイなあ」と悩んで

いました。そんな折、就職情報誌で宇宙開発事業団(現JAXA)の紹介記事にあった『これからは国際的な調整をする人材が必要になる』という一節に惹かれ、入社を決めました。

入社8年目に文部科学省に出向し、海洋地球課で「地球観測による環境問題への貢献」というテーマに取り組みました。これが2003年のG8エビアンサミットで採り上げられ、04年の「第2回地球観測サミット」の開催につながりました。国際協力による地球観測を推進する過程にかかわることができました。

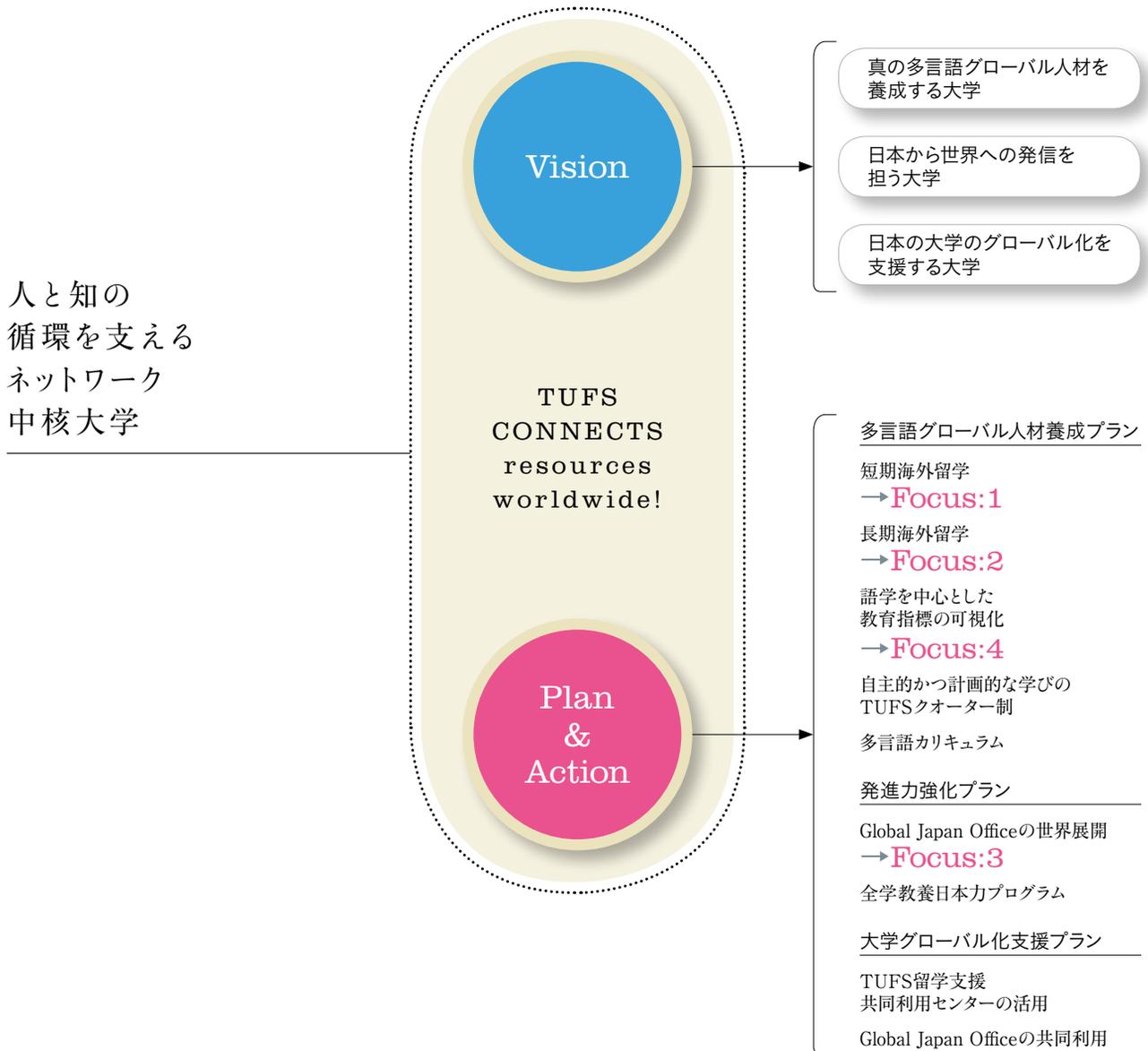
JAXAに復帰後は大学院に通い始めましたが、妊娠・出産し3年間の育

休を取得。育児・仕事に追われながらも、なんとか博士論文を書き上げることができました。現在は、調査国際部で調査分析を行っています。近年は宇宙活動の対象が産業などにも広がっているので、幅広く情報収集・分析に取り組んでいきたいと考えています。

子育てを通して、物事は計画通りにはいかないことを知りました。ですが、たとえ遠回りしても、その時々でアンテナに引っかけたことを一生懸命やれば必ず道は切り拓ける。とことん悩んで、人にも相談しながら最後の決断は自分で下すことを大切にしています。自分で決めた道を、どこまでも進んでいきたいと思っています。

世界から日本へ、日本から世界へ

東京外国語大学のスーパーグローバル大学構想

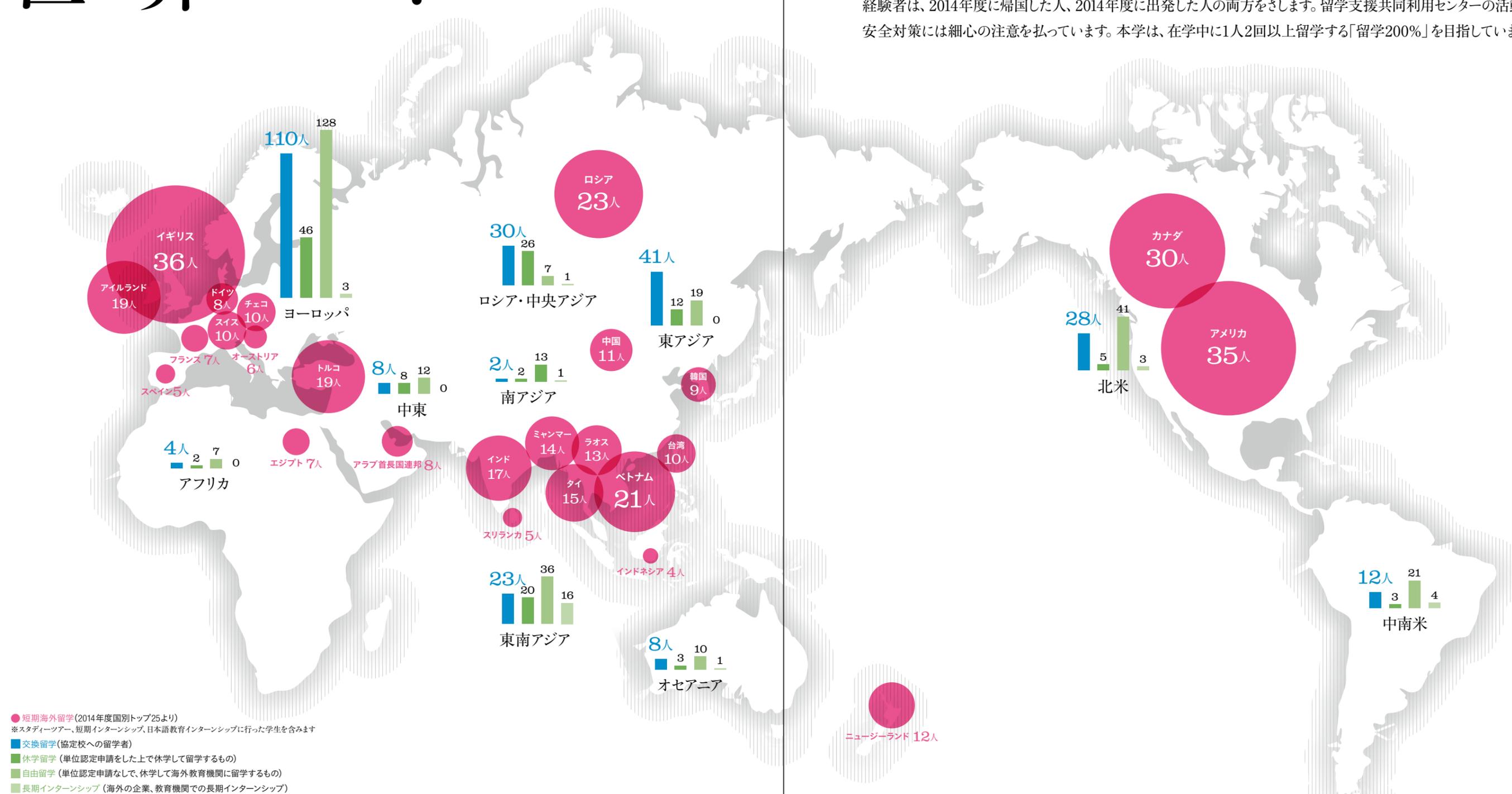


東京外国語大学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学(SGU)創成支援」事業において、「グローバル化牽引型大学」に採択されました。SGUとは、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現し、世界で活躍できるグローバル人材を社会に送り出す機能と体制を備えた大学です。本学では2024年度までに、人と知の循環を支えるネットワーク中核大学としての機能を強化し、グローバル社会を牽引する人材の育成を行うため教育・研究のグローバル化を進めています。

世界へ！

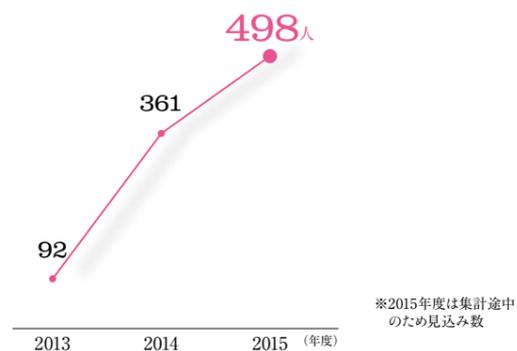
2014年度には、全学生の28.3%が留学を経験しました。

長期留学経験者は717人、短期留学経験者は361人。その合計は1078人で、学生数3812人の28.3%にあたります。経験者は、2014年度に帰国した人、2014年度に出発した人の両方をさします。留学支援共同利用センターの活動により、安全対策には細心の注意を払っています。本学は、在学中に1人2回以上留学する「留学200%」を目指しています。



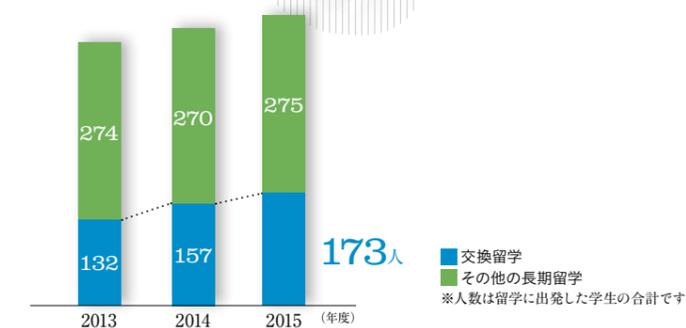
Focus 1 短期海外留学

夏学期、冬学期をつかった短期海外留学(ショートビジット)が格段に増加しています。



Focus 2 長期海外留学

長期海外留学は、交換留学を中心に増加しています。



3

Global Japan Officeの世界展開

海外の交流協定校に「日本語教育・日本教育」や「Joint Education Program」の拠点となるGlobal Japan Officeを設置しています。今後10年間の目標は、世界各地に38拠点です。



4

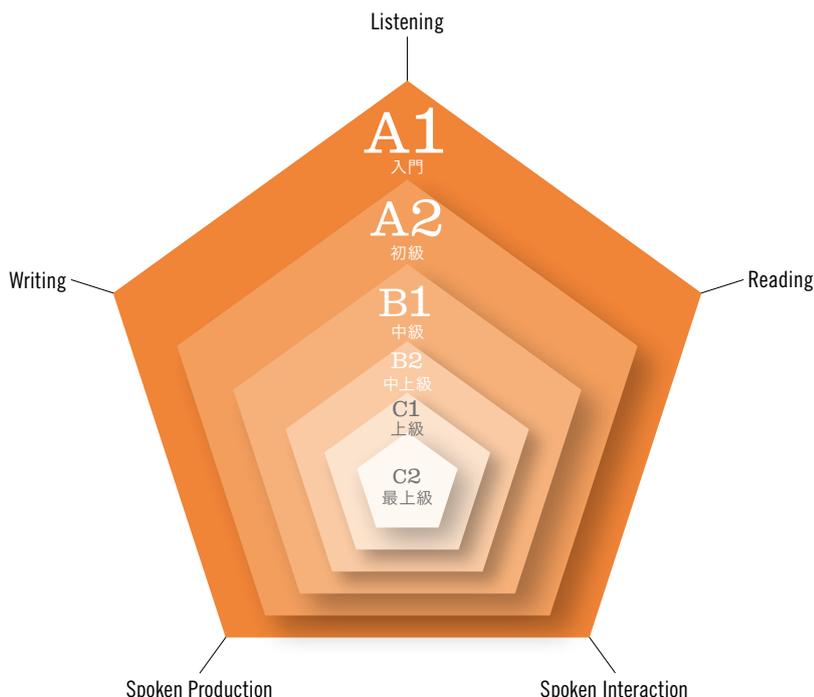
語学を中心とした教育指標の可視化 CEFR-J×27 Project

CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) とは、言語共通の習得度の指標です。東京外大で学べる27言語すべてをCEFR-Jによる統一基準で評価します

CEFR

- A1**
基礎レベルのユーザー: 入門
- A2**
基礎レベルのユーザー: 初級
- B1**
自立したユーザー: 中級
- B2**
自立したユーザー: 中上級
- C1**
卓越したユーザー: 上級
- C2**
卓越したユーザー: 最上級

CEFRはA1からC2までの6つの段階にわかれており、各レベルでSpoken Interaction、Spoken Production、Listening、Reading、Writingの5つの技能でレベルのチェックを図ります。CEFR-Jはさらに初・中級レベルを細分化したものです。



TUFS27言語

英語/ドイツ語/ポーランド語/チェコ語/フランス語/イタリア語/スペイン語/ポルトガル語/ロシア語/モンゴル語/中国語/朝鮮語/インドネシア語/フィリピン語/タイ語/ラオス語/ベトナム語/カンボジア語/マレーシア語/ビルマ語/ウルドゥー語/ヒンディー語/ベンガル語/アラビア語/ペルシア語/トルコ語/日本語

TOEIC800に達した学生数

2014年度: 1038人

2015年度: 1426人

Characteristics of Tokyo University of Foreign Studies

6つのGlobal

東京外国語大学の強み





Global G1

高校までの英語力をさらに磨く グローバルに通用する英語を身につける

東京外国語大学には、世界14地域27言語の授業が用意されており、入学したみなさんは受験時に選択した言語を中心に学びます。ただし、どの言語を選択しても、世界共通のコミュニケーション言語である英語の能力を高められるプログラムが用意されています。

英語を専攻言語とする学生^{※1}は、1・2年次では、両学部一緒に週5コマの英語授業を受講します^{※2}。「読む」「聴く」「書く」「話す」の技能を大学レベルまで高めるための授業だけではなく、英語を深く読み解き、英語を深く知るための専門的な授業もあります。

すべての学生に向けて用意されているのが、GLIP英語科目^{※3}です。ここでは高校レベルの英語を、学術研究やビジネス界で通用するレベルまでステップアップさせることを目的に、段階的に学んでいきます。留学、就職、大学院進学など各自の目的や専門に合わせて、柔軟な履修が可能です。英語を専攻言語としない学生も、GLIP英語科目により高い英語力を身につけることができます。

英語を学ぶ授業以外にも、英語で学ぶ授業（「英語による科目」）や英語学習支援センター（ELC）、留学生との共学など、英語力を伸ばすためのさまざまな仕組みが用意されています。英語力を向上させるための方策は、本学のすべての学生に開かれています。

英語圏の交流協定校

- アメリカ**
コーネル大学
カリフォルニア大学サンディエゴ校
サンディエゴ州立大学
ニューヨーク州立大学オルバニー校
ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校
- カナダ**
ブリティッシュ・コロンビア大学
レジャイナ大学
- イギリス**
ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院
リーズ大学
マンチェスター大学
エセックス大学
- アイルランド**
アイルランド国立大学コーク校
- ニュージーランド**
オークランド大学
ヴィクトリア大学ウェリントン校
- オーストラリア**
オーストラリア国立大学
メルボルン大学

英語圏で学ぶ英語は、本場であることが何より魅力です。交換留学制度や短期海外留学制度を使って世界に向かいましょう。

英語で学ぶコースのある交流協定校 短期海外留学制度

- 台湾**
国立台湾大学
- チェコ**
カレル大学
- スイス**
ジュネーヴ大学
- ドイツ**
マールブルク大学
- オーストリア**
ウィーン大学
- フランス**
パリ政治学院
- ブルネイ**
ブルネイ・ダルサラーム大学
- 中国**
北京大学
- インドネシア**
ガジャマダ大学
- カナダ**
ブリティッシュ・コロンビア大学
- アメリカ**
カリフォルニア大学サンディエゴ校
ニューヨーク州立大学オルバニー校
ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校
- イタリア**
トリノ大学/ボローニャ大学
- オランダ**
ライデン大学
- ロシア**
モスクワ国際関係大学/極東連邦大学
- スペイン**
バルセロナ自治大学
- イギリス**
ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院
マンチェスター大学

英語圏以外にも夏学期を中心に英語によるコースが開設されている協定校が多数あります。世界中から集まる仲間とともに学びます。

※1 受験時に、言語文化学部は「英語」、国際社会学部は「北西ヨーロッパ地域」「北アメリカ地域」を選択した学生
 ※2 国際社会学部の2年次は4コマ
 ※3 グローバル人材育成言語教育プログラム



ヴィクトリア大学ウェリントン校(ニュージーランド)



寧波大学(中国)

Global G2

2人に1人は長期留学へ 海外渡航はあたりまえのグローバル感覚

2015年に学生交流協定を結んだ大学

- パリ第7大学(フランス)**
- バルセロナ自治大学(スペイン)**
- ハノイ国家大学外国語大学(ベトナム)**
- カンピナス州立大学(ブラジル)**
- エアフィット大学(コロンビア)**
- 国立ラプラタ大学(アルゼンチン)**
- グルノーブル第三大学・スタンダール大学(フランス)**
- ブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ)**

本学の交流協定校は現在全世界に116校。その数は毎年増えていきます。「世界がキャンパス」の輪はさらに広がっていきます。



フィリピン大学(フィリピン)



ソフィア大学(ブルガリア)



カザフ国立大学(カザフスタン)

語

学を体で学び、文化や歴史を習得するには、その土地に行くことが何よりの早道です。

「世界」を学ぶ東京外国語大学の学生にとって、留学は必須アイテム。専攻する地域の言語を磨くため、約半数の学生が在学中に1年間の留学に出かけます。これは、本学が世界50の国や地域にある116の大学と学生交流のための協定を結び、交換留学プログラムを実現しているからです。

夏学期や冬学期には本学協定校が行うサマースクール、スプリングスクールに参加し、短期海外留学に行く学生も多くいます。2014年夏には、専攻地域単位での研修型短期海外留学プログラム[※]もスタートしました。

留学は、日本であたりまえだと思っていたこ

とが必ずしも通用しないということを直に体験できる貴重な機会です。日々新たな出来事や景色、文化、習慣の違いに遭遇していくことで、自分の視野を広げることができます。

一方で、留学先での生活、友人づくり、山のよう宿題、文化ギャップに悩まされることもあるでしょう。ですが、留学を通して身につけた生活能力や、そこで築いた友人のネットワークは一生の宝になります。

東京外国語大学の学生たちは、本学がもつ「世界がキャンパス」のネットワークを使って、世界に飛び出しています。

●関連記事

※2014年夏から、ベトナムやトルコなどへ、専攻1年生全員が参加する研修型短期海外留学プログラムが実施されています

Global G3

日常的に異文化にふれる
多言語が飛び交うグローバル・キャンパス！

東京外国語大学では、世界79カ国1地域から643人の留学生が学んでいます。その約半数は、学部や大学院の正規課程で学ぶ人たち。残りの約半数が、協定校からの交換留学生や文部科学省各種国費留学プログラムの留学生、研究生などです。

英語による科目の一部は、交換留学プログラム(ISEP科目)*と共通で開講されており、本学で学ぶ世界各地から来た留学生と日本人学生が机を並べ講義を受けたり、一緒に発表したりする授業もあります。このような交流の中でお互いの考え方の違いや共通点、社会・文化の多様性を感じることもあるようです。また、これらの授業を履修することは、本学の学生が留学先で英語の講義を受講するためのトレーニングにもなります。

外国語の授業では、留学生はティーチングアシスタントとしても活躍しています。留学生の友達が「先生」として教えてくれます。

キャンパス内の学生寮である国際交流会館は、1号館、2号館は留学生専用、3号館は日本人学生と留学生が入居しています。寮生たちは日常生活を通じて、仲間をつくり、そして互いの文化を尊重しあう経験を積んでいます。

このほか学内では、留学生と日本人学生の交流を深めるための催し物が、1年を通じて開催されています。



留学生の出身地別人数 (2015年5月調べ)

中国	247	ウクライナ	3	アゼルバイジャン	1
韓国	102	オーストラリア	3	アフガニスタン	1
ロシア	16	カナダ	3	イスラエル	1
インドネシア	15	コロンビア	3	イラク	1
イタリア	13	スロベニア	3	エクアドル	1
ベトナム	13	セルビア	3	オランダ	1
シンガポール	12	ネパール	3	ガーナ	1
タイ	12	マレーシア	3	ギリシャ	1
台湾	12	ミャンマー	3	クロアチア	1
ウズベキスタン	11	メキシコ	3	シエラレオネ	1
モンゴル	11	アルゼンチン	2	ジンバブエ	1
ドイツ	10	アルメニア	2	セネガル	1
ブラジル	10	ウガンダ	2	チェコ	1
フランス	8	オーストリア	2	ドミニカ	1
英国	7	カザフスタン	2	ニカラグア	1
アメリカ	6	グアテマラ	2	ノルウェー	1
エジプト	6	スウェーデン	2	ハンガリー	1
イラン	5	スリランカ	2	バングラデシュ	1
シリア	5	チュニジア	2	ベラルーシ	1
スペイン	5	ニュージーランド	2	ペルー	1
ポーランド	5	フィリピン	2	ポルトガル	1
カンボジア	4	ブルガリア	2	マケドニア	1
スイス	4	ベネズエラ	2	ミクロネシア	1
中国(香港)	4	モザンビーク	2	ヨルダン	1
トルコ	4	モロッコ	2	リトアニア	1
ラオス	4	ルーマニア	2	レバノン	1
インド	3	アイスランド	1	合計	643



*交換留学生が受講する科目。おもに英語により開講されており、交換留学生はもとより日本人学生も受講することができます

⇒ **72-73**
page



Global G4

世界旅行をキャンパスで体感
学内行事がグローバル



日本にいながらにして外国の雰囲気
を味わえるのが、東京外国語大学の
学園祭、外語祭です。

外語祭の最大の特徴は「多言語・多文化」。その「多言語」を象徴するのが、外語祭の一番の目玉である「語劇」です。語劇とは、各自が専攻する言語で上演する演劇のことです。多くの語劇は、2年生が中心になって行われます。実際に体を動かして演劇を創り上げることを通じて、それぞれの国の生きた言語や地域の文化の特徴を深く理解することになります。脚本から演出、字幕に大道具、演者まで、すべて学生の手によって作られます。

「多言語」が語劇ならば、「多文化」の象徴は実に多彩な世界の料理店でしょう。キャンパスの中央にある回廊には、各言語を専攻し

ている学生が開いている料理店が屋台を連ねます。珍しいデザインの看板、民族衣装に身を包んだ店員、見たこともないような文字で書かれたメニュー——。それに引き寄せられて実際に料理を口にすれば、きっと一度も体験したこともない味に出会えるでしょう。料理も貴重な文化の入り口です。

「多文化」は、料理店にとどまりません。キャンパスの至る所で世界の伝統芸能が見られるのも外語祭の醍醐味です。フラメンコ、ベリーダンス、インドネシア舞踊など、世界中の舞踊や音楽を間近で体感できます。

●関連記事

⇒ **40-63**
page

- 1/毎年秋の5日間で開催される外語祭。2014年は約4万人が訪れました。
- 2/中央アジアの民族衣装に身を包み笑顔で接客します。
- 3/料理店は材料調達、調理、会計などすべて学生自ら行います。チームワークが大切です。
- 4/ポルトガル専攻はタコのリゾットと本場の食感と風味を追求したエッグタルト、ライムカクテルで勝負。
- 5・6/語劇や舞踊サークルの出演を終え興奮した面持ちの学生たち。
- 8/2年生は日常の言語学習の成果を発表する機会として、専攻言語を用いて「語劇」を上演します。
- 7・9/世界のリズムと華やかな衣装が楽しい舞踊・ダンス系サークルの公演。

Global G5



▲地域や社会に開かれた学びの場
「オープンアカデミー」
▶東京外大生による府中市での
学習支援活動



日本をグローバルにする、 言語と世界理解をいかした社会貢献

地域社会や日本全国に向けた国際色豊かな、さまざまな社会貢献も東京外国語大学の特徴です。

学生のボランティア活動では、日本でくらす外国につながる児童生徒への学習支援や地域での活動を進めています。府中市での学習支援活動[※]は、その一環です。また、こうした子供たちの学習の助けになるよう、ポルトガル語、フィリピン語、スペイン語、ベトナム語で利用できる「算数」と「漢字」の学習支援教材をインターネットで公開し、無償で提供しています。

世界の諸言語の学習も、本学サイトで可能です。本学が開発した「TUFUS言語モジュール」がそれ。「発音」「会話」「文法」「語彙」の4つに分かれ、世界の27言語の教材がそろっています。英語については、アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語と種類も豊富です。

「日本語で読む世界のメディア」も本学ならではの活動です。アラビア語、ペルシア語、トルコ語で報じられた中東の新聞記事、ビルマ語、ベトナム語、インドネシア語による東南アジアの新聞記事、ベンガル語やウルドゥー語による南アジアの新聞記事を本学学生・大学院生が翻訳し、インターネットで発信しています。世界の人々の生の声を、日本の社会に届ける活動は、本学だからこそできること。

東京外国語大学は、学生の参加の下、日本をグローバル化する活動を展開しています。

●関連記事

⇒ **40-63**
page

※ボランティア活動スペースVOLASの取り組み。
府中国際交流サロン
児童学習支援、府中市教育委員会
日本語適応指導教室で活動しています



「TUFUS言語モジュール」



「日本語で読む世界のメディア」



毎年5月に行われる「学内競漕大会」には、本学に入学したばかりの新生、上級生、留学生、教職員らが参加します。東京外国語学校時代の1902年に始まり、2013年に100回を迎えた歴史と伝統のある行事です。



Global G6

はじまりはペリー来航。大学の起源がグローバル



本学ゆかりの人々
右上/中江兆民(1847-1901)一元校長
左上/二葉亭四迷(1864-1909)
一本学に在籍、元教師
右下/中原中也(1907-1937)一本学を修了
左下/岩崎民平(1892-1971)一元学長



1899年(明治32)に高等商業学校から独立し、1903年(明治36)に校舎を神田区錦町3丁目14番地に移転。当時の東京外国語学校の正門と校舎。

東

東京外国語大学の歴史は古く、その起源は江戸末期にさかのぼります。1853年(嘉永6)、ペリーが浦賀に来航し開国を要求したことで、江戸幕府は多くの外交文書を処理する必要に迫られました。しかし、人手が足りません。そこで、翻訳などのできる人材の養成を目的に誕生したのが、^{ばんしょうべしよ} 蕃書調所、本学の起源となる機関です。その後、明治維新により新政府が文部省を設置、教育の組織化・近代化が始まります。

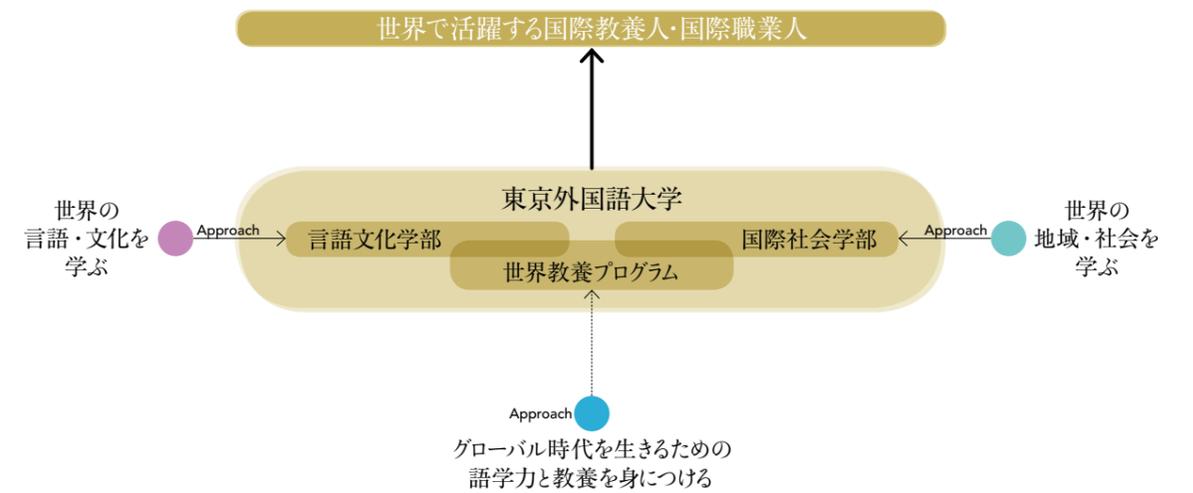
こうした動きの中で、1873年(明治6)、本学の前身である東京外国語学校[※]が設立されます。その後、東京商業学校(後の高等商業学校、現一橋大学)に統合されるも、1897年(明治30)に、高等商業学校の附属機関として、外国語学校が再興[※]。1899年(明治32)には

高等商業学校から独立し、東京外国語学校と改称されます[※]。

そして第2次世界大戦後の1949年(昭和24)に新制大学として東京外国語大学が誕生します。発足当初は12学科からなる外国語学部のみでしたが、徐々に学科や部局の数を増やし、大学院課程、アジア・アフリカ言語文化研究所、留学生日本語教育センターからなる大学へと発展しました。2012年には学部改編が行われ、言語文化学部と国際社会学部という2つの学部が誕生しました。

このように外国語と世界の諸地域に通じた専門家の養成を目指す本学の理念は連綿と受け継がれ、多くの卒業生が修得した言語と教養を武器に世界へと羽ばたいています。そして、本学は2023年、建学150年を迎えます。

※本学は、1873年を建学、1897年を創立、1899年を独立の年としています

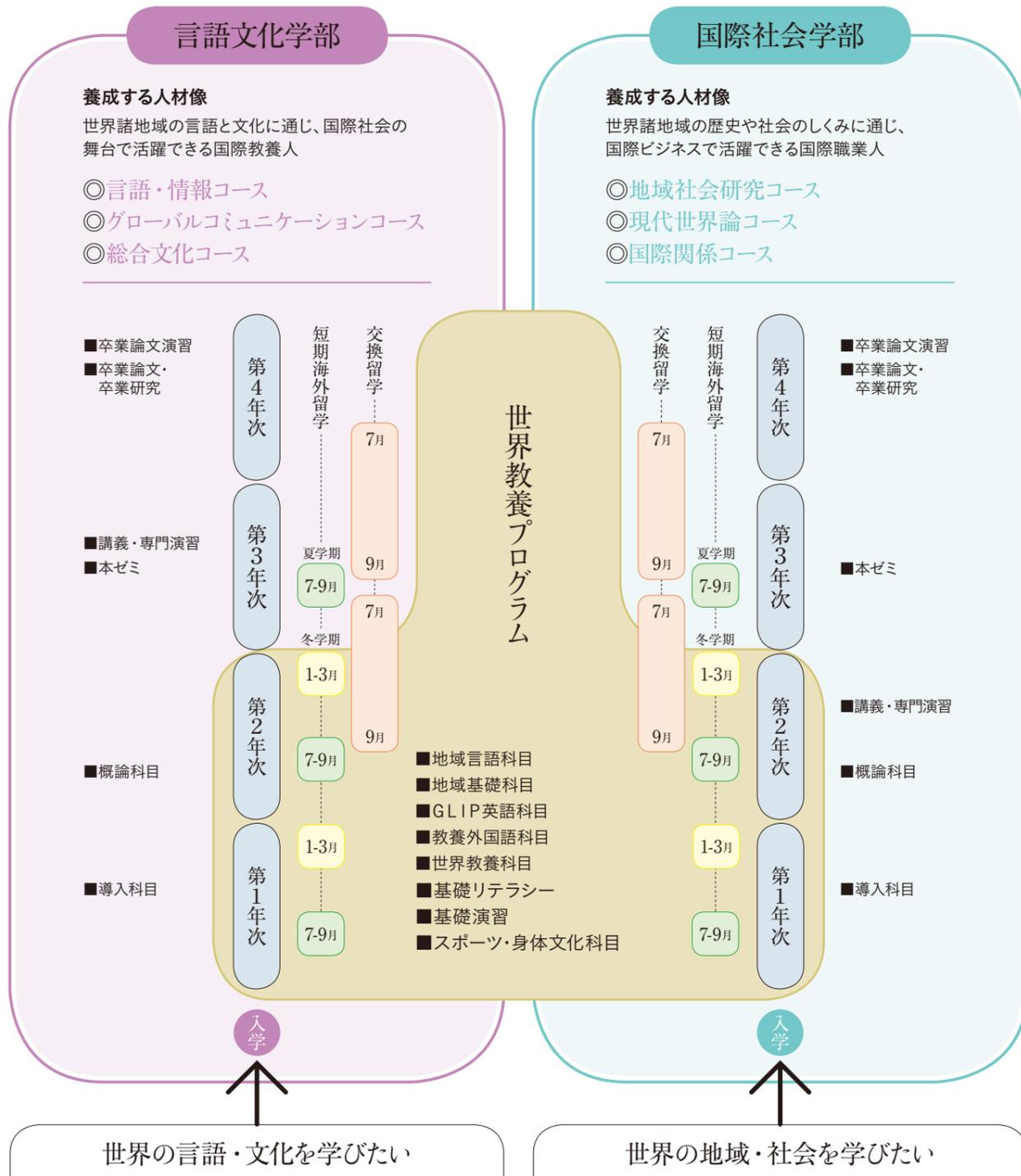


世界の地域言語と、グローバル言語としての英語を修得したい。グローバル社会で生活を営むうえで必要になる広汎な教養を身につけたい。地球社会(グローバル)と地域社会(ローカル)で生じている課題に取り組むための専門的な知識を身につけたい。東京外国語大学は、そんなあなたを待っています。

注1目 4年間の段階的カリキュラム

Curriculum of Four Years

東京外国語大学に入学した学生は、第1年次・第2年次で学部共通の世界教養プログラムを履修し、言語文化学部と国際社会学部のそれぞれ3つのコースに進学して、専門教育を学んでいきます。



地球社会と地域社会に
根ざすグローバル人材を養成

東京外国語大学に
入学したら…

■まずは世界教養プログラム

言語文化学部と国際社会学部のどちらに入学した学生も、まずは「世界教養プログラム」を履修して、専攻する言語とグローバル化時代に一市民・一職業人として生きるうえで必要となる基礎的な教養を身につけていきます。

《世界教養プログラム》

世界教養プログラムで受ける授業には、入学時に選択した言語・地域に応じた「地域言語科目」「地域基礎科目」、基礎学力を養う「基礎リテラシー」「基礎演習」、地球社会に生きる一市民としての教養を身につける「世界教養科目」、言語を学ぶ「GLIP英語科目」「教養外国語科目」などがあります。

専門課程は
どうなっている？

■第1年次～第2年次では……

第1年次は、それぞれの学部で開講されている各コースの導入科目を履修し、進学コースを選びます。第2年次は、自分の興味関心にあった概論科目を履修し、指導教員を選んで大学で専門的に学ぶ分野を決めます。

■コースに進む

第3年次になるとさらに専門性の高い選択科目を履修しながら、指導教員の本ゼミを受講します。専門性を高めながら、他コースや他学部の授業を関連科目として受講することで、知識の補強を図ることもできます。

《専門課程》

- ◎言語文化学部
 - 言語・情報コース
 - グローバルコミュニケーションコース
 - 総合文化コース

- ◎国際社会学部
 - 地域社会研究コース
 - 現代世界論コース
 - 国際関係コース

以上のコースがあります。

■卒業論文または卒業研究で総仕上げ

第4年次になったら、指導教員の指導の下で、卒業論文を執筆するか、または卒業研究に取り組みます。これが大学での専門的な学修の総仕上げとなります。

留学は？

■留学をしても4年間で卒業

交換留学制度(→p.65)を利用して、第3年次に留学する人が多いのが本学の特徴です。ただし、留学先によっては、第2年次春学期が終わった時点で留学することも可能です。留学先で修得した単位は卒業単位に算入され、その場合は、第3年次秋学期に復学し、4年間で卒業することができます。このほか、夏学期、冬学期を利用して短期海外留学に参加する人も増えています。2016年度の夏学期には世界33カ国1地域へのプログラムが実施されます。



世界教養プログラム

Global Liberal Arts Program

世界教養プログラムは、グローバル時代に生きる一市民・一職業人として基礎的な教養を身につけるための学部間共通プログラムです。第1年次・第2年次を中心に全学生が学びます。

地域言語科目 地域基礎科目

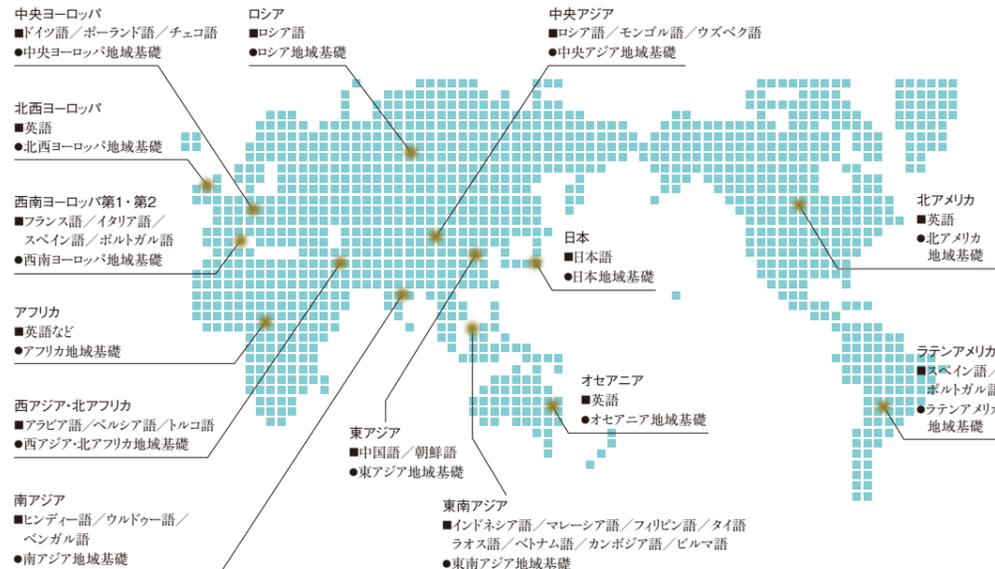
東京外国語大学ならではの、全地球をカバーする14地域27言語の専門的な教育プログラムをそろえています。各言語には、それぞれの文化的・社会的背景があり、それは地域基礎科目で学びます。p.40「14地域27言語のラインナップ」をご覧ください。

授業科目区分	科目の説明
地域言語科目	言語を修得することを目的とした授業科目です。入学時に選択した各地域の言語は地域言語Aとして必修です。加えて、各自の興味や関心あるいは必要に応じて他地域の言語などを地域言語Cとして履修することも可能です。
地域基礎科目	各自が専攻する地域についての理解を深めるために開設されている授業科目です。各地域の文化・社会についてさまざまな観点から基礎的・総合的に理解することを目的として、1～2年次の間に履修します。専攻地域以外についての地域基礎科目を受講することも可能です。

《世界14地域27言語》

- 履修する地域言語科目
- 履修する地域基礎科目

※p.40の東京外国語大学で学べる世界14地域27言語を参照



GLIP英語科目

英語の運用能力を高めるための授業科目です。Interactive English、Academic English、Career English、Intensive Englishの4つのカテゴリからなり、大学レベルの英語力が身につくよう無理なくステップアップして学習できるようにカリキュラムが構成されています。また、留学、就職、大学院進学などそれぞれの目的に応じた柔軟な履修が可能です。

教養外国語科目

教養として学ぶ英語以外の言語の授業科目です。ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語の9つの言語が履修可能です。

世界を学ぶ・地域を学ぶ

基礎リテラシー 基礎演習 スポーツ・ 身体文化科目

「基礎リテラシー」「基礎演習」では、情報を収集・分析して考え、表現するための基礎的な訓練を通して、大学で学ぶための基礎的な知識や技能を修得します。「スポーツ・身体文化科目」は、スポーツの知識と技能を身につけ、身体的・精神的・社会的な健康を維持・増進することを目的とした科目です。

授業科目区分	科目の説明
基礎リテラシー	本学の学生として必要な知識とものの考え方、そして技能を身につけるための入門的な授業です。情報を収集し、それを整理・分析して理解し、表現・発信するための基礎的な訓練も行います。
基礎演習	大学で学ぶための基礎的な技能を修得するための演習です。文章を正確に理解し、その情報をもとに思考し、文章を作成する力を養います。
スポーツ・ 身体文化科目	スポーツの知識を深め技能を身につけることによって、身体的・精神的・社会的な健康を維持・増進したり、生涯にわたってスポーツに親しむための素養を育成することを目的とした科目です。

世界教養科目

グローバリゼーションの時代に生きる私たちが、国際社会で活躍する一職業人として欠かせない知性と教養を磨く科目です。「現代を生きる」「地球社会と生きる」をはじめとする6つのカテゴリからなり、理系科目も豊富です。英語で行われる授業も多数あります。

授業科目区分	科目の説明
現代を生きる	
くらしと社会制度／くらしと健康／憲法を読み解く	現代社会を生きるためのさまざまな制度。それらの基礎について学び、一市民としての素養を身につけるための授業群です。
地球社会と生きる	
地球社会と共生	異なる言語や文化を背景にもつ人々が、互いに尊重しあいながら平和に生きられる「多文化共生社会」を実現するための素養を身につける授業群です。
人生を拓く	
キャリア・ デザイン論	一度しかない人生を、どのように設計し、どう切り拓くか——。それはすべての人にとって大きな課題です。社会で活躍する先輩たちの話を踏まえ、職業観を形成していくための授業群です。
知と文化に挑む	
ことばの不思議／ことばとコミュニケーション／ 世界のことば／文化のおもしろさ／世界の文化／ 国際社会をひもとく／地域の視点から／ 人間と環境／こころの科学	国際社会で活躍する一地球市民として身につけるべき教養を磨くための授業群です。「言語」「文化」「国際」の3分野に重点が置かれています。このカテゴリでは、とくにグローバルな言語である英語で行われる授業が多数開講されています。また英語だけでなく、東京外国語大学では、あわせて80近い言語が学べます。これは世界最大級であり、日本では本学でしか学べない言語も多数あります。
世界から日本を見る	
世界の中の日本	国際社会で活躍するためには、自己および自分の文化を相対的に認識し、物事を相対的にとらえられる幅広い教養が必要です。これらの授業では、世界の視点から日本について考えます。英語による授業が多く、世界各地からの留学生と一緒に学びます。
現地で学ぶ	
短期海外留学 スタディツアー	短期海外留学は、ショートビジット・プログラムに参加し、言語能力の向上と海外での学習経験の蓄積を目的とした科目です。スタディツアーは、海外での学習体験の獲得を目的に本学や他の機関が実施するプログラムに参加する科目です。



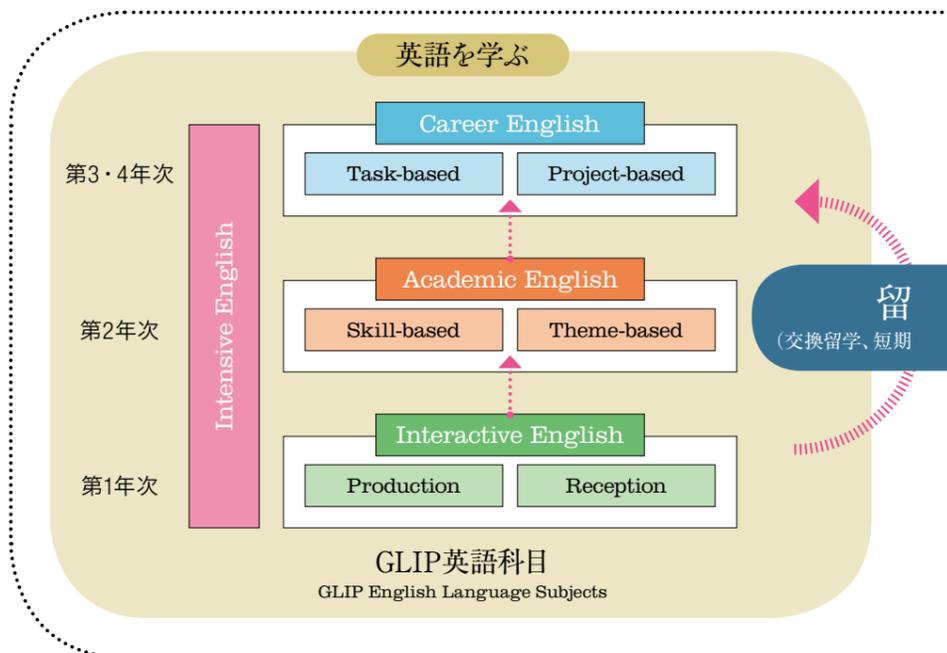
英語を学ぶ、英語で学ぶ

国際社会に必須の英語は、こうして学ぶ

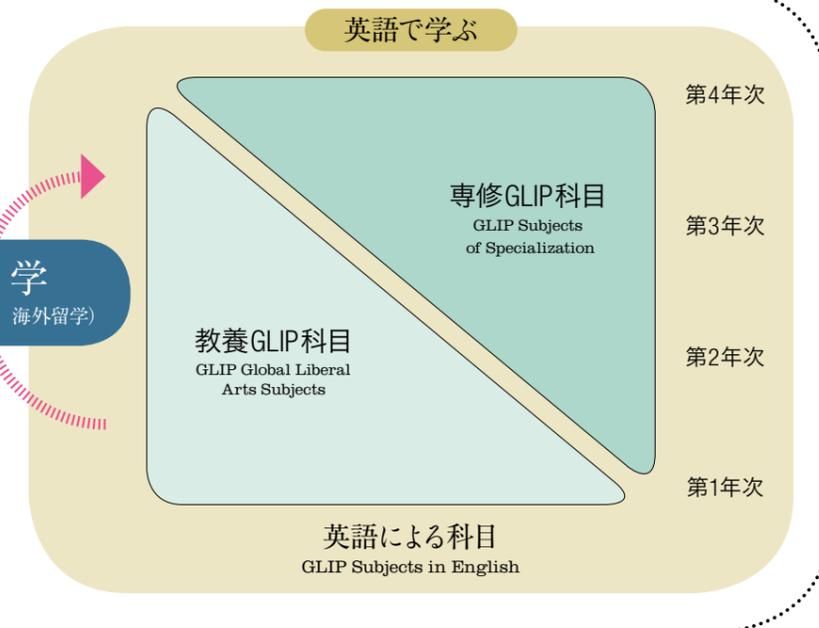
Global Linkage Initiative Program

グローバル人材育成言語教育プログラム

グローバル化が進む現代の国際社会で不可欠な英語は、「グローバル人材育成言語教育プログラム(GLIP)」で学びます。



Global Linkage Initiative Program (GLIP)



グローバル人材育成言語教育プログラム(GLIP) 活用例

- 1 交換留学の準備のため、英語をしっかり学びたい。
- 2 日本について英語で学び、世界に向けて発信できるようになりたい。
- 3 ビジネスで使える実践力を身につけたい。
- 4 大学院に進学したい。

GLIP英語科目

GLIP English Language Subjects

「GLIP英語科目」は、英語の運用能力を高めるための授業です。Interactive English、Academic English、Career English、Intensive Englishの4つのカテゴリーがあります。

Interactive English

少人数で授業を行い、高校レベルの英語から大学レベルの英語へのステップアップを目的としています。原則として各学期、(a) おもにSpeaking、Writingに重点を置く「Production」と(b) おもにListening、Readingに重点を置く「Reception」のクラスを一つずつ履修します。

Academic English

大学レベルで通用する英語力を養うための授業です。(a) Writing、Reading、Speaking、Listeningなどの運用能力を高める「Skill-based」、(b) 各学部の専門分野について、英語で学べる素地をつくる「Theme-based」、(c) 東京工業大学との連携による「Technical Writing」の授業が用意されています。

Career English

ビジネスの最前線で活躍するための実践的な英語力を養うことを目的とします。(a) ビジネスの場面に特化した英語による課題遂行能力を高める「Task-based」、(b) 企業などの現場での即戦力につながる英語力を強化する「Project-based」の授業が用意されています。

Intensive English

夏学期あるいは冬学期中に、英語の4技能を集中的に訓練するための授業です。

英語による科目

GLIP Subjects in English

「英語による科目」は、英語を通して講義の内容を学ぶことが目的です。すなわち、英語“で”学ぶことに重点を置く科目であり、「教養GLIP科目」「専修GLIP科目」が用意されています。

教養GLIP科目・専修GLIP科目

「英語による科目」は、内容の専門性によって「教養GLIP科目」と「専修GLIP科目」に分かれており、科目の種類によって履修できる学年や条件が異なります。

◎留学生とともに学ぶ!

「英語による科目」の一部は、留学生用のプログラムで開講されている授業と共通です。これらの授業は、本学で学ぶ世界各地からの留学生と一緒に学ぶことができます。

◎教養GLIP科目と専修GLIP科目は、言語文化学部と国際社会学部の履修コースの内容に対応する6分野で開講されています。

開講分野	対応する履修コース	学部
Language and Information Studies	言語・情報コース	言語文化学部
Applied Language and Communication Studies	グローバルコミュニケーションコース	
Culture and Literary Studies	総合文化コース	
Area Studies	地域社会研究コース	国際社会学部
Contemporary Global Studies	現代世界論コース	
International Relations	国際関係コース	

English Learning Center (ELC)

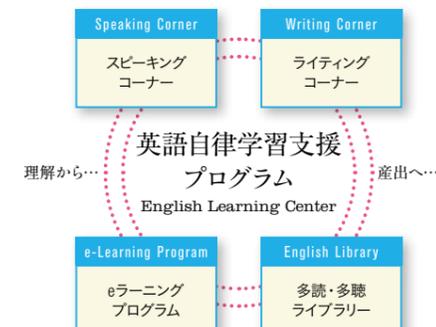
総合的に英語の学習をサポート 英語学習支援センター

東京外国語大学では英語学習支援センターを設置し、すべての学生を対象とする英語学習の総合的サポートを行っています。自ら進んで学ぶ「自律的学習」に重点を置き、社会のさまざまな分野で活躍できるよう、個人のニーズに合った多様なプログラムを提供しています。



- Speaking Session
少人数でイングリッシュ・アドバイザーとの会話にチャレンジ。通常セッションのほか、アカデミック、ビジネス、留学生とのフリートークなどのセッションがあり、1コマ40分。目的に応じて、会話の力を伸ばしていきます。
- eラーニングなどを利用した「英語自律学習支援プログラム」の提供
- TOEIC-IPテストとELCスピーキング・ライティングテスト受験機会の提供
- 英語力の伸びを継続的に記述した「TUFSS言語パスポート」の発行

■ ELCの提供する英語学習



世界諸地域の言語と文化について学び、文化と文化を結ぶ実践力と想像力を養い、国際社会で活躍できる国際教養人を育成します。

言語・情報コース

グローバルコミュニケーションコース

総合文化コース

言語文化学部の目的・理念

高度にグローバル化と情報化が進んだ現代においては、異なる言語や文化がますます身近なものとなっています。人々が理解しあいながら生きていくためには、コミュニケーション手段としての言語と文化を知ることが大事です。

この考えに立ち、言語文化学部では、世界のさまざまな地域の言語や文化の学習に重点を置いた教育を行っています。

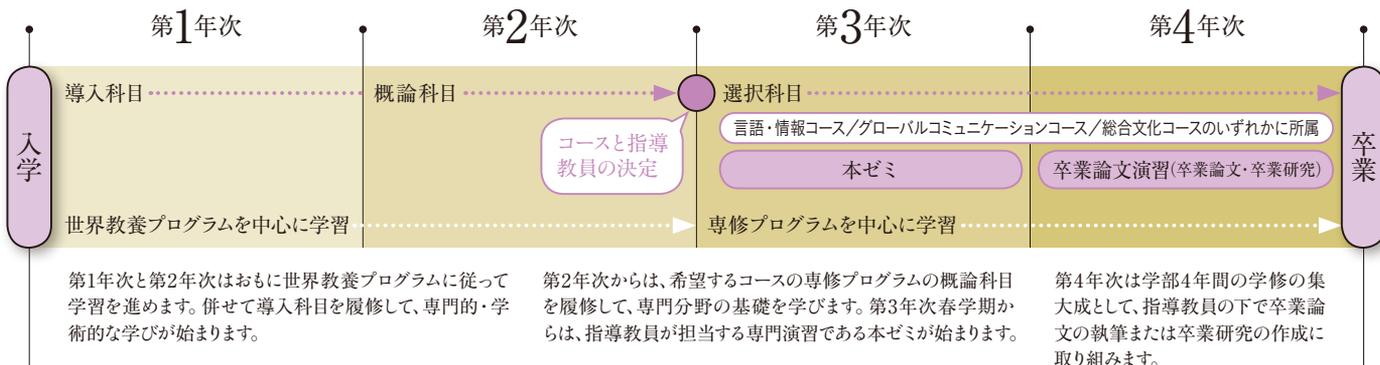
言語と文化というプリズムを通して人間と社会を学ぶのが言語文化学部といってもいいでしょう。

言語文化学部では、4年間を通じて、入学時に選択した言語や英語、そのほかの外国語を多様に組み合わせて、高いレベルで習得します。3年次からは言語・情報、グローバルコミュニケーション、総合文化のいずれかのコースに属し、専門分野ごとに、人間の営みを分析する手法を学んでいきます。

世界は、グローバル化による画一化・

均質化が進む一方で、ローカルな言語や文化を大切に作る動きが活発化し、世界各地で文化摩擦や宗教対立など言語や文化をめぐるさまざまな課題が生じています。また複数の言語や文化が併存する多言語・多文化社会が広がっています。複雑な現代にあっては、多様な関係性を読み解くことのできる洞察力、理解力、既成の概念に囚われない柔軟な発想が求められています。言語文化学部は、こうした力を備え、文化の媒介者として活躍する国際教養人の養成を目指します。

■言語文化学部の履修イメージ



		年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		学期	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬
世界教養プログラム	言語科目	地域言語科目								
		教養外国語科目								
		GLIP 英語科目								
	地域科目	地域基礎科目								
	教養科目	基礎リテラシー								
基礎演習										
世界教養科目										
スポーツ・身体文化科目										
専修プログラム	導入科目	導入科目								
	概論科目	概論科目								
	選択科目	講義・専門演習								
		本ゼミ								
		卒業論文演習								
卒業論文・卒業研究										

※夏学期・冬学期に集中講義・短期留学などが受講できます。

言語・情報コース

Course of Language and Information Studies

「ことば」を多角的にみる
エキスパートを養成する

言語・情報コースは、「ことば」に対して強い関心をもっている人たちを対象に、実践的な「ことば」そのものの運用や、理論的な「ことば」のしくみを理解することで、「ことばのエキスパート」の養成を目指します。

入学時に選択した世界諸地域の言語や、英語などの外国語を深く学んでいくとともに、必要に応じて複数の言語にまたがった学習も行います。外国語を実践的に習得して基礎を固めたくうえで、コースの専門科目を学びます。

専門科目では、言語がどのようなしくみでできているのか(言語の構造、言語類型論)、言語がどのような働きをするのか(言語の機能や言語使用の問題)、言語が人間や社会とどうかかわっているのか(社会言語学)、「ことば」と「ことば」の関係や影響はどうなっているのか(比較言語学、対照言語学、言語接触)、IT(情報技術)革命によって言語使用はどう変わるのか(言語と情報)といった観点から、「ことば」を探求していきます。

■ 言語文化学部 言語・情報コースの導入科目、概論科目、選択科目

	授業科目名
導入科目	言語研究入門
概論科目	言語学概論
	音声学概論
	言語処理概論
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論
	アジア・アフリカ言語研究概論
選択科目	日本語研究概論
	言語学
	音声学
	言語学特殊研究
	言語処理論
	統計科学
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究
	アジア・アフリカ言語研究
日本語研究	

○卒業後の進路：高い言語運用能力と、それに基づく観察力と洞察力、豊かな教養を活かして、さまざまな分野で活躍することが期待されます。具体的には、国家公務員、英語、フランス語などの教員、出版、マスメディア、広告、商社、金融、IT(情報技術)関連など、幅広い領域で力を発揮して、社会のニーズに応じています。語学力を活かして海外の企業で活躍する卒業生もいます。卒論で培った研究をより深めるために、大学院に進学する学生も少なくありません。

グローバル
コミュニケーションコース

Course of Applied Language and Communication Studies

言語、文化の違いを超え、
創造的な関係を構築する

国境・地域を越えて「人」「もの」「情報」が大量・高速に移動する現代世界では、言語や文化の違いから多くの問題が発生しています。

言語や文化の違いによる問題を解決するためには、複数の言語や文化をつなぐにとどまらず、言語と文化の違いを超えた創造的な関係を構築するコミュニケーション能力およびコーディネーション能力を兼ね備えた人材が求められています。

これは国外のことだけではありません。「多言語・多文化」化が急速に進行する現代の日本社会でも、言語と文化の違いを超えた創造的な関係を構築する能力を有する人材は必要とされています。

グローバルコミュニケーションコースでは、言語教育、通訳・翻訳、文化のコーディネーションに関する理論および技能を学び、外国語と母語の双方について高度な運用能力を基礎にして、学際的・専門的知識に裏打ちされた実践的技能ならびにコミュニケーション能力およびコーディネーション能力を磨きます。

■ 言語文化学部 グローバルコミュニケーションコースの導入科目、概論科目、選択科目

	授業科目名
導入科目	グローバルコミュニケーション研究入門
概論科目	英語教育学概論
	日本語教育学概論
	言語教育学概論
	通訳概論
	コミュニケーション論概論
選択科目	多言語・多文化社会論概論
	英語教育学研究
	日本語教育学研究
	言語教育学研究
	通訳・翻訳論
	コミュニティ通訳研究
	多言語・多文化社会論研究
	コミュニケーション論
	インターンシップ
実践英語	
実践言語	

○卒業後の進路：言語に関する実践的技能に裏づけられたコミュニケーション能力やコーディネーション能力を活かし、幅広い分野で活躍が期待されます。具体的な進路として、国内外の言語教育にかかわる中学・高校の教員など、出版編集者をはじめ、多言語・多文化の相談窓口となるコミュニティー通訳、企業の国際部門、国家公務員、商社、金融、マスメディアが挙げられます。また、本学を卒業後に経験を積み、通訳として活躍している人が多数います。卒論で扱った研究をより深めるために、大学院に進学する学生も少なくありません。

【注目の授業】

アジア・アフリカ言語研究(専門演習)
「フィールド言語学」

「未知の言語」を
自分たちで研究する

長屋尚典

大学院総合国際学研究院
講師

世界にはおよそ7000の言語が存在します。しかし、そのほとんどは文法書も辞書もなく、消滅の危機に瀕しています。言語学という学問の使命の一つは、このような消えつつある言語を分析し、人類の知的財産として後世に残していくことであり、フィールド言語学はそのための方法論です。

私の授業ではこのフィールド言

語学を理論と実践の両方から学びます。英語で書かれた教科書を参加者全員で議論を通して理解するだけでなく、実際に「未知の言語」の話者を教室に招き、その言語にどのような音があり、どんな単語が存在し、どのような文法的特徴があるのかを実習形式で勉強します。今年度は、インドネシアのジャワ語に取り組んでいます。



【注目の授業】

英語教育学研究A
「コーパスを用いた学習者英語分析と教材作成への応用」

言語の海を航海する
スキルを学ぶ

投野由紀夫

大学院総合国際学研究院
教授

コーパス(corpus)とはある言語の発話や文章を、言語分析を目的として大量にコンピューターに蓄積したものです。現在、大きなコーパスは100億語くらいの規模で、世界の主要言語のコーパスがあります。授業の前半は、コーパスの概念や構造、種類、構築方法などを学んだ後、言語データの分析の方法として、単語、品詞、語句、文法

構造などの頻度・分布のデータをコーパスからどのように抽出するかを学びます。授業の後半はコーパスから得た言語情報を生かした言語教育教材の提案を各自が行い、ミニ・プロジェクトとしてデータ解析して教材のプロトタイプを作成・発表します。研究者だけでなく外国語教師としても必要なスキルを学べる授業です。



総合文化コース

Course of Culture and Literary Studies

文化の壁を超え、 新しい価値を生み出す

総合文化コースは、世界諸地域の多様な文化を学ぶコースです。具体的に扱われるのは、文学・美術・映画・音楽などの芸術、人類の思想や宗教、世界諸地域の民俗・伝統文化など多岐にわたります。まずは、入学時に選択した地域にみられる文化現象を観察することから始めましょう。きっとあなたを引き付ける魅力的な何かを見つめることができるでしょう。

ただし、魅力的な文化をただ楽しんでいただけでは、それを真に理解したことにはなりません。文化現象を正しく記述したり、文化の魅力を客観的に表現するためには、文化を扱う「方法論」を学ぶ必要があります。文学理論、芸術理論、表象文化論、宗教学、心理学、文化人類学、ジェンダー論などこちらも多様です。

そして、世界各地域の文化という横糸と、学問の方法論という縦糸を組み合わせ、自分なりのテーマを見つけ「文化研究」を織り上げていくことが、総合文化コースで学ぶ醍醐味といえるでしょう。

■ 言語文化学部 総合文化コースの導入科目、概論科目、選択科目

	授業科目名
導入科目	総合文化研究入門
概論科目	地域文化概論
	文化・文学概論
	思想文化概論
	人間科学概論
	ヨーロッパ文化概論
選択科目	アメリカ文化概論
	東南アジア文化概論
	南アジア文化概論
	西アジア・北アフリカ文化概論
	文化・文学研究
	思想文化研究
	人間科学研究
	ヨーロッパ文化研究
アメリカ文化研究	
東アジア文化研究	
中央アジア文化研究	
東南アジア文化研究	
南アジア文化研究	
西アジア・北アフリカ文化研究	
日本文化研究	

◎卒業後の進路：高い言語運用能力を基礎にしながら、人間の精神的な営みについて深く学び、豊かな教養とリアルな人間的想像力を養うことで、文化と文化の媒介者となり得る資質を生かすことが期待されます。新聞や放送局などのマスメディア、商社、金融、IT（情報技術）関連企業、翻訳家、教育・研究機関など、多岐にわたる分野で活躍し、社会の要請に答えています。卒論で扱った研究を深めるために、大学院に進学する学生も少なくありません。

【注目の授業】

南アジア文化研究AおよびB
「ベンガル文学概論(1)および(2)」

ベンガル文学から 世界を眺める

丹羽京子

大学院総合国際学研究院
准教授

ノーベル賞詩人タゴールを擁するベンガル文学を、そのタゴールから現代まで概観し、特質を探る授業です。

ベンガル語圏は現在ではインドとバングラデシュに二分されており、それぞれが異なる歴史的経緯をめぐって形成されたのみならず、西側がヒンドゥー文化、東側がイスラム文化を背景にしているこ

とから、まれにみる多様性と多層性もっています。

それに伴い、この授業にはベンガル語専攻はもとより、インド文化圏やイスラム文化圏などのさまざまな専攻語の学生が参加しています。授業では、朗読や歌、または映画なども取り入れて、多角的に文学を捉える試みがなされています。



言語文化学部	2015年度の卒業論文から	School of Language and Culture Studies
--------	---------------	--

言語・情報コース	
研究領域	卒業論文の題目
英語研究	English Adjective Comparison –The Distribution of Synthetic and Analytic Forms– Kinectを活用した子ども向け英単語学習アプリケーションの開発
ヨーロッパ諸言語研究	ドイツ語圏の新聞・雑誌における短縮語使用 –短縮語について スペイン語指示詞 este/ese/aquel の使い分けにおける「心的態度」の関与 リトニア語の状況可能を示す形式について
東アジア諸言語研究	日本語「かわいい」に対応する韓国語の語彙について 韓国語日本語学習者の日本語発音「ザ」、「ジャ」について –機械音声学的資料の記述– 日本企業の企業名音訳からみる中国語音訳漢字 漫画作品におけるオノマトペの形態上の特徴とその中国語訳について 漢越語検索プログラムの作成
言語研究(アジア諸言語)	タガログ語の被害受身を表すma-an構文の形式と意味 ベンガル語の目的格接辞-keと目的語の定性・有生性 トルコ語と日本語の動詞分類とアスペクト –始点変化動詞を例に–
日本語研究	日本語形容詞における否定表現の使用実態と効果 街中の表示物に使用される日本語の実態

グローバルコミュニケーションコース	
研究領域	卒業論文の題目
英語教育	英語コメディ「まじめか肝心」における「おもしろさ」とは何か –語用論的分類と、日本人学生が感じる「おもしろさ」– 英語の中学校検定教科書における活動と授業内活動についての考察 Refining Data-Driven Learning Materials through a Survey of Pre-Service EFL Teacher Trainees 日本人英語学習者のフィルターの特徴: The NICT JLE Corpusの分析から
日本語教育	富山県東地域における日本語母語話者および日本語非母語話者の方言意識 日常接客談話の日本語における「おもてなし表現」 –百貨店で働く20代女性店員の接客談話にはどんな特徴があるか– 学校現場における日本語指導の実態調査 –東京都町田市の事例–
翻訳・通訳研究	日本人上級英語学習者の流暢性に寄与する要因 –定型表現と談話標識– 日本におけるネイティブスピーカー主義について –その背景と解決策– 英語学習者のエラー分析に基づく修正カテゴリー作成 –文芸翻訳に特化して– 『A PEANUTS BOOK featuring SNOOPY ①』におけるユーモアと機能主義的視点による翻訳の検証 『ハリー・ポッターと賢者の石』における“名詞”の翻訳比較 –イギリス英語から日本語・フランス語へ–
コミュニケーション論	外国人学校と外国人学校就学者の視点の違い –在留ブラジル人・ネパール人に焦点を当てて– 在日クルド人と日本社会 –埼玉県蕨市・川口市を例に– 地方創生における外国人留学生の可能性と彼らの定住化への取り組み

総合文化コース	
研究領域	卒業論文の題目
アメリカ・ヨーロッパ文化	アメリカ的モダニズム作品としての『グレート・ギャツビー』 フランス風刺画と表現の自由 ビクトル・ハラの歌と国民意識 –チリにおける「新しい歌」運動の政治的作用
東アジア文化	現代の葬墓制からみる死生観のゆくえ –沖縄県に焦点をあてて– 租界時代と現代を繋ぐ上海文学と文化 東北人とはだれか～東北3省出身作家の小説を読んで～
東南アジア文化	フィリピン諸民族における創世民話の紹介と分析 カンボジアに存在する日本料理レストランとその特徴に関して
西・南アジア文化	モフセン・マフマルバーフ、その人生とイラン映画の歩み インドにおける「第三の性」 –ヒジュラとその他性的マイノリティの事例をめぐって– パウロとタゴール～パウロの思想が詩聖タゴールに及ぼした影響についての考察～
宗教研究	歌は宗教を広めるか –キリスト教・イスラーム教から見る「歌」と宗教の関わり– 日本プロ野球にみられる宗教性 –日本人の宗教観を探る–
文化研究	壁に落書きする意味 –多様なメディア選択の可能性の一つとしての壁– 日本とドイツの民話における動物の扱われ方と文化との関連性

世界諸地域の社会と歴史について知識を深め、
社会科学の方法論を体系的に学び、国際社会に
貢献する国際職業人を育成します。

地域社会研究コース

現代世界論コース

国際関係コース

国際社会学部の目的・理念

情報は瞬時に世界中を駆けめぐり、経済活動は国境を越えて展開しています。同時に、標準化や画一化は、言語や文化の領域でも進みつつあります。

しかしグローバル化により、人々の活動の場である「地域」の多様性が失われることはありません。その一方で、市場経済が地球規模で拡大し、世界の諸地域が政治的・社会的に統合されると、地球温暖

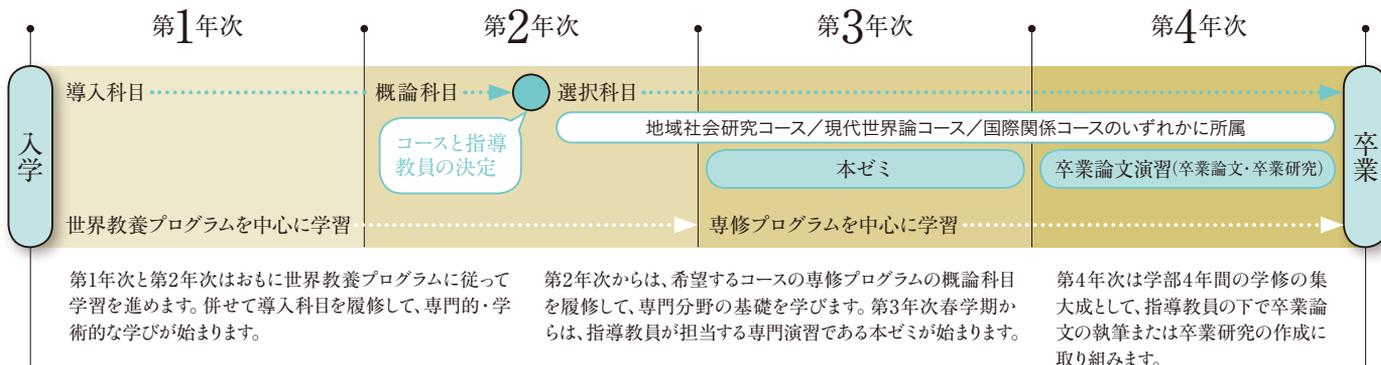
化や環境汚染などの問題とともに、さまざまな地域でグローバル化による矛盾や対立が生まれています。それは、経済摩擦、民族・宗教的紛争、地域間・階層間の格差・貧困などの形で現れています。現代世界で生じている問題を解明するためには、その全体像を見るだけでなく、個別の地域の政治・経済・社会とその歴史に注目して考えなければなりません。

現代の国際社会の成り立ちや、世界のさまざまな国と地域で生じている問題とその本質を理解するためには、適切な方法を身

につける必要があります。国際社会学部では、諸地域の政治・経済・社会とその歴史についての知識を深めるとともに、社会科学と関連する諸分野の方法論を体系的に学びます。

そのようにして得た知識と方法論のもとに、グローバル化の急速な進展の中で生じている紛争や対立、現代世界が直面する諸問題の根源を洞察し、分析力と行動力を養い、グローバルな視点から問題を考え、解決することができる実践的な能力を備えた人材を養成します。

■国際社会学部の履修イメージ



		年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		学期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
世界教養プログラム	言語科目	地域言語科目								
		教養外国語科目								
		GLIP 英語科目								
	地域科目	地域基礎科目								
		教養科目	基礎リテラシー							
基礎演習										
世界教養科目										
スポーツ・身体文化科目										
専修プログラム	導入科目	導入科目								
	概論科目	概論科目								
	選択科目	講義・専門演習								
		本ゼミ								
		卒業論文演習								
卒業論文・卒業研究										

※夏学期・冬学期に集中講義・短期留学などが受講できます。

地域社会研究コース

Course of Area Studies

特定の地域に焦点を当て 社会の構造を解き明かす

現代の世界と国際社会は、さまざまな国・地域とそれらの相互関係によって形づくられています。

特定の「地域」に焦点を当てて、その社会の構造を明らかにすることは、地域を理解するのに役立つだけではありません。ここで得られた知識と情報は、ほかの地域で生じている類似の現象や問題を理解し、国際社会の成り立ちや国際的な場で生じている問題を解明するためにも重要な役割を果たします。

地域社会研究コースでは、一定の「地域」という枠を設定し、その地域の中で行われている社会的な営みを明らかにします。そのためには、地域が歴史的にどのように形成されてきたかを解明し、政治体制、社会構造、経済活動、言語や文化など地域を総合的・構造的にとらえ、さらに地域の外にある世界との関係も明らかにしていきます。

以上のアプローチから、「歴史的なものの見方」と「現代社会を構造的にとらえる視角」を修得していきます。

■ 国際社会学部 地域社会研究コースの導入科目、概論科目、選択科目

	授業科目名
導入科目	地域社会研究入門Ⅰ
	地域社会研究入門Ⅱ
概論科目	地域社会研究概論Ⅰ
	地域社会研究概論Ⅱ
選択科目	ヨーロッパ地域研究
	アメリカ地域研究
	ユーラシア地域研究
	日本地域研究
	東アジア地域研究
	東南アジア地域研究
	オセアニア地域研究
	中東地域研究
	南アジア地域研究
	アフリカ地域研究
	トランス・リージョナル
	人文地理学
	地誌学
自然地理学	

○卒業後の進路：専攻した地域言語と英語の運用能力に加え、自己の文化を相対化し、異なる社会や文化の中で生活している人々への基本的な理解をもつことで、社会に貢献する人材となります。具体的な進路として、新聞や放送局などのマスメディア、金融、製造などの企業、教育機関などが挙げられ、国際的に活躍することが期待されます。国内外の大学院へ進学して、研究を深める卒業生も少なくありません。

現代世界論コース

Course of Contemporary Global Studies

現代世界の諸問題に 新たな解決策を導き出す

世界には、新しい形態の戦争やテロリズム、性・人種・民族をめぐる新たな差別、地域間・階層間格差の増大、地球規模の自然破壊など、数多くの問題が生起し、その様相は日を追うごとに複雑になっています。

世界の諸問題に対して、高度に専門分化し制度化された既存の社会科学の体系は、有効な解決策を示していません。このため、既存の学問分野を横断する複合領域や、従来の人文・社会科学の分野とは異なる課題や発想に基づく方法の探究が進んでいます。

現代世界論コースでは、問題解決の方法の模索過程を教育内容に反映させていきます。方法論を修得したうえで調査・研究対象に取り組むという通常の手順ではなく、現代世界に生起する問題を提示し、既存の学問分野の限界と問題解明の切り口を示すという形で学んでいきます。それらを通じて、常識や通念に制約されない柔軟な思考や判断力と、実践し行動する能力を養うことを目指します。

■ 国際社会学部 現代世界論コースの導入科目、概論科目、選択科目

	授業科目名
導入科目	現代世界論入門Ⅰ
	現代世界論入門Ⅱ
	現代世界論入門Ⅲ
概論科目	現代世界論概論Ⅰ
	現代世界論概論Ⅱ
選択科目	現代世界史論
	現代日本史論
	新時代知性論
	社会人類学
	ジェンダー論
	教育社会学
	社会学
	哲学・社会思想
	政治理論
	グローバル・スタディーズ
エスノポリティクス	

○卒業後の進路：現代世界の諸問題に対する鋭い問題意識、豊かな発想力、確かな方法論、高い語学力を身につけ、国際的な舞台での活躍が期待されます。具体的には、新聞や放送局などのマスメディア、商社、製造業、金融、IT（情報技術）関連、教育・研究機関などで、社会のニーズに応えることが期待されます。卒論で扱った研究をより深めるために、大学院に進学する学生も少なくありません。

【注目の授業】

ヨーロッパ地域研究
「イタリア近現代史」

地域を超えて
地域を知る

小田原 琳

大学院総合国際学研究院
講師

この授業で主にとりあげる地域はイタリアです。ところで「イタリア」とはなんですか。イタリアはいつ始まり、どこまで広がっているのでしょうか。ひとつの「地域」を確定するための前提ともいえるこれらの問いに答えることは、実はきわめて難しいと知ること。この授業の目標は、突き詰めればそこにあります。

最近では、ジェンダー、レイシズム、戦争や植民地主義など、多くの地域が共通して抱える課題のイタリアにおける現れを検討しながら、我々は何をイタリアと呼んでいるのかを考えています。ひとつの地域を深く学ぶことを通じて、複雑なものを複雑なまま受け取り、考えぬく態度を養い、グローバル世界に向き合う肝を鍛えましょう。



【注目の授業】

哲学・社会思想
「歴史にとって記憶の問題とは何か」

歴史叙述と集合的記憶の
アポリアを哲学する

岩崎 稔

大学院総合国際学研究院
教授

1990年代初頭からの四半世紀は、集合的記憶として構築された国民の物語が揺らぎ、そこから消去されてきていた「敗者」の記憶をめぐる論争的局面が、世界の地域で生みだされた時代でもありました。「記憶の内戦」や「記憶の抗争」と表現されてきたこうした対立を通して、過去を叙述するための方法論や感受性は、つまるところ

どのように組み替わったのでしょうか。講義では、こうした局面を「記憶論的転回以後」と規定し、歴史叙述の倫理性や集合的記憶の動態というアポリア（難問）を主題的に考察し、哲学や思想史だけでなく、それにかかわる精神分析、文学作品、映像メディアなども含めた広い視野から、問題を整理しつつ掘り上げていきます。



国際関係コース

Course of International Relations

国際社会の現実を理論・歴史・実証的に理解

私たちは、平和で安定した国際秩序を形成できたと言えるでしょうか。冷戦の終結で核戦争の脅威は減退し、技術の進歩は人々の生活に便宜と繁栄をもたらしました。世界では国際的な統合が進み、経済、政治、文化などの交流や相好依存関係が活発化しつつあります。

しかし一方で、私たちは、領土紛争、宗教や資源をめぐる摩擦、貧困や差別、国際テロの脅威など、解決すべき多くの困難に直面しています。そうした困難に対して、関係する国家や政府、国際機関、非政府組織(NGO)、そして個人がさまざまな形で対応しようとしているのが今日の国際社会です。

国際関係コースは、国際社会の現実をさまざまな角度から社会科学的手法を用いて理論的・歴史的・実証的立場から理解していくと同時に、政策志向的に考えていきます。国際機関やグローバルな企業や団体をはじめ、国際関係を専門とする広い範囲の仕事に従事する人材を育成していくことを目的としています。

■ 国際社会学部 国際関係コースの導入科目、概論科目、選択科目

	授業科目名
導入科目	国際関係論入門
	経営学入門
	政治学入門
	法学入門
概論科目	経済学入門
	国際関係論概論
	経営学概論
	国際政治概論
	国際法概論
選択科目	国際経済概論
	国際協力概論
	国際政治論
	比較政治論
	国際法
	国際機構論
	法学
	経済学
	経済協力論
	国際教育論
	平和・紛争論
	国際地域論
	政治学
	国際関係論
経営学	
国際事情Ⅰ,Ⅱ	
国際協力論	

○卒業後の進路:国際社会で活躍し、対外接触を主たる業務とする分野での仕事に従事することが期待されます。具体的な進路は、国際機関、外務省、国際交流基金や日本貿易振興機構(JETRO)などの職員、新聞や放送局などのマスメディア、国際展開をしている企業や外資系企業、NGO(非政府組織)など。国際機関の就職は大学院修了以上が要件となるケースが多いことから、国内外の大学院へ進学する学生も増えています。

【注目の授業】

平和・紛争論
「国際協力と紛争解決論」

日常生活の紛争から
国際的紛争まで扱います

篠田英朗

大学院総合国際学研究院
教授

「紛争解決論は英語圏諸国では大学から企業等においてまで広範に教えられていますが、日本ではあまり見かけない授業かもしれません。ここでは人間が生きていく限り、日常生活において紛争からは逃れられず、必要なのは紛争がない世界を夢見る事ではなく、紛争に対処する技能を高め、準備を整えておくことだ、という認識から

出発します。国際的紛争の傾向や対応する政策、現代世界の地域紛争の事例や日本の紛争の歴史の捉え方まで扱いますが、考え方は家庭や学校における紛争対応の延長線上にあることを強調します。このように考えることにより、国際紛争を分析することによって、自分自身の生き方の改善を図っていくという視点を養います。



国際社会学部	2015年度の卒業論文から	School of International and Area Studies
--------	---------------	--

地域社会研究コース	
研究領域	卒業論文の題目
ヨーロッパ地域研究	スペイン・フランコ体制におけるふたつのイデオロギー –なぜ体制は40年も続いたのか– 地中海に生きる商人たち –初期十字軍時代における東地中海地域の交易システム– EUの難民政策とダブリン規則 –外圍国境国の負担とその問題–
アメリカ地域研究	メキシコにおける麻薬戦争問題 –麻薬合法化の有効性を考える– アメリカにおける黒人音楽の発展と精神史および現代音楽への影響 ブラジルにおけるLGBT運動 –2011年の同性婚合法化を巡って–
ユーラシア地域研究	極東ロシアにおける国際物流の発展可能性 ウズベキスタンの教科書における日本の戦争の扱われ方 –日露戦争と太平洋戦争を例に–
日本地域研究	下田協約における貨幣条項をめぐる交渉について –アメリカ合衆国総領事タウンゼンド・ハリスとの交渉を中心に– 日本の高齢社会福祉の現状とその持続性に関する一考察
東アジア地域研究	慰安婦からみる韓国社会と外交 韓国と中国の経済政策比較を通じて鉄鋼産業関する研究
東南アジア地域研究	グローバル化の中のイスラームと慣習から見るマレー人の結婚式 タイにおける公共事業の一考察 –2011年大洪水後の治水事業を巡って– ボークエンザップの人民戦争理論にみられるベトナム人民戦争の特徴
オセアニア地域研究	オセアニア地域への人類の拡散・居住戦略
中東地域研究	現代パレスチナ・イスラエルにおけるサマリア人 –「紛争地域」で再興を果たした少数集団の歩み– イラク・クルディスタン地域政府におけるイスラーム国台頭の影響 オスマン帝国における女子教育の理想型の変容 –第二次立憲政期前後の女性誌の分析を中心に–
南アジア地域研究	インドの女性解放運動：キリスト教ミッションナリーの女子教育活動から考える バングラデシュ海外出稼ぎ労働者と送金システム
アフリカ地域研究	シエラレオネにおけるエボラ出血熱の流行 南アフリカにおけるゼノフォビアとは –2008年と2015年を比較して–
トランス・リージョナル	過激派に傾倒する要因 過激派の成り立ちとテロリストに関する調査

現代世界論コース	
研究領域	卒業論文の題目
世界認識論	日本の食文化の一部となったキムチ –なぜ、韓国のキムチが日本で定着したのか– ロボットに対する表象の変化 –二つの「I.Robot」の比較から– 1980年代の映画における日本表象とテクノオリエンタリズム –「ブレードランナー」、「東京画」、「アキラ」の考察 観光ガイドには載っていない沖縄案内書 暮らしの喪失 –「リロケーション」後の高齢期を豊かに暮らすためには–
社会関係論	開発と人類学 “おネエ”は日本のLGBTQ人権運動を抑圧しているのか? –日本と米国TVメディアにおける性的少数者表象を中心に比較して– 旅行パンフレットによるイメージ戦略と観光活動 –バリ島の事例から– 多様化した入試の問題から見る現代の大学 パキスタン地域社会と名誉殺人 –女性差別保存の仕組み–
政治社会論	戦時下における広告 –戦争プロパガンダと化した新聞・雑誌広告– 映画は何をみせるのか –写真、小説、演劇との比較から– 横浜中華街における在日華僑の日本社会への参入 –老華僑・新華僑・日本社会の三者をめぐる様相– 日本の植民地教育政策 –内モンゴルを中心に– 朝鮮人女性初の民間飛行士 朴敬元の自己実現と「日本帝国」 –「民族」と「女性」の観点から–

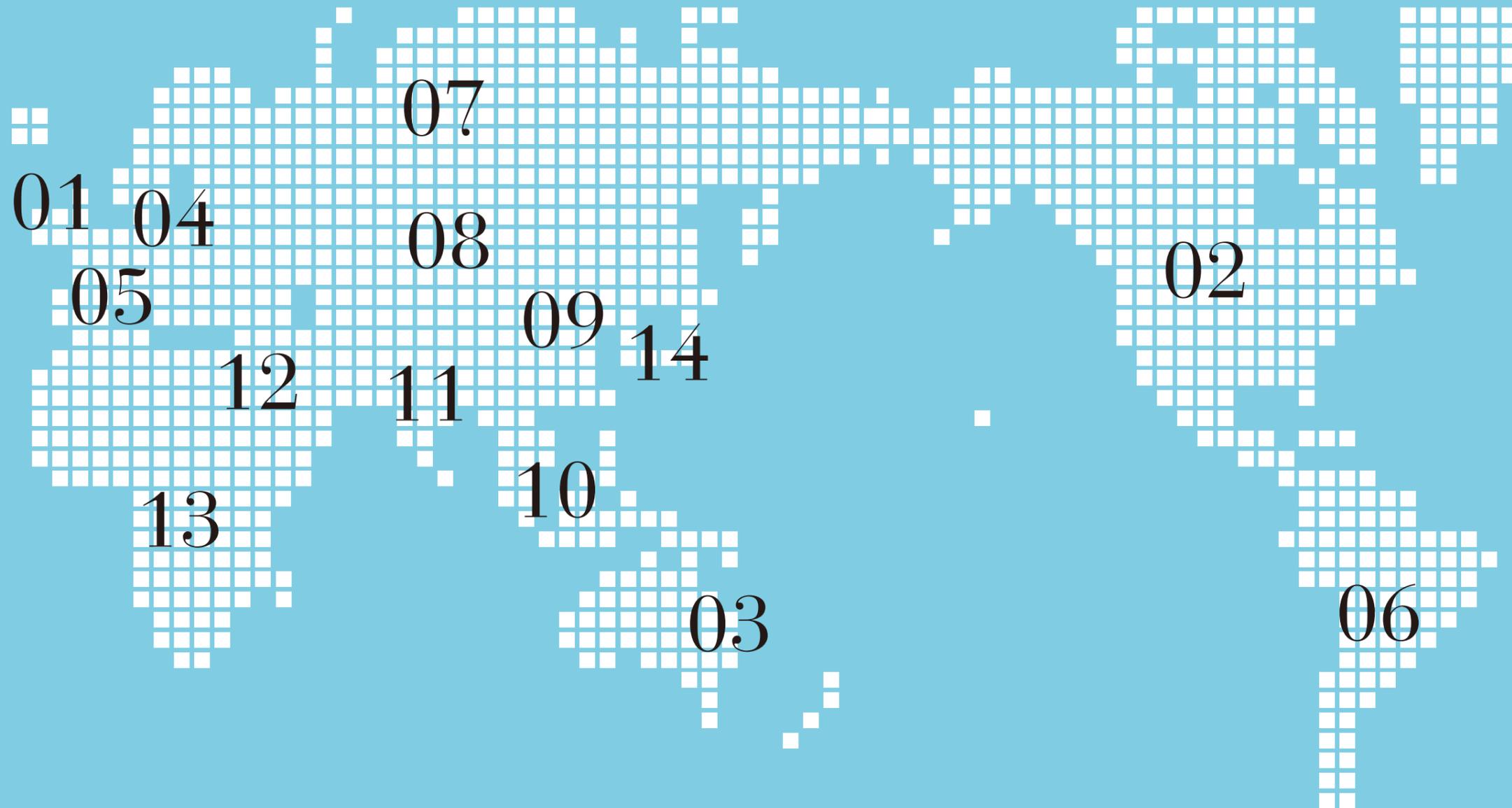
国際関係論コース	
研究領域	卒業論文の題目
国際政治	テロリズムと国連のテロ対策 中国・北朝鮮に対する日本の外交・安全保障政策 –1996年以降の日本の外交・安全保障政策の考察を通じて– 広報文化外交における国際交流基金の役割の考察 メディアによる情報操作について –変容する第四の権力–
国際法	民間航空機に対する武力行使と航空法の適用 –マレーシア航空機MH17便事故を中心に– 裁判員制度 –市民感覚と量刑の公平性 税制・社会保障制度が女性の働き方に与える影響についての年齢別比較
国際経済	The Impact of ICT on Economic Growth-Analysis on 11 Trans-Pacific Partnership Negotiating Countries- ロンドンと大阪における大都市制度改革の方向性 –GLA創設と大阪構想– マイクロファイナンスとジェンダー –ジェンダーの多様性のためのマイクロファイナンスを目指して–
国際協力	小型武器問題の観点から見る武器貿易条約の意義 –武器の規制に対して条約はどのような影響を及ぼしうるか– 地域紛争の解決および平和維持活動における国連と地域機構の連携 –シエラレオネ内戦の事例から– ザンビア、地方電化マスタープランの効果検証と考察 バングラデシュにおけるロヒンギャ難民の教育と支援 元子ども兵士の社会復帰 –子どもを人間として見るということ– アフリカにおける母語教育阻害要因について –ガーナ共和国の教授言語転換の歴史を事例に–

Think and Act Globally and Locally!

地球社会と地域社会に根ざして、考え行動しよう!

東京外国語大学で学べる世界14地域27言語

全地球をカバーする14地域27言語の教育体制を備え、言語のみならず、各地域の文化や社会についても学びます。



世界14地域の名称と履修する地域言語科目、地域基礎科目

■地域言語科目 ●地域基礎科目

01 北西ヨーロッパ地域

- 英語
- 北西ヨーロッパ地域基礎

02 北アメリカ地域

- 英語
- 北アメリカ地域基礎

03 オセアニア地域

- 英語
- オセアニア地域基礎

04 中央ヨーロッパ地域

- ドイツ語/ポーランド語/チェコ語
- 中央ヨーロッパ地域基礎

05 西南ヨーロッパ第1・第2地域

- フランス語/イタリア語
- スペイン語/ポルトガル語
- 西南ヨーロッパ地域基礎

06 ラテンアメリカ地域

- スペイン語/ポルトガル語
- ラテンアメリカ地域基礎

07 ロシア地域

- ロシア語
- ロシア地域基礎

08 中央アジア地域

- ロシア語/モンゴル語/ウズベク語
- 中央アジア地域基礎

09 東アジア地域

- 中国語/朝鮮語
- 東アジア地域基礎

10 東南アジア地域

- インドネシア語/マレーシア語/フィリピン語/タイ語/ラオス語/ベトナム語/カンボジア語/ビルマ語
- 東南アジア地域基礎

11 南アジア地域

- ヒンディー語/ウルドゥー語/ベンガル語
- 南アジア地域基礎

12 西アジア・北アフリカ地域

- アラビア語/ペルシア語/トルコ語
- 西アジア・北アフリカ地域基礎

13 アフリカ地域

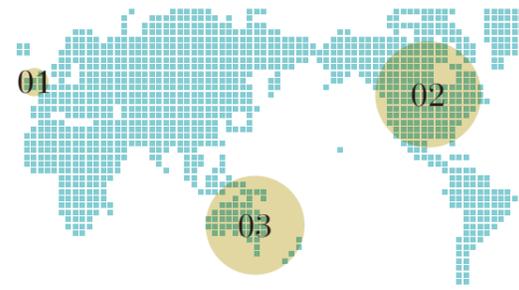
- 英語
- アフリカ地域基礎

14 日本地域

- 日本語
- 日本地域基礎

Think and Act Globally and Locally!

東京外国語大学で学べる世界14地域27言語



高度な英語力で
新たな多文化社会の主役になる

01 Northwest Europe 北西ヨーロッパ地域

北西ヨーロッパ地域で主要な国としては、グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国とアイルランドという2つがあります。古来、民族、歴史を異にする多様な人々が活発に交流していました。連合王国は「国民国家」を創造し、歴史と伝統を織り込みながら、広い領土にいる多様な人々をひとつに統合しました。その国旗は「ユニオン」ジャックで、多様な民族のまとまりを示しています。現在では、EUとの統合、国内諸地域の独立要求、世界各地からの移民流入による多文化社会形成といった現代的課題に率先して取り組み、この点でも地域の豊かな創造性を示しています。そうしたことがこの地域の歴史、文化および活動を注目すべきものになっています。

02 North America 北アメリカ地域

国としてはアメリカ合衆国とカナダからなり、多人種の移民社会であり、政治的・経済的に先進性、国際性をもつ地域です。日本とも関係の深い地域で、毎日たくさんの情報が入ってくることから、みなさんにもなじみのある地域であることと思います。しかし、雑多な知識があることは、かえって地域としての理解を難しくしている面もあります。多人種共生、民主主義、経済のグローバル化、格差社会、国際紛争と平和維持、ポピュラー文化など、「アメリカ」抜きには語れない問題群は多岐にわたります。20世紀は「アメリカの世紀」と言われました。その本質を正しく理解することで、21世紀を見通すことができるでしょう。

03 Oceania オセアニア地域

オセアニアは、オーストラリア大陸や太平洋に点在する島々からなる地域を指し、オーストラリア、メラネシア、ミクロネシア、ポリネシアの4つに区分されます。この地域が「世界史」に登場するのは大航海時代にヨーロッパに「発見」されて以降のことです。その後、次々に植民地化されていき、オーストラリアとニュージーランド、アメリカ合衆国の一部となったハワイを除けば、この地域が政治的に独立するのは第2次大戦以降になります。もともと言語的・文化的多様性に富んだオセアニア世界に、植民者のもち込んだ言語と文化が加わり、その多様性はさらに拡大していることがオセアニア地域を学ぶうえで注目すべき点と言えます。なお、オセアニア地域では、英語に加え、フランス語・中国語・マレーシア語・インドネシア語・フィリピン語のうち1つが選択必修になります。

[履修する地域言語]

English

英語

地球を舞台に、新たな多文化社会をつくる作業へ参画する

教育：目標は、高校までの英語を、社会に出て仕事や研究のツールとして使える英語に変えることです。そこで、入学してから卒業するまでの4年間で、英語を多角的に学び、教養のある「大人の英語」に向上させていきます。1・2年次では、「読む」「聴く」の受信面と「書く」「話す」の発信面の4技能を大学レベルまで高めます。さらに3・4年次では各自の専門分野に絡めたかたちで、より高度な英語運用能力が身につくように勉強します。

◎卒業後の進路：官公庁や、外資系企業を含む商社、金融業、製造業および放送局や新聞社などマスコミ、出版社、IT関連企業への就職。公立・私立の中学校・高等学校の教員になる卒業生もいます。また、本学や国内外の他大学の大学院に進学する人も毎年多数います。



Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



英語教員

Joseph Neil RAGSDALE
ジョセフ・ニール・ラグズデール

Experience the thrill
of Languages and Cultures
at TUFUS and be inspired for
life in our connected world!



英語教員

Matthew MILLER
マシュー・ミラー

Languages are like doors
leading into other worlds.
Come and expand your
universe here at TUFUS.



英語教員

Jeremy BOSTON
ジェレミー・ボストン

I enjoy teaching
1st year students.
Hope to have the opportunity
to teach you as well.



広域的な「中央ヨーロッパ」世界の言語文化や宗派
国境を超え、豊かに織り合う文化・文明にふれる

04 Central Europe 中央ヨーロッパ地域

中央ヨーロッパとは、ドイツ・オーストリアに、ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーからなる
ヴィシエグラード諸国を加えた地域を中心としています。歴史的には、神聖ローマ帝国や、ウクライ
ナのステップまで広がるポーランド王国、バルト海沿岸地域に興ったプロイセン王国、オスマン帝国
とつながるハンガリー王国の領域に広がる地域となるでしょう。この世界は、いくつもの言語文化
や宗派が混交し、異質な文化の層がいくえにも重なり合いながら、ひとつの全体をなしており、そ
の多様性が中央ヨーロッパをつくりあげています。現在のヨーロッパで、EU統合がもたらすダイナ
ミックな変化をもっとも必要とし、かつ、その原動力になっているのが、中央ヨーロッパです。



〔履修する地域言語〕

German

ドイツ語

過去から未来へ、ヨーロッパ文化に直接ふれる

教育：ドイツ語は、ドイツを中心に中央ヨーロッパで広く用いられています。
1・2年次には、週に5回ドイツ語を学びます。
文法、読解、作文、聞き取りを中心とした授業が週3回、週2回は会話です。
3・4年次には中級・上級レベルの会話、読解、作文などから、
関心に応じて選択します。4年間で、日常的なコミュニケーションはもちろん、
専門的な内容の文章の読み書きや議論ができるようになることを目指します。

◎卒業後の進路：ドイツ語などの外国語能力に限らず、4年間で身につけた幅広い視野と知識を生かし
国内外の民間企業に入る学生がほとんどです。商社・マスコミ・IT産業・製造業などが多く、
教員・公務員や研究職に進む人も少なくありません。

Polish

ポーランド語

シヨパンを生んだポーランド。専門的に学べるのは本学だけ

教育：ポーランド語の授業はすべて1学期ごとに完結します。
文法、コミュニケーション、プレゼンテーション、作文、読解、聴解、翻訳など
幅広い内容をレベル別に学びます。ポーランド人の先生の授業が多いことも特徴です。
留学のチャンスも多く、韓国や中国のポーランド学科との交流も盛んです。
最初の2年間で必要な運用能力を身につけ、その後、自身の興味と必要に応じて、
上級のクラスを選択していきます。

◎卒業後の進路：毎年1～2名が大学院に進学するほか、金融、商社、製造業、物流、翻訳会社、
旅行代理店や大使館、国家公務員、地方公務員など、就職先は多岐にわたります。

Czech

チェコ語

チェコ語の面白さは・・・なんといってもその難しさ

教育：チェコ語の話者はおよそ1000万人、
ヨーロッパ中央部に位置するチェコ共和国の言語です。
まず、1年次は文法の基礎と会話の表現を学びます。
2年次は読解と並行し、会話や作文など、チェコ語で表現する訓練も続けます。
3年次からは、チェコで出版された小説や新聞記事を読む、チェコ語でレポートを書く、
口頭発表する授業など、ちょっと難しいチェコ語を使いこなす訓練をします。

◎卒業後の進路：商社、旅行、流通、マスコミ、出版、公務員など、その進路はさまざまです。
中学や高校の英語の先生になった人も少なくありません。

Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



ドイツ語教員

Katharina MUELENZ
カタリナ・ムレンス

話さないと、間違えない。
間違えることは、
言語感覚のため大事ですよ！



ドイツ語教員

Diana BEIER
ダイアナ・バイヤー

いまのグローバル時代で
一番大切なのは言葉です。
言語能力は未来の力です。



ポーランド語教員

Jagna MALEJKA
ヤグナ・マレイカ

イベントも盛りだくさんです。
一緒にポーランド語を
楽しみましょう！



チェコ語教員

Markéta GEBHARTOVÁ
マルケータ・ゲブハルトヴァー

チェコ語を学んで、
ぜひチェコの文化を
楽しんでください。



ヨーロッパ文化の伝統の核心を担う魅力的な2国、異なる言語と深い歴史から未来を知る

05 Southwest Europe 西南ヨーロッパ第1地域

本学の「西南ヨーロッパ第1地域」は、フランスとイタリアの2国を対象としています。いずれの国もヨーロッパ文化の伝統の核心を担ってきた国です。世界遺産に選ばれた、優れた宗教建築や遺跡、世界中で読まれる文学作品や数多く残された美術作品などがそのことを示しています。現在でも、文学・芸術・建築のみならず、食文化やファッションにおいて豊かな創造性を発揮しているフランス、イタリアには、日本はもちろん世界中から毎年多くの観光客が訪れています。それは、この地域の歴史と文化の豊かさ、奥深さが、世界の人々にとって魅力的だからに他なりません。日本との文化的交流の活発な地域でもあり、この分野の就職の道も開かれています。



[履修する地域言語]

French

フランス語

国際機関の重要言語、そして、その美は文学に花開く

教育：地域言語科目では、フランス語の基本的な運用能力の修得を目的とし1年次は、週5コマ(文法1、講読1、会話3)の授業で総合的な基礎を学習します。2年次は、週5コマ(講読2、作文1、会話2)の授業で、高度な運用能力の獲得を目指します。3年次以後も、主としてフランス人の教員によるフランス語表現の授業が開講されます。小論文の執筆、口頭発表の練習を中心に、フランス語による発信能力の強化を目指します。

◎卒業後の進路：修得したフランス語能力を活用できるような職場を目指す卒業生が多くいます。マスコミ、金融、製造業、商社、物流、旅行業など。また、官公庁、教育職に就く人や、大学院進学者も少なくありません。

Italian

イタリア語

豊かで多様なイタリア文化。その心にふれる

教育：イタリア語の授業は、1、2年次には週に5コマ。このうち3コマでは文法の基礎を集中的に学び、その後、講読、作文、聴解の授業で基礎語学力を確かなものにしていきます。残る2コマはネイティブの先生と会話を中心に学びます。3年次以降は、より高度な読解力を養う授業と会話の授業が開講されます。こうしてイタリア語を身につけ、驚くほど多様で豊かなイタリア文化にふれる学習を深めていきます。

◎卒業後の進路：イタリアと直接かかわる仕事を目指す卒業生が多いのが特徴です。就職先は、旅行会社などのサービス業、製造業、情報通信、商社、金融、運輸、教育学習、そして大学院進学など多岐にわたっています。

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



フランス語教員

Jocelyn GROISARD
ジョスラン・グロワザール

外国語は
コミュニケーションだけでなく、
思考力をあげるための道具です。



イタリア語教員

Roberto TERROSI
ロベルト・テッロシ

イタリア語を勉強しながら
イタリアの文化を
楽しみましょう。

Think and Act Globally and Locally!

東京外国語大学で学べる世界14地域27言語



世界各地で母国語とされる2言語。
ヨーロッパと中南米の深い関係や多様性をもつ文化にふれる

05 Southwest Europe 西南ヨーロッパ第2地域

本学の「西南ヨーロッパ第2地域」は、スペインとポルトガルを包括するイベリア半島を指しています。この半島はヨーロッパの南西の角に位置しており、その形状から「雄牛の皮」にたとえられ、「アフリカとヨーロッパの、大西洋と地中海の間に位置する四つ辻、出会いの場」となってきました。中世にはキリスト教とイスラーム、ユダヤ教の3つの文化が「共生」しましたし、大航海時代にはアジア、アフリカ、アメリカとヨーロッパの異文化接触の場となりました。近代化には後れをとりましたが、いまではEUのGDP全体の中でスペインとポルトガルの占める比重は約10%に上り、重要な位置を占めています。

06 Latin America ラテンアメリカ

本学の「ラテンアメリカ地域」は、基本的に、カナダとアメリカ合衆国を除くアメリカ全域を対象とします。この地域の特徴は「多様性」です。メキシコやアンデス諸国などには3000メートルを超える高地に大都市が築かれているかと思えば、中米やアマゾンには広大な熱帯雨林が広がっています。旧宗主国のスペイン、ポルトガルが、人種・民族構成や言語・宗教・文化に大きな影響を及ぼしたのは確かですが、地域により先住民、アフリカ系人、さらに19世紀後半以降にヨーロッパ、日本を含むアジア各地から到来した移民の影響も絶大です。経済発展を遂げた国々がある一方、世界の最貧国も存在します。こうした多様性こそが、この地域を学ぶ魅力です。



[履修する地域言語]

Spanish

スペイン語

スペインやラテンアメリカの国々に、その話者は5億人近く

教育：1年次は、週に5コマ(文法2、読解1、会話2)の授業でスペイン語の基礎を学びます。2年次は、5コマ(文法1、読解2、会話2)の授業で、スペイン語の応用力を身につけます。3年次以降も各自の選択に応じ、会話や読解、作文などのスペイン語の授業を履修することができます。カタルーニャ語、バスク語などスペイン国内で独自性を保つ言語を学ぶチャンスも用意されています。

◎卒業後の進路： 商社、製造、物流・運輸、IT関連、マスコミ、金融をはじめ、旅行会社などのサービス業、官公庁(外務省専門職・政府関係、地方自治体)、教育職(英語教員、海外教育機関の日本語教師、研究者)など幅広い分野で活躍しています。

Portuguese

ポルトガル語

ポルトガルとブラジルのポルトガル語。いまや日本にも話者多数

教育：2年次終了までに、新聞や雑誌、現地の高校教科書、比較的平易な文学作品を一人で読みこなせるレベルにまで到達することを目標としています。ポルトガル語は、日本人には親しみやすく、比較的短期間に基礎知識を修得することができる言語です。3・4年次には、会話、作文、読解の上級クラスが設定されており、関心に応じて履修する授業を選択できます。

◎卒業後の進路： 商社やメーカーなどのグローバル企業、マスメディア(国際局を含むNHK、民放テレビ・ラジオ局、新聞社、通信社)、官公庁(外務省、地方自治体、各国大使館)、教育職・研究職(中・高教師、大学教員や研究所の研究員)の分野で卒業生が活躍しています。

Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



スペイン語教員

Concha MORENO
コンチャ・モレノ

ワクワクドキドキな
スペイン語学習の旅。
一緒に出発しましょう。



スペイン語教員

Txabi ALASTRUEY
チャビ・アラストゥルエイ

スペイン語の授業へようこそ!
みんなで楽しく
勉強しましょう!



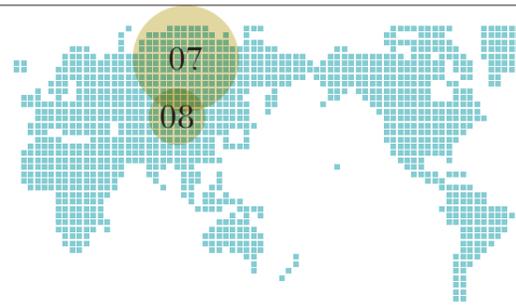
ポルトガル語教員

Eliseu PICHITELLI
エリゼウ・ピシテリ

ぜひ楽しく一緒に
ポルトガル語を勉強しましょう。
待っています!

Think and Act Globally and Locally!

東京外国語大学で学べる世界14地域27言語



経済・資源など関心が高まるこの地域で
多様性を理解し、活躍できる人材を育てる

07 ^{Russia} ロシア地域

本来「ロシア」とは国号であり、固有の地域を示す言葉ではありません。したがって、「ロシア」の地理的な範囲はロシア国家の領土とともに変化しました。現在は、ソ連の解体によって成立した「ロシア連邦」の領土が、地理的な意味での「ロシア」になります。この広大な地域には100を超える民族と多種多様な言語・宗教があります。この多様性こそが「ロシア」です。日本でもなじみの深いロシア文学やロシアの芸術は、こうした土壌の中で育まれてきたものです。近年では多くの日本企業が次々とロシア市場に進出しています。一方ロシア人の中では、伝統的な日本文化だけでなく、料理、アニメ、コミック、ファッションなど新しい日本への関心が高まっています。

08 ^{Central Asia} 中央アジア

中央アジアは文字どおりユーラシア大陸の真ん中に位置し、遊牧民や農耕民、商業民に起源をもつ諸民族、さらにはソ連時代に移住してきた人々など、さまざまな民族がくらしています。東は中国、西は中東、南はインド、北はロシアに通じる中央アジアは、まさに文明の十字路であり、独自の歴史と文化を育んできました。現在、中央アジアといえば、狭義にはウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタンの旧ソ連5カ国を指しますが、本学ではモンゴル地域もここに含めています。モンゴル民族は、広大な領域を支配したモンゴル帝国の後継国家としてのモンゴル国に居住するほか、中国やロシアにも多数くらしています。



[履修する地域言語]

Russian

ロシア語

ロシア独特の文字や会話を学び、文化を理解する

教育：1年次は週5コマの授業からなり、教科書「大学のロシア語」(東京外国語大学出版会)を中心に文法と会話を組み合わせて進められます。2年次は言語、文化、歴史、経済などのテキストを講読し、会話や作文の実践的な力を高めていきます。

「ロシア地域」専攻の2年次学生は5コマ、「中央アジア地域」専攻の2年次学生は2コマが必修。3年次以降は各自の目的や関心に合わせ選択、さらなるレベルアップを目指します。

◎卒業後の進路：近年はロシアに進出する日本企業も多く、ロシア語のできる人材の需要は増加しています。放送・新聞、出版、商社、金融、保険、メーカー、物流、旅行、外務省をはじめとする官公庁、通訳・翻訳、教員など。大学院に進学する人も少なくありません。

Mongolian

モンゴル語

遊牧民モンゴル民族、そして資源豊かなモンゴルの言葉

教育：1年次は週5コマ(文法2・会話2・作文1)、2年次にも週5コマ(会話2・聴解1・作文1・講読1)のモンゴル語の授業があり、3年次以降も、会話・作文・講読から選択します。学生は各自の目的、特性、興味に応じて、各カテゴリーから選択し、モンゴル語の運用能力の向上を図ることができます。

◎卒業後の進路：大学院に進学する卒業生が多い点に特徴があります。モンゴル語を直接生かせる就職先としては、外務省や国際協力機構(JICA)などがあります。そのほか、マスコミ、広告代理店、出版社、商社、情報通信、製造、運輸・郵便、卸売・小売、金融・保険、サービス、教育、公務員など多岐の分野で卒業生が活躍しています。

[中央アジア地域を学ぶ学生が履修する二つ目の言語]

Uzbek

ウズベク語

東西文明の十字路、中央アジア・ウズベキスタンの言語

教育：中央アジア地域の大部分では、各民族の言語と並んでロシア語が広く使用されてきました。言語文化学部「ロシア語(中央アジア地域)」、および国際社会学部「中央アジア地域(ロシア語)」に入学した学生は、1年次から学ぶロシア語に加え、2年次から週3コマのウズベク語の授業を受講します。また3年次にも、週に3コマのウズベク語が必修です。

◎卒業後の進路：2012年開設の「ロシア語(中央アジア地域)」は、まだ卒業生は出ていませんが、中央アジア諸国は石油、天然ガス、レアメタルなど地下資源が豊富で、日本との通商関係も拡大傾向にあり、この分野で卒業生が活躍することが期待されます。

Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



ロシア語教員

Olga ARAPOVA
オリガ・アラポワ

モスクワ大学から来ました。
ロシア語を話す楽しさを
いっぱい味わってください!



モンゴル語教員

Purevjav ERDENE
プレブジャブ・エルデネ

モンゴル語は日本語と
文法構造が似ているので、
日本人には学びやすい言語です。



ウズベク語教員

Nilufar MAMATKULOVA
ニルファル・ママトクローワ

ウズベク語の文法は
日本語とよく似ています。
簡単に楽しく学べるでしょう。



文化・歴史を理解し、互いに育む関係をつくり
急速なグローバル化が進む東アジアの未来を築く

09 East Asia 東アジア地域

本学での「東アジア地域」は、中国と朝鮮半島(韓国・北朝鮮)を対象にしています。この地域は日本にとって、もっとも近い外国です。東京からソウルまで空路ならわずか2時間35分、上海までは平均3時間10分で到着します。晴れた日には、韓国の釜山から長崎県の対馬が肉眼で見えるほどです。このように近距離に位置する日本と中国・朝鮮半島の間では、古代から現在に至るまで盛んに交流が行われてきました。その影響は私たちの日常に及んでいます。しかし、現地の言葉を通してみると、まったく異なる景色が広がります。『似ているということは、違うということ』と胸に刻み、東アジアの深層部へと旅立てば、新しい日本の姿も見えてくるでしょう。



[履修する地域言語]

Chinese

中国語

東アジアの人々の生活と心、そして歴史をうつす中国語

教育: 中国語の教育では、実務的な言語運用能力を重視するとともに、本格的な研究に不可欠な深い語法知識の修得を重んじる基本方針を守っています。1年次では週2コマの文法、1コマの読解、2コマの会話、2年次では文法1コマ、読解2コマ、会話2コマの集中的な学習で、非常にハイレベルな中国語をマスターします。このほかに広東語と福建語の両方言を修得する授業があり、中国における言葉の多様な顔にふれ、それらの基本を学ぶことができます。

◎卒業後の進路: 製造業(トヨタ、ホンダ、クラレ)、金融(東京三菱UFJ銀行、農林中金)、マスコミ(日本経済新聞、NHK、フジテレビ)、法曹関係などで卒業生たちが活躍しています。翻訳をはじめ専門的に学んだ中国語を直接生かす卒業生も多数います。

Korean

朝鮮語

隣国の言語、文化、歴史にふれ、深く研究する

教育: 1・2年生では1週間に5コマの朝鮮語の授業があります。5コマの授業のうち、2コマはネイティブ・スピーカーの教員による授業。生の朝鮮語に存分にふれることができます。3・4年次では、朝鮮語で行われる授業が多数あります。また、東京外大には100名を超える韓国からの留学生が在籍しているので、いつでも彼らと朝鮮語で語らうことができます。

◎卒業後の進路: 就職と大学院への進学に分かれます。就職先は、金融、マスコミ、通信、運輸、製造、教育、ハイテク産業など、極めて多岐にわたっています。韓国で勤務している卒業生もかなりの数に上ります。大学院に進み、研究者として日本各地の大学で教鞭をとっている卒業生も大勢います。

Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



中国語教員

ZHAO Yan
趙艶 (チョウ・エン)

中国語を勉強して、
日中を親善の絆で結ぶ
使者になりませんか。



中国語教員

QUAN Min
全民 (ゼン・ミン)

中国語は発音が命。
美しい発音を身につけましょう。
最初が肝心です。



朝鮮語教員

CHOI Taewon
崔泰源 (チェ・テウオン)

映画や小説で、
生き生きとした朝鮮語と
文化を学びましょう!



東南アジア地域の政治経済、社会、文化などへの理解を深め、日本との架け橋となる人材へ

10 Southeast Asia 東南アジア地域

東南アジアは、大陸部と島しょ部に大きく分けることができます。東南アジア第1地域は、島しょ部6カ国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、東ティモール)、東南アジア第2地域は大陸部5カ国(ミャンマー、タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム)を対象とします。海の世界である島しょ部は、古来より人やモノが行き交う十字路で、この地域は、近代化、経済発展、民主化などのダイナミックな変化の中で、生き生きと個性が発揮されています。一方、大陸部も、日本との関係が密接です。タイを除くとASEANの中では経済的に後発国でしたが、近年は、日本を含む外資系企業の新たな進出先として、存在感が強まっています。



[履修する地域言語]

Indonesian

インドネシア語

豊かで多様な文化を誇るインドネシアの言葉を学ぶ

教育：インドネシア語は、1万3000あまりの島々からなる、2億を超える人口を抱えるインドネシアの言語です。1年次は、文法週2コマ、作文1コマ、会話2コマで基礎的な運用能力を固めます。2年次は、作文、会話に加え、読解3コマで、論説文や時事文、文学作品などを読み、読解力や語彙力を向上させます。3年次以降では、作文・会話・講読の授業で、筆記表現、口頭表現、読解の能力を高めます。

◎卒業後の進路：官公庁やメーカー、商社、金融機関、マスコミ、サービス業など、卒業後の進路は多岐にわたります。インドネシア語を駆使する職業もそうでない職業もありますが、卒業生はインドネシア語を専門的に学んだ経験を大いに生かして社会で活躍しています。

Malay

マレーシア語

マレーシア、さらにシンガポールとブルネイで通用する

教育：マレーシア語は、マレーシアの国語となっている言語です。1年次では、週に5回の授業があり、口頭表現を中心とした基本的なマレーシア語力を身につけます。2年次では、さらにレベルの高い口頭表現を身につけるほか、新聞記事をはじめとする文章の読解力の育成に取り組めます。3年次以降は、ネイティブ・スピーカーによるマレーシア語を用いた授業が中心となり、マレーシア語力を総合的に磨きます。

◎卒業後の進路：卒業生の進路は多岐にわたっています。民間では、製造、運輸・通信、サービス、金融、商業、マスコミなどの幅広い業種に進出しています。官公庁や国際機関で勤務する者も少なくありません。マレーシアをはじめ海外で勤務する卒業生も多数輩出しています。

Filipino

フィリピン語

フィリピン語と英語の2カ国語を修得し、世界へ

教育：東京外大におけるフィリピン語教育では、フィリピンの国語の一つであるフィリピン語と、人びとの文化や日常生活について学びます。1年次、2年次は週5回の授業があり、文法を中心に学びます。3年次以降は、目的や興味に応じて授業を選択し、フィリピン語のスキルアップを図ります。加えて、英語も重視します。20世紀前半のおよそ50年にわたってアメリカの統治下にあったフィリピンでは、現在でもフィリピン語より英語の力が必要とされることが多いからです。

◎卒業後の進路：就職先はマスコミ(テレビ・新聞)、金融、保険、商社、製造、物流・運輸、ITをはじめ、ホテル・旅行会社などのサービス業、航空会社、法曹、国際機関(ユネスコ、UN Habitat)、JICAや官公庁(外務省専門職など)、教育職(英語教員・大学研究者)など多岐にわたります。

言葉を通して世界諸地域への理解を深めましょう



インドネシア語教員

Daniel Hariman Jacob
ダニエル・ハリマン・ヤコブ

言語や文化を学ぶことで、インドネシアに親しみ、身近に感じてみましょう。



マレーシア語教員

Faridah MOHAMED
ファリダ・モハメッド

マレーシア語は簡単！東南アジア・イスラーム圏にデビューしましょう。



フィリピン語教員

Rocel MINESHITA
ロセル・峯下

フィリピン語は楽しいですよ。楽しみながら一緒に学びましょう！

[履修する地域言語]

Thai

タイ語

日本との関係が深く、ビジネス現場での有望株

教育：タイ語は約7000万人が使用するタイの公用語です。

インド系の文字は一見難解そうですが、基本は英語のアルファベットと同じ表音文字です。

タイ語の授業は、「文法1～4」「会話1～6」「聴解1～5」「講読1～10」「作文1～4」に分かれ、カテゴリ別に技能を高めていきます。

◎卒業後の進路：親日的なタイは、多数の日系企業が進出しており、アジアでは中国や韓国に次ぐ重要な産業集積地です。タイ語は、就職には間違いなく有利で魅力的な言語の一つと言えます。語学や国際的センスで、多くの卒業生がトヨタ、日産、ホンダ、東芝、東京三菱UFJ銀行、味の素などに就職しています。また、大学院に進学する学生も少なくありません。

Lao

ラオス語

「森の国」ラオスの言葉、素朴な人々の人柄も魅力的

教育：ラオス語は東南アジアの内陸国であるラオスの公用語です。

音の抑揚による美しい響きが特徴的で、丸みを帯びたラオス文字を使って書かれます。

1年次は、週にラオス語の授業が5コマ(文法3・会話1・表現1)あり、徐々に読解や作文にも取り組んでいきます。2年次になると、本格的に読解・翻訳・作文・会話というカテゴリに分けて学習します。

3年次以降は、各カテゴリから適宜選択し、さらなる語学力向上を図ります。

◎卒業後の進路：ここ2、3年は、公務員、建設業、製造、保険、英語教員、大学院進学など、多岐に渡り、ラオス語を通して培った思考力や国際感覚を武器に羽ばたいています。また、ラオスに滞在して、両国の懸け橋として活躍している卒業生もいます。

Vietnamese

ベトナム語

東南アジアと東アジアにまたがる古い歴史をもつ新興国

教育：ベトナム語は成長株として期待されているベトナムの公用語です。

1・2年次は週にベトナム語の授業5コマを履修し、しっかりと基礎的な語学力を養成します。

5コマの内訳は、1年次春学期では文法2、読解1、会話1、聴解1です。

1年次冬学期と2年次では、文法1、読解1、会話1、聴解1、表現1となります。

3年次以降も、より高度で幅広い語学力を培うためのベトナム語Ⅲの授業が複数開講されており、さらなるベトナム語のスキルアップを図ることができます。

◎卒業後の進路：ベトナムに進出している日本企業は多く、ベトナム語ができる人材の需要は高まっています。卒業生の就職状況は好調で、商社、銀行、製造業、マスコミなどの民間企業をはじめ、外務省などの公務員やJICA、JETRO、教員など、各方面に就職しています。



タイ語教員

Sunisa SAITO
(Wittayapanyanon)
スニサー・齋藤

日本にとって欠かせない
タイの言葉や事情を
一緒に楽しく学びましょう。



ラオス語教員

PHOMMY Chomchay
ポムミー・チョームチャイ

ラオス語やラオスの事を
共に学びましょう。
ラオスを学んでくれてありがとうございます。



ベトナム語教員

DINH Lu Giang
デイン・ルー・ザン

需要がますます高まっている
ベトナム語を
懇切丁寧に教えます。



Cambodian

カンボジア語

アンコールワットに代表される文化の言語

教育：カンボジア語は、カンボジア王国の国語です。

教材は本学で開発した入門書、辞書、視聴覚教材のほか、カンボジアから取り寄せた教材(副読本)を使用しています。

カテゴリとレベルのはっきりした授業を実施しており、カンボジア語の学習を通じて、単に知識を蓄えるだけでなく、物事を論理的に考える力と豊かな表現力を身につけることを目標としています。

◎卒業後の進路：民間企業(製造、商社、流通など)への就職が多いのですが、大学院に進学して研究を続けたり、官公庁系の試験を受けたり、国際協力機関で働いたり、さまざまな面で卒業生が活躍しています。

Burmese

ビルマ語

投資先、また巨大なマーケットとして注目のビルマの言語

教育：ビルマ語はミャンマー連邦共和国の公用語で、5000万人ほどの話者人口があります。1年次は文字と発音、そして口語文法と表現を学び、2年次からはこれに加えて文語も扱います。

2年次までにビルマ語の基礎的な運用能力をベースとして、3年次からは上級会話・翻訳・コンテンツ・ベースの読解といった高度な言語運用能力を習得するための授業が用意されています。

◎卒業後の進路：ビルマ語の卒業生は企業、国際金融、マスコミ、NGO、外務省をはじめとする公務員職、研究職などさまざまな分野で活躍しています。ミャンマーに滞在、駐在し、それぞれの仕事に従事している卒業生も少なくありません。



カンボジア語教員

VAN Sovathana
バン・ソバタナ

カンボジアの文化と文学に
関心を持って学ぼうとする
みなさんを歓迎します。



ビルマ語教員

Sai Kyaw Tun
サイ・キョー・トゥン

言語、伝統のそろうミャンマーの
事情を学ぼうとする
日本の若者を熱烈歓迎します。



日本との関係がますます深まる南アジア地域
歴史や文化の形成、そして急成長するいまを知る

11 South Asia 南アジア地域

南アジアは、現在では、8つの国家群(アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン、シュリー・ランカー)で構成される地域を指します。総人口は、16億をゆうに超えており、この地域にくらす人々は地球の総人口の5分の1強と言えます。また、南アジアは、3000万人を超えると言われる移民を送り出してもいます。現代世界では、南アジア的なものとの接触は、もはや日常的な現象なのです。この地域を構成する国家は、歴史において相互に深いつながりをもっているだけでなく、各言語話者も、国境を超えて存在しています。歴史的観点から南アジア世界をとらえ、そこから現代世界を把握することが求められています。



[履修する地域言語]

Hindi

ヒンディー語

歴史と文化、そして経済発展の進むインドの公用語

教育：インド共和国の連邦レベルでの公用語ヒンディー語は、話者人口でみれば世界第4位に位置する言語です。本学ではヒンディー語を、「文法I~II」「作文I~III」「会話I~IV」「読解I~II」のレベル・カテゴリー別に学習します。標準的な累進パターンは「文法」を1年次で終え、2年次以降の「読解」に不可欠な能力を修めます。「作文」は1年次は文法の進度に合わせて進め、3年次まで徐々にレベルを上げ、「会話」は4年間を通してコンスタントに履修できるよう設定されています。

◎卒業後の進路：総合商社、各種貿易会社を含む物流関係、自動車、電器、製薬、食品、マスコミ・出版など多様な方面に就職しています。また毎年1~2名が大学院へ進学します。

Urdu

ウルドゥー語

パキスタンの国語であり、南アジアのイスラーム教徒の共通語

教育：ウルドゥー語は、パキスタンで国語と定められているほか、南アジアではイスラーム教徒の共通語としての役割を果たしており、話者人口は数億人に上ります。本学では、1年次では、ウルドゥー語の文字の書き方や発音を基礎から始め、週5コマの授業で文法、会話、作文、読解を学びます。2年次は会話、作文、読解の能力を高め、ウルドゥー語を使って日常生活が送れることを目指します。3年次以降は、関心分野に応じたより高度で専門的な内容の授業を選択することで運用能力を向上させていきます。

◎卒業後の進路：卒業生の多くは商社やメーカー、外務省専門調査員、国際協力機構(JICA)専門家、パキスタンの大学で日本語教師、高校教員、警察の通訳官など。また大学院進学者もいます。

Bengali

ベンガル語

インドの東、バングラデシュの国語。ベンガル文化は奥が深い

教育：バングラデシュの国語であり、同時にインドの西ベンガル州の公用語です。話者人口は2億5000万人以上とも。1年次は週5コマのベンガル語の授業で、基礎文法をしっかりと学び、同時に会話や作文の授業でコミュニケーション能力を養います。2年次では同じく週5コマの授業において、本格的な講読のほか、作文、会話、聴解というカテゴリー別の学習を行います。3年次以降は各自の目的や興味に応じ、さまざまなベンガル語の授業を選択し、さらに高度な能力を身につけることができます。

◎卒業後の進路：2012年に新設されたため、まだ卒業生はいませんが、バングラデシュと日本の関係から、商社や製造業、旅行、NGOなどの多様な進路が期待されています。

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



ヒンディー語教員

Ram P. DWIVEDI
ラム・ブラカーシュドゥウヴェーデー

インドは古より連綿と続く
素晴らしい文化の宝庫です。
ヒンディー語が誇ります。



ウルドゥー語教員

Suhail Abbas Khan
スハイル・アッパース・ハーン

ウルドゥー語は、
学べば学ぶほど奥の深さに
驚かされる言語です。



ベンガル語教員

CHAKRABORTY
Amitava
チョックロボルティ・オミタバ

Learn Bangla,
experience a new world,
a different Asian culture.

Think and Act Globally and Locally!

東京外国語大学で学べる世界14地域27言語



各地の強い地方性と多様な文化や宗教のあり方、地域の特性を理解し、世界の動向をつかみます

12 West Asia · North Africa 西アジア・北アフリカ地域

アラビア語、ペルシア語、トルコ語が使用され、アラブ諸国、イラン、トルコといった国々を包摂する地域を言います。ナイル文明、メソポタミア文明、古代ギリシャ・ローマ文明、そしてユダヤ教・キリスト教・イスラームといった一神教の文化を育んできた同地域は「文明の十字路」であり、アラブ・イスラエル紛争、「テロとの戦い」、「アラブの春」など、国際社会におけるおもな政治的問題を「凝縮」しています。私たちはこの地域の石油や天然ガスの多くを依存しながら、「砂漠」、「狂信」、「テロ」といった偏ったステレオタイプゆえに、この地域に無理解です。しかしここで起きていることに目を背けては、世界のいまを理解することはできません。



〔履修する地域言語〕

Arabic

アラビア語

国連公用語の一つ。アラブ世界を知らずに世界はわからない

教育：アラビア文字は見慣れない不思議な形と思うかもしれませんが、たった28の文字です。1年次の春学期にはアラビア語文法の全体像を学びます。2学期からは読解、聴解、作文、会話の実践的な能力を高めます。2年次は、これらの能力をさらに向上させるとともに、日常会話で用いられる方言について学びます。3年次以降は、読解、聴解、表現、討論などを行います。アラブ諸国からの留学生が補助のために参加する授業もあります。

◎卒業後の進路：就職先としては、報道(新聞、テレビ、通信社)、金融、商社、製造業、エネルギー、また官公庁(外務省、防衛省など)、教育職など多岐にわたります。アラブ諸国や海外で活躍する卒業生がかなりの数に上り、大学院への進学者も多くいます。

Persian

ペルシア語

イラン、そして、アフガニスタン、タジキスタンの公用語

教育：1年次は、週に5コマのペルシア語の授業(文法3コマ・会話2コマ)があり、徐々に読解や作文にも取り組んでいきます。2年次は、講読・作文・会話・聴解といったカテゴリーに分けて勉強します。3年次以降は、各学生の目的に応じ、各カテゴリーからペルシア語の授業を選択し、スキルアップを図ることができ、授業の一環としてイランの新聞の翻訳も行っています。

◎卒業後の進路：ペルシア語を学んだ学生たちは、マスコミ(テレビ、新聞)、金融、商社、製造、物流・運輸、IT関連、ホテルや旅行会社などのサービス業、JICAや官公庁(外務省専門職を含む)、教育職(英語教員、研究者)など、多岐にわたる分野で活躍しています。

Turkish

トルコ語

日本との関係が深まるトルコ。その公用語がトルコ語です

教育：1年春学期には文法3、作文1、会話2、1年秋学期には文法1、作文1、会話1、講読2のトルコ語の授業があり、徐々に読解や作文にも取り組んでいきます。2年次では、講読・作文・会話のカテゴリーに分けて勉強します。3年次以降も、会話や講読の授業でトルコ語のスキルアップを図り、ボアジチ大学(イスタンブル)、アンカラ大学(アンカラ)と学生交換を実施しています。

◎卒業後の進路：大学で学んだことを生かし、さまざまな企業で働いています。トルコに進出する日本企業が増え、そういった会社で就職する人も増えています(トヨタ自動車、プリジストン、三菱商事、大成建設など)。外務省、トルコ航空、新聞社、旅行代理店、銀行、電気系メーカー、IT企業、教員など、進路は多様です。

Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



アラビア語教員

Soliman Alaaeldin
スライマン・アラール・エルディーン

20カ国以上の国々で
使われているアラビア語を
一緒に学びましょう!



ペルシア語教員

Nasrin SHAKIBI MOMTAZ
ナスリーン シャキビー・モムターズ

一緒に楽しくペルシア語の
勉強ができることを
楽しみにしています。



トルコ語教員

Z. Müge İGARASHI
ゼリハ・ミュゲ・イガラシ

学びやすいが奥は深い!
トルコ語の世界を
一緒に楽しみましょう。

Think and Act Globally and Locally!

東京外国語大学で学べる世界14地域27言語



農村社会、開発援助などの国際協力、紛争と平和など、
理解力・分析力・発信力を養います

13 ^{Africa} アフリカ地域

アフリカ地域は、ヨーロッパ、アメリカ大陸、中国などがすっぽり入るほどの広大な地域です。自然のポテンシャルと人々のバイタリティ…。この地にふれると、多様性と力強さに誰もが驚きます。私たちはこれまで欧米を手本として近代社会をつくり、その視点だけから世界を認識してきましたが、現在この地域は急激に変化しながら、グローバル経済のうねりの中で再考を迫られています。他方、その表舞台に新しい価値観を運んで来ようとしているのがアフリカだとも言われています。生や死と率直に向き合い、明るく生きる姿、人とのつながり、“いま”を生きるアフリカの学びは、新しい国際社会のあり方を多面的な価値観でとらえる絶好の機会となるでしょう。

[履修する地域言語]
アフリカ(英語)の学生対象

English

英語(必修科目)

[履修するそのほかの地域言語]

French / Portuguese / Arabic

フランス語(選択必修科目) / ポルトガル語(選択必修科目) / アラビア語(選択必修科目)

Swahili

スワヒリ語(選択推奨科目)

可能性の大陸アフリカ。未来を築く第一歩はここから

教育：アフリカには現在2000を超える言語が存在すると言われています。言語状況はたいへん特殊かつ複雑で、最小地域単位の言語、広域で使用される地域言語、そして植民地時代に導入された英語・フランス語などの公用語に区分されます。こうした重層的多言語状況を考慮し、アフリカ地域専攻では、まず1・2年で必修の地域言語Aとして英語を学び、同時に、教養外国語の中からフランス語、ポルトガル語、アラビア語のうち1つを選択必修で学びます。さらに東アフリカ一帯で使用されるスワヒリ語の習得も推奨しています。自分にとって、ベストの組み合わせをアレンジしてください。

◎卒業後の進路：国際機関、政府系機関、NGOなど援助の世界で活躍する、近年増えているアフリカ進出を図る一般企業でパイオニアになる、専門の地域研究者として活躍するなど、道はますます広がっています。アフリカを知れば、どんな舞台でもやっていける自信がつくでしょう。

Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



アフリカ地域担当教員

坂井真紀子
Sakai Makiko

どんどん変化する大陸・
アフリカの面白さを
一緒に体験しましょう。



アフリカ地域担当教員

島田周平
Simada Shuhei

アフリカから世界を見ると、
これまでの風景が
一変しますよ！

Think and Act Globally and Locally!

東京外国語大学で学べる世界14地域27言語



外国人・日本人が分け隔てなく混在した環境で
国語とは異なる日本語、多文化社会に向かう日本を学ぶ

14 ^{Japan} 日本地域

言語文化学部日本語専攻では、日本語や日本文学を、世界の諸言語の一つとしての日本語、世界の文学の中における日本文学という観点で見つめ直します。世界には、約300万人の日本語学習者がいると言われていますが、日本語を正しく学び、そのような人々と直接・間接にふれあうことを目指します。また、国際社会学部日本地域専攻では、世界、とりわけアジアの中の「日本」という視点にたつて、日本についてしっかり学び・考え、自ら発信していく力を身につけます。留学生とともに、比較の視点を強く意識しつつ学ぶことを通じ、卒業後は世界各地で「日本」について語り、発信できる人材として活躍することが期待されています。

[履修する地域言語]

Japanese

日本語

世界の中、アジアの中の「日本」をしっかり学ぶ

教育：日本の言語・文学・文化・歴史などについて外国人学生・日本人学生と一緒に学ぶカリキュラムが組まれています。日本人学生にとっても外国語として日本語を学ぶことは新鮮な経験です。ただ口頭表現、文章表現、読解、古文などの授業は、外国人学生だけの教室で学びます。一方、日本人学生は母語を相対化する訓練として、研究言語などの授業を受講します。

◎卒業後の進路：日本人学生・外国人学生とも多くが日本語教師を目指し、その夢を実現させています。しかし、日本語教師以外の進路もあります。民間企業に勤める人、公務員になる人、英語教師になる人など、進路は実に多様です。博士の学位を得て専門研究者として活躍する人も少なくありません。

Messages from Teachers

言葉を通して
世界諸地域への
理解を深めましょう



日本文学担当教員

村尾誠一
Murao Seichi

日本の古典文学の価値は
普遍的です。世界に発信する
基礎を学びましょう。

サポート体制

留学 ————— p.65

就職 ————— p.74

生活全般 ————— p.80

さらなる学び ————— p.82

留学

語学を体で学び、文化や歴史を習得するには、その土地に行くことが何よりの早道です。百聞は一見にしかず。東京外国語大学では、学生の2人に1人が留学を経験します。1年間の留学を行う学生は、1学年の50%、400人に上ります。加えて、夏学期、冬学期に本学協定校が行うサマープログラム、スプリングプログラムに参加し本学の単位を修得する「短期海外留学制度」も始動。多くの学生が参加しています。

向学心に応える充実した制度とネットワーク

制度

交換留学制度
留学して4年間で卒業

世界50の国や地域の116の大学と学生交流協定を結んでいます。これらの大学からは毎年約100人の学生が本学にやってきます。本学からは、毎年130人を越す学生が派遣されています。2年次の秋学期、または3年次の秋学期から1年間の留学をするケースが多く、留学先で修得した単位は本学の単位として認定されます。派遣先の大学では、現地の学生と一緒に学びます。留学期間を含め、4年で本学を卒業することが可能です。

短期海外留学制度

夏学期・冬学期に海外留学

夏学期・冬学期を利用し、本学の協定校へ短期留学する制度です。2016年の夏には世33カ国1地域66の協定校でプログラムが実施され、約300人の学生が参加します。留学中の学習は、本学の単位として認定されます。

休学留学制度

協定校以外の大学へも留学

休学して協定校以外の大学などに留学できます。本学が認定している教育機関の場合は単位認定が可能です。協定校へ交換枠以外で留学するケースもこれに含まれます。

奨学金

日本学生支援機構の奨学金
協定校への留学をサポート

協定校に派遣される交換留学生と短期留学生には日本学生支援機構(JASSO)からの奨学金(月額6万円~10万円)が支給されます。これは返還義務のない給付型の奨学金です。ただし、支給にあたっては、成績係数(GPA)2.3以上、本学学生交流協定校へ留学などの条件があります。2016年度には本学から協定校に派遣される留学生509人(交換留学生129人、短期海外留学生380人)にこの奨学金が支給される予定です。

JASSO奨学金(給付型)

月額6万円~10万円

交換留学生————— 129人へ支給
短期海外留学生————— 380人へ支給

必要条件

- ① 本学の学生交流協定校への留学
- ② 成績係数が2.3以上

支援体制

留学支援共同利用センター
有意義な留学の実現をバックアップ!

本学の学生のほとんどは「学生時代に必ず留学したい!」と思って入学してきます。でも選択肢は多く、迷うこともあるでしょう。まずは本部管理棟1階にある留学支援共同利用センターを訪ねてみてください。さまざまな留学制度、派遣先大学の特徴、必要な準備や手続きについての情報を得ることができます。留学から戻った先輩たちの話も聞くことができます。

東京外語会

世界に広がる卒業生の輪

東京外語会は本学卒業生の組織です。世界中のどの町に行っても卒業生と出会えるのは本学ならではの。東京外語会は世界の53カ所に支部を持ち、現地で留学生をサポートします。困ったときに頼りになるのは、現地に通じた先輩たちです。

留学危機管理

万全の体制で留学をサポート

世界に飛び立ち、世界各地で生活する本学の学生たちの周りには、危険もないわけではありません。本学では教職員一体となり海外で学ぶ本学学生へのサポート体制を整えています。学生が所持する「海外旅行・留学危機管理ハンドブック」はその産物の一つです。

日本語パートナーズ

東南アジアで日本語を教える

東南アジア諸国の学校で、現地日本語教師のアシスタントとして授業をサポートする「日本語パートナーズ」。本学は国際交流基金アジアセンターと協定を結び、本事業の推進を支援しています。

世界に広がる学びの舞台——。ベストな選択を

世界59カ国1地域の大学等研究機関と国際学術交流協定を結んでいます。そのうちの116の大学とは学生交流協定を結び、双方の学生の往來を保証しています。116の大学は、いずれも各国のトップ大学です。このネットワークを使って、2015年度には本学の173人の学生が約1年間の留学に飛び立っていきました。

協定校が実施するサマープログラム、スプリングプログラムに参加する短期海外留学も増えています。一方、これらの協定校からは2015年度に149人の学生が1年間の留学のため本学へやってきました。また、本学でも協定校向けに日本でのサマープログラムを実施します。「世界がキャンパス」の輪は、日々広がっています。

世界がキャンパス (50カ国・地域116大学)

ヨーロッパ

ブルガリア

ソフィア大学

チェコ

カレル大学

イタリア

ナポリ東洋大学

ヴェネチア大学

トリノ大学

ローマ大学「ラ・サピエンツァ」

ボローニャ大学

スイス

ジュネーヴ大学

チューリヒ大学

ドイツ

マールブルク大学

エアランゲン-ニュルンベルグ大学

ギーゼン大学

ビーレフェルト大学

ゲッティンゲン大学

ハンブルク大学アジアアフリカ研究所

オーストリア

ウィーン大学

フランス

パリ第三大学

パリ政治学院

フランス国立東洋言語文化学院

ボルドー政治学院

リール第3大学

パリ第7大学

グルノーブル第三大学・スタンダール大学

オランダ

ライデン大学

ポルトガル

コインブラ大学

リスボン大学

ポルト大学

スロヴェニア

リュブリャナ大学

スペイン

セビーリャ大学

ポンベウ・ファブラ大学

マドリッド自治大学

アルカラ大学

バルセロナ自治大学

イギリス

ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院

リーズ大学

マンチェスター大学

エセックス大学

アイルランド

アイルランド国立大学コーク校

ポーランド

ヤギェロン大学

アフリカ

エジプト

カイロ大学

アイン・シャムス大学

モロッコ

ムハンマド5世大学アグダール校

ザンビア

ザンビア大学

モザンビーク

エドゥアルド・モンドラーネ大学

ルリオ大学

ロシア・中央アジア

ロシア

ロシア国立人文大学

モスクワ大学

サンクト・ペテルブルク国立大学

モスクワ国際関係大学

極東連邦大学

ウズベキスタン

タシュケント国立東洋学大学

カザフスタン

カザフ国立大学

モンゴル

モンゴル国立大学

アジア

中国

上海外国語大学

北京語言大学

厦門大学

内モンゴル大学

東北師範大学

大連外国語大学

北京大学外国語学院

寧波大学

(香港)

香港中文大学

香港大学

台湾

国立政治大学

国立台湾大学

淡江大学

韓国

延世大学校

ソウル大学校

韓国外国語大学校

淑明女子大学校

韓信大学校

聖公会大学校

フィリピン

フィリピン大学

インドネシア

ガジャマダ大学

インドネシア大学

マレーシア

マレーシア国民大学

シンガポール

シンガポール国立大学人文社会科学部

ラオス

ラオス国立大学

タイ

シーナカリンウィロート大学

チェラーロンコーン大学

チェンマイ大学

ブルネイ

ブルネイ・ダルサラーム大学

ベトナム

ハノイ国家大学人文・社会科学大学

ホーチミン国家大学人文・社会科学大学

ハノイ国家大学外国語大学

カンボジア

王立プノンペン大学

ミャンマー

ヤンゴン大学

バングラデシュ

ダッカ大学

インド

デリー大学

ジャドプル大学

中近東

イラン

アッラーメ・タバタータバーイ大学

イスラーム自由大学シーラーズ分校

イスファハン大学

シリア

ダマスカス大学

トルコ

アンカラ大学

ボアジチ大学

パキスタン

パンジャーブ大学

パレスチナ

ビルゼイト大学

オセアニア

オーストラリア

オーストラリア国立大学

メルボルン大学

ニュージーランド

オークランド大学

ヴィクトリア大学ウェリントン校

北米

カナダ

ブリティッシュ・コロンビア大学

レジャイナ大学

アメリカ

カリフォルニア大学サンディエゴ校

コーネル大学

ニューヨーク州立大学オルバニー校

ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校

サンディエゴ州立大学

中南米

ブラジル

リオ・デ・ジャネイロ州立大学

バラナー連邦大学

カンピナス州立大学

メキシコ

グアナフアト大学

メキシコ国立自治大学

コロンビア

エアフィット大学

アルゼンチン

国立ラプラタ大学

年間の海外留学者数(2014年度)

	交換留学	休学留学・自由留学	短期海外留学
ヨーロッパ	110	177	107
ロシア・中央アジア	30	34	16
アフリカ	4	9	7
中近東	8	20	20
アジア	66	119	80
オセアニア	8	14	12
北米	28	50	65
中南米	12	28	0
合計	266	451	307



国立台湾大学



レジャイナ大学

東京外大から世界へ——。実体験に勝るものなし

「世界」を学ぶ東京外国語大学の学生にとって、留学は必須アイテム。専攻する地域の言語を磨くため、1年次の夏学期・冬学期には、まずは短期海外留学へ。その後、2年次、3年次に1年間の交換留学に向かう学生が数多くいます。また英語圏への短期海外留学で英語力を磨くこともできます。

協定校のサマープログラムの中には世界中から集まる学生と一緒に専門講義に参加するプログラムも多数あります。共に学び、議論した友人を世界中にもてるのは、留学の醍醐味と言えるでしょう。本学がもつ「世界全部がキャンパスになる」ネットワークを使って、世界に飛び出していきましょう。

■留学スケジュール



交換留学 2014年度



平田杏香

国際社会学部4年
中央アジア地域/ロシア語
タシュケント国立東洋学大学
(ウズベキスタン)

私は2014年9月から2015年6月末まで、タシュケント国立東洋学大学に留学していました。ウズベキスタンには100以上の民族が住んでいて、街を歩いているとウズベク語、ロシア語、タジク語などたくさんの言語が聞こえてきます。言語オタクにとってまさに天国！私はウズベク語とロシア語を学びました。放課後は民族楽器を学んだり、バレエやオペラを観たり、中高校生にソーラン節を教えたり。長期休暇はサルカンドやヒヴァに旅行に行ったり、アラル海で泳いだりもしました。文化や宗教を超えて理解し合うことの難しさと楽しさを学ぶことのできた1年でした。ぜひシルクロードの交差点でたくさんの人々とふれあい、貴重な体験を試みてください。



大橋 響

言語文化学部4年
ビルマ語/東南アジア地域
ヤンゴン大学(ミャンマー)

2014年12月から2015年の9月までの10カ月間、ミャンマーのヤンゴン大学に留学していました。留学生活の中で一番印象深かったのは、何と言っても寮生活です。格安の寮費(朝夕食事込みで月3500円!)で住むことができたのですが、生活の基準はすべて周りのミャンマー人学生と同じ。外国人だからといって優遇されることはありませんでしたが、現地の学生の暮らしぶりについていろいろ学べたと思います。毎日冷水シャワー、猛暑の中エアコンなしという環境も、慣れてしまえばどうにでもなるものです。このように、なじみの薄い国にあたりまえのように留学できるのは東京外大の長所だと思います。入学したら、ぜひ留学して興味ある国のことを思う存分学んでみてください！



鈴木真央

国際社会学部3年
オセアニア地域/英語
エッセックス大学(イギリス)

私は2年の後期から3年の前期まで、派遣留学生としてイギリスのエッセックス大学で勉強をしていました。出発前は現地で学ぶ国際関係・国際法の授業や初めての一人暮らしに対して不安を感じていました。しかし、留学を通して学習面で大きく成長できたことはもちろん、授業や寮での生活を通じて世界各地から来た多くのかけがえない友達を得ることができ、日本ではできない経験もたくさんすることができました。毎日フラットメイトと食卓を囲み、各国の料理をふるまいあったこと、日本語や日本文化を学びたい学生のお手伝いをしたこと、毎週2時間程度乗馬を楽しんだことは鮮やかに私の記憶に残っています。本当に夢のようなイギリスでの9カ月間でした。



森 知佳

国際社会学部4年
東アジア地域/中国語
北京大学(中国)

「中国に留学行くことになったよ」。そう友達に伝えた時、反応は必ず「え、行って大丈夫なの?」でした。中国はそんなに危ない国でしょうか? いいえ、違います。中国は見知らぬ外国人にとっても優しく、そして勉強熱心な国でした。私は派遣留学で北京大学に行きました。彼らの学習に対する欲求は高く、朝8時から夜の9時まで授業があり、そんな雰囲気の影響されてか私も同じように図書館にこもって勉強しました。そして、困っているとか何から何まで助けてくれ、自分の都合を顧みずにいろんなところへ連れて行ってくれる、そんな中国人の良いところをたくさん知ることができました。その国の本当の姿を知るために、留学という手段はとても有効だと実感できました。





星野 環

言語文化学部4年
ドイツ語/中央ヨーロッパ地域
ハンブルク大学(ドイツ)

1年間のドイツ留学中、私にとって1日は48時間だった。SNSから遠ざかり、毎日が新しい出会いと学びであふれていた。時間がゆっくり流れると、行動力が物を言うことを知り、さまざまなことに挑戦した。ドイツ語習得に精を出し、ゼミでドイツ人学生と渡り合い、学期末試験では優の成績をとるまでになった。2カ月もある長期休業期間にはボランティアとして働いたり、お金をかけずに見聞を広めようとバックパックで欧州各地を訪ね歩いたりした。クリスマスやイースター休暇には、3時間に及ぶ教会でのミサを経験しキリスト教の文化に深くふれ、伝統料理も堪能した。ドイツ、欧州の文化の素敵なところ、そこから見える日本の魅力について十二分に学べた貴重な1年だった。



河村雄一

国際社会学部3年
中央アジア地域/モンゴル語
モンゴル国立大学(モンゴル)

約3週間、東京外大の提携校であるモンゴル国立大学にショートビジットプログラムを利用して短期留学をしました。午前中は学校で2コマのモンゴル語授業、午後は院生のガイドでウランバートル市内のエクスカージョンをするなど充実した毎日を過ごしました。モンゴル語のシャワーを24時間浴び続けるため(寝ている間もモンゴル人が騒いでいるのが聞こえてきます)、聞く力と会話力が特に身につきました。また現地の先生にモンゴルの状況や文化を直接学ぶことができ実りのある留学となりました。言語が初心のため長期留学には躊躇しましたが、ショートビジットは比較的容易に決断できました。SVP[※]はモンゴルを知り見聞を広めるには十分なプログラムです。



※SVP:ショートビジットプログラム(短期海外留学制度)

短期海外留学(ショートビジット) 2014年度



稲葉雄大

国際社会学部3年
中央ヨーロッパ地域/チェコ語
カレル大学(チェコ)

短期留学に参加することは、東京外大に合格した時点で決めていました。私にとっては初めての海外渡航・生活でしたが、大学で学びはじめた言語を使って過ごすことで、かなり刺激的で充実した毎日を送ることができました。

短期留学にはさまざまな国からの参加者がいるので、彼らとの何気ない日常会話でさえも、自分の価値観や思想を見直す絶好の機会になりました。渡航前は不安や問題に悩むこともありましたが、家族や先輩、留学支援室の方々が大きな力になってくれました。1カ月という短い期間ですが、短期留学で得ることができるものは今後の大学生活や将来を考えるうえでも非常に参考になります。ぜひ参加してみたいかがでしょうか。



中根聡一郎

国際社会学部3年
南アジア地域/ヒンディー語
カリフォルニア大学サンディエゴ校
エクステンション(アメリカ)

自分は2年次の夏にカリフォルニア大学サンディエゴ校の「4-week Business Englishコース」に行きました。このコースを選んだ理由は単なる「英語力を上げる」というだけでは目的が弱くモチベーションも上がらないため、将来的に役に立つビジネス英語を学べるということを決めました。

経済学、プレゼン術、ビジネスレターの書き方などを学びましたが、一番驚いた事は参加者の半数近くが世界を股に掛けて働いている若い社会人だったことです。そんな周囲に刺激されて過ごした4週間は非常に内容の濃いものでした。自分の専攻言語とはかわりのない地域でのショートビジットは疎遠になりがちですが、挑戦する価値はあると思います。



奥野 叡

言語文化学部2年
インドネシア語/東南アジア地域
ロンドン大学東洋・アフリカ研究学
院(イギリス)

私が留学したSOAS(東洋・アフリカ研究学院)は、その名の通り東洋研究の最先端を行く大学で、その質の高い教育を求めて世界中から留学生が集まっています。その数はなんと全学生の4割に及びます。キャンパス・寮ともにロンドンの都心に位置し、とてもにぎやかな雰囲気です。

流石は名門校、100万冊もの蔵書を抱える8階建ての図書館は圧巻の存在感で、英語だけでなく、現地語の文献も多く扱っています。学食では毎日アジア・アフリカの料理が日替わりで食べられ、初めて見るような料理からどこか見覚えのある「Katsu Curry」までいろいろと出ます。もちろんイギリスといえばこれ、フィッシュアンドチップスも割安で買えますよ!



吉中 輝

言語文化学部3年
ポルトガル語/西南ヨーロッパ地域
リスボン大学(ポルトガル)

結論から言えば、私のポルトガルへのショートビジットは成功でした。そう言い切れるのは、今回2つのことに気づくことができたからです。

1つ目は、一口に留学と言っても、いくつもの選択肢があるということ。私は今回、リスボン大学のポルトガル語コースに通いました。以前から妄信的に「留学するならリスボンだ」と思っていたからです。ですが、滞在中に他の都市へ旅行をし、リスボン以外の都市も「アリだ」と思うようになり、ブラジルでもくらしてみたいと思うまでになりました。そして2つ目は、現地にいらして努力を積み、確実に力がつくということです。1カ月の滞在でしたが、リスニング・スピーキング力の確かな向上を感じました。百聞は一見に如かず、であります。



未来をつくる第一歩——。個と世界を知る

東京外国語大学では、世界79カ国1地域から643人の留学生が学んでいます。本学では、IJ共学(International & Japanese Students)の理念に基づき、外国人留学生と日本人学生がともに学べる環境づくりに取り組んでいます。国籍を超え、日常の中で多言語・多文化とふれあい、授業だけでは学べない多くのことを経

験できる環境があります。

キャンパスには留学生がたくさんいるので、カフェテリアで隣に座ったら気軽に話しかけてみてください。会話をし、心を通じさせることの喜びを、お互いを感じる事ができるでしょう。授業以外の部分で世界へのつながりが身近なところにある、これが本学の魅力です。

体制と活動

TUFS多文化交流コミュニティ

学生主体で留学生と一緒に盛り上がるさまざまな催し

留学生と一緒に活動したい！ そんな気持ちをもっている外大生は大勢います。その思いを形にするのが学生による「TUFS多文化交流コミュニティ(通称：たふこみゅ)」です。

毎週金曜日のお昼休みにおこなわれてい

る多言語交流「たふこみゅ FRIDAY」のほか、留学生の歓迎会や送別会、ハロウィンやクリスマスパーティなど、1年を通してイベントが目白押しです。参加留学生の出身も多国籍。さまざまな世界を感じることができます。



Language Exchangeコミュニティ

タンデム学習という方式で楽しく言語を学ぶ

「タンデム学習」とは学びたい言語・話せる言語が合致する学生同士がそれぞれの言語を教えあうことです。東京外国語大学ではこのタンデム学習を学生が主体となっていて行っています。その名も「LET'S(Language

Exchange / Tandem at TUFS)」。留学生と日本人学生とが交流しながら、学んでいる言語をさらに伸ばしたり、新しい言語を習得したりできます。



留学生とともに学ぶ！

留学生との濃厚な交流ができる英語による講義

東京外国語大学では、国際的な教養を英語“で”身につけることを目的とした「英語による科目」を用意しています。その一部は、留学生用のプログラムで開講されている授業と共通で開講されているため、本学で学ぶ世界各地からの留学生と一緒に学ぶことができます。日本の伝統文化・宗教・政治などの授業では、留学生とともに授業を受けるこ

とで、英語で日本語を語る力を実践的に身につけることができます。

また、専攻言語だけの環境で過ごす「イマージョン合宿」授業もはじまりました。2015年度には、ポルトガル語ネイティブの教員なども参加して、ポルトガル語だけの環境で過ごす「ポルトガル語イマージョン合宿(3泊4日)」を実施しました。



留学生をサポートする！

多文化交流実践授業で短期留学生に日本を紹介

夏や冬の短期留学プログラムに参加する留学生に、日本や日本文化を紹介するプログラムを企画・立案・実施するとともに、さまざまな活動を通して参加留学生と交流を深めることができる「多文化交流実践」の授業を用意しています。

また、留学生日本語教育センターが開講

する「全学日本語プログラム」では、留学生と日本人学生との交流型授業を随時企画し、日本人学生の参加を募集しています。

交流型授業への参加は、留学生の日本語学習のサポートになるだけでなく、国際的な視座から多くの学びを得る貴重な機会となります。



国際交流会館

キャンパス内の学生寮で生活しながら異文化交流

キャンパス内には3つの国際交流会館(学生寮)があります。1、2号館は、世界各国から日本語・日本文化などを学びに来た留学生のための居住施設ですが、3号館は、日本人学生と留学生が共に住みます。会館内では茶道教室やバザーなど、さ

まざまなイベントが頻繁に行われ、日常的に国際交流を体験できます。毎日のくらしの中で国際性や協調性、社会性が養われ、グローバル化する社会の中で活躍するための能力を身につけていくことができます。



就職

本学では学生一人ひとりが自立した社会人・職業人(プロ)として、生きがいと働きがいに満ちた人生を送れるよう自らの人生を設計し、主体的な進路選択、職業選択を行うことを支援します。その中心を担うグローバル・キャリア・センターは、各種ガイダンス、セミナー、講座、インターンシップ、免許・資格取得の支援など、学生一人ひとりが納得のいく進路を決定できるようサポートを提供します。



相談窓口

キャリア・アドバイザー

きめ細やかなカウンセリングでサポート

経験値の高いキャリア・アドバイザーによる進路・就職に関する面談(予約制)を受けることができます。学生一人ひとりと進路選択、就職活動、エントリーシートの書き方、面接対策などについての個別相談に応じています。希望者は、グローバル・キャリア・センター(研究講義棟2階)にて対応しています。



OB・OGによるキャリア相談

卒業生が強い絆でバックアップ

同窓会組織である「東京外語会」の協力により、各界で活躍する本学卒業生が、学生と個別に面談し、就職相談に応じています。仕事・業界のこと、就職活動や進路選択上での悩み、社会に出てからのキャリア形成など、実社会で活躍し、豊富な経験と深い見識をもつ多数の外語会員が経験を活かしアドバイスをしています。



就職情報コーナー

就職に関する情報を提供

グローバル・キャリア・センターに設けられた、求人情報の閲覧、書籍の貸し出しをしているコーナーです。企業・官公庁から届いた求人票や就職関連の各種啓発本やTOEICの参考書などを借りることができます。Eメールなどでアドバイス可能なOB・OG情報を見たり、企業別のOB・OG名簿や連絡先を開示請求することができます。



キャリア形成支援プログラム

試験対応の授業

公務員をめざす人へ

本学の学生の中には、国際社会で広く活躍したい、外交官になって社会に貢献したいという高い志を持った人が多くいます。国家公務員になるためにはまず、国家公務員総合職試験または外務専門職試験を受験して合格する必要があります。

国際社会学部では、日本の行政官、外交官をめざす学生に対し、国家公務員総合職試験対応の授業を強化します。これらの講義は言語文化学部にも所属する学生も受講できます。

【国家公務員総合職試験(法律区分)に対応した授業科目の例】
※「経済区分」「政治・国際区分」の試験区分に対応した授業も開講しています。

憲法を読み解く：憲法
法学入門：民法総論
法学：行政法(行政法総論)
法学：債権法
法学：物権法
法学：刑法入門
法学：憲法演習講義
国際法：国際法、国際紛争処理
経済学：財政学入門
経済学：経済事情 ※JETROとの提携

これらの授業のほかに、グローバル・キャリア・センターでは「外交官・国家公務員総合職プログラム」を用意し、受験する学生を手厚くサポートしています。

キャリア開発講座

世界で活躍するリアルな声を聞く

流動する世界の現実を学びながら、将来にわたって広く国際舞台で活躍できる人材育成を目的に、現場の最前線で活躍する方々を講師に迎え開催しています。世界経済の現状と日本のビジネスの将来について熱く語ります。

「メディア」

世界のおもな国のマスメディアと報道の特徴を学び、その国の国民性や文化の理解に努めます。新聞を題材にジャーナリズムへの理解を深めるとともに、地球市民としての自覚と判断力を培います。

「キャリアデザイン論」

東京外語会寄付講義「地球社会に生きる—社会人からのメッセージ」では、各分野で活躍する卒業生から現場での体験を聴きます。「職業について考える(基礎編・実践編)」のプログラムでは、卒業後の職業選択について考え、キャリアに関する理論を学びます。自分なりの職業観をもてるようになることを目指し、学生時代に何を勉強すべきかを検討します。



グローバルビジネス講義

ビジネス、経済をつかむ

一流企業の経営者や著名な起業家によるリレー講義。企業経営の極意、経営者の役割とリーダーシップ、企業における組織と個人の関係、ビジネスエリートに必要な資質と心構えなどを伝授します。

TUFNS NEXT

在学生による就職活動支援組織

内定先が決まった4年生を中心に組織された、学生による後輩のための就職活動支援組織です。各種就活生向けイベント(就活スタートアップセミナー、ESセミナー、業界対策セミナー)や就活生向けガイドブックの作成など、後輩のためにさまざまな活動を行っています。



教員免許

本学では、所定の単位を修得し教育実習を行うことによって、中学校・高等学校の教員免許状の取得が可能です。教員免許取得には、卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の単位の履修が必要ですが、多くの卒業生が実際に教員免許を取得し、中学、高校の教員として全国で活躍しています。2016年4月には、本学を卒業した12人が新たに教壇に立ちます。中学校・高等学校の英語教員になる人が10人(東京都、石川県の公立中学校・高等学校および神奈川県附属中・高等学校、鷗友学園女子中学高等学校、共立女子第二中学校・高等学校、女子学院中学校・高等学校、学習院女子中・高等科、海城中学校・高等学校)、高等学校の英語教員になる人が1人(神奈川県立公立高校)、地理歴史教員になる人が1人(東海大学付属高輪台高等学校)です。また、2014年度(2015年2月時点)において、37人の学生が教員免許状を取得しました。

免許状の種類

■ 言語文化学部

中学校教諭一種(外国語) 高等学校教諭一種(外国語)
対象となる外国語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、モンゴル語、インドネシア語、ラオス語、ビルマ語、ペルシア語

※どの外国語を入学時に選択しても、上記の外国語教員免許は取得できます。

■ 国際社会学部

中学校教諭一種(社会)
高等学校教諭一種(地理歴史)

現場を肌で感じ、次のステップへ

東京外国語大学では、キャンパスからグローバル・ステージへステップを踏む一人ひとりにあった独自の支援プログラムで、適性を見出す力を伸ばしています。

また、グローバル・キャリア・センターや東京外語会の紹介・斡旋により、多くの学生が海外・国内の企業でインターンを経験しています。インターンシップと

は、学生が一定期間企業などで研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験をする制度です。3年次の7～9月や2～3月に行う学生が多く、基本的に労働賃金はありませんが企業によっては払われるところもあります。実践的な言語コミュニケーション能力を高める機会としても、貴重な経験になるでしょう。

外交官・国家公務員総合職プログラム

外交官や国家公務員総合職を志す学生を対象に、公務員試験受験対策予備校との提携により、受験を支援する課外教育プログラムです。日本の未来を担うグローバル人材の輩出に力を注いでいます。



外務専門職合格者
鶴澤ひかる
 外国語学部4年
 フランス語専攻

「語学力を生かして働きたい」と外務省専門職を目指しましたが、一次試験の専門3科目(経済学・国際法・憲法)の勉強が予想以上に大変で、特に苦手な経済学には泣かされました。辛く厳しい受験期間を最後まであきらめずに乗り切ることができたのは、本プログラムのおかげです。毎週行われるホームルームで、元外交官の教授と内定者の先輩から助言や励ましの言葉を頂いたり、同じ夢を持つ外大生の仲間とさまざまな思いを分かち合ったりしたことが、受験生活の心強い支えでした。春からは外交官としての仕事を通じて、東京外大で身につけた語学力を磨くと同時に人間的に成長し、社会に貢献できるようになりたいです。



外務専門職合格者
松本幸之助
 外国語学部4年
 ロシア語専攻

「外交官・国家公務員総合職プログラム」では、予備校が提供する良質な講義を廉価で受けることができ、外務省出身の本学教授が面接や討論の練習、外交官の心構えを指導してくれます。また当プログラムには、専攻する地域や言語について、自分よりはるかに優秀な学生が集まっていると感じました。そのような仲間との意見交換や議論は、大変刺激になりますし、素晴らしい環境です。勉強は大変でしたが、当プログラムの手厚いサポートと、意識の高い友人達との切磋琢磨の中で、本当に多くのことを学ぶことができました。4月からは、ロシア語の専門官となり、隣国ロシアとの良好な関係が築けるよう尽力したいと思います。

■就職ガイダンス・イベントカレンダー

4月	就活スタートアップガイダンス(前期)
5月	講演「国際公務員になるには」 公務員ガイダンス 教員採用試験ガイダンス
6月	インターンシップガイダンス 就活マナー講座 マスコミ業界対策ガイダンス キャリア開発ワークショップ(自己理解とコミュニケーション)
7月	留学と就活に関する講座
9月	企業見学会(メーカー/マスコミ/商社) キャリア開発ワークショップ(自己理解とコミュニケーション)

10月	就活スタートアップガイダンス(後期) 就活筆記試験準備講座 業界・仕事研究講座 自己分析・自己PR講座
11月	エントリーシート対策講座 OB・OGなどによる業界・仕事研究会(マスコミ、独法、物流など)
12月	面接対策セミナー グループディスカッション対策セミナー 業界研究セミナー
3月	官公庁業務説明会 学内企業研究会/個別企業研究セミナー

海外・国内インターンシップ



杉浦真吾
 言語文化学部2年
 マレーシア語/東南アジア地域
 Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd
 (シンガポール)

「学ぶ」って何だ。「良く学び、良く遊べ」とは日常的に耳にする表現ですが、その「学び」が何なのか、疑問に感じました。今回インターンシップに参加したのは、ただ椅子に座って教科書を開くだけでなく、自らの実際の行動や経験に基づいた、普段とは一味違った「学び」がしたいと思ったからです。トヨタ自動車という、日本のリーディングカンパニーのシンガポール支社で、主に自動車の輸送に関する事業に携わり、自動車や輸送に関する知識はもちろん、働くということ、海外で働くこと、日本の企業で働くこと、グローバル企業で働くことの意義を学ぶことができました。それとともに、外大生の語学力や見識は、世界を相手に戦える代物だと確信しました。



中村美祿
 国際社会学部4年
 西南ヨーロッパ地域/フランス語
 Ayana Resort & Spa
 (インドネシア バリ島)

社会で働くとは、自分の望む生き方とは。就職活動を前に改めて将来について考える中で、これらの疑問を解決する糸口を見つけるためにインターンシップへの参加を決めました。あえて海外での接客業務を選んだのは、未知の世界で仕事をし、新たな自分と出会いたいと考えたからです。

バリ島のホテルで1カ月間ゲスト対応業務に携わり、接客だけではなく各部門代表のミーティングへの参加など貴重な経験もできました。英語での業務は困難もありましたが、日本では気づかなかった自分を知っただけではなく、多くの人の多様な生き方にふれることができました。海外で働くことを現実にしてくれたこのインターンシップが、人生設計に大きな影響を与えたことは間違いありません。



バガウトディノワ・マリナ
 国際社会学部3年
 日本地域/日本語
 三井住友海上火災保険(国内)

私が日本に学生として来てからもう3年間経っていますが、日本の企業などについてわからないことや不思議に思うことがまだまだたくさんあります。インターンシップは、日本の会社の中をのぞき、その知らない世界にふれ合うチャンスでした。

三井住友海上のインターンシップを通じて何を学べるかは事前にまったく考えていませんでしたが、実際にインターンシップをしていく中でわかったように思います。最後の日に振り返ってみたら、前の自分と比べてすごく成長している！ということはもちろんありませんでしたが、いまの自分をもっと理解できた気がします。毎日仲間と一緒にプレゼンテーションの準備をし、内定者にフィードバックをもらうことで自分の強みと弱みを知ることができました。



関根伸男
 国際社会学部3年
 ラテンアメリカ地域/スペイン語
 豊田自動織機(国内)

スペイン留学中に日本のものづくりの存在感の大きさを実感し、日本を代表するメーカーの一つである豊田自動織機での2週間のインターンシップ参加を決めました。配属先のコーポレート本部調達部では、海外拠点とのネットワーク構築など基本業務を学んだうえで、実際に海外各拠点でいかに調達コストを下げられるかという課題に主に挑戦しました。

デスクワークだけではなく、工場の見学や取引先への出張への帯同、海外拠点との電話会議なども経験でき、社会の一員として働く自分の姿をより具体的にイメージできるようになりました。仕事終わりに誘っていただいた食事の席では就職活動への不安なども親身に聞いてくださり、今後のキャリアを考える上で大きな助けになりました。

世界を知り、一歩前へ——。未来の懸け橋に

社会にでると、自ら考え行動する主体性や他者とのコミュニケーション力などが試される機会が多くなります。大学での学びやすごし方は大変重要です。人生をどのように設計し、どのように切り拓くかは自分次第で無限の広がりを見せませす。道のりはやさしいものではありませんが、一歩一歩、進んで行きましょう。

ここに就職・進路が決まった先輩の声を集めました。大学の4年間で大きな刺激を受けて日本から世界に目を向け歩きました。就職が厳しい時代といわれている近年においても、各業界や企業から高い評価を得ています。女性の就職率がよいことが本学の特徴で、就職力ランキングで1位に選ばれたこともあります。

学部卒業生進路先一覧 (2015年3月卒業者)

■ 商社、小売業

伊藤忠商事 (4) / 豊田通商 (3) / 兼松 (2) / 住友商事 (2) / 双日 (2) / 豊通食料 (2) / 野村貿易 (2) / JFE商事 / 伊藤忠丸紅鉄鋼 / エノテカ / 薬理 / トーハン / 三井物産 / 三菱商事 / イッセイミヤケ / 一保堂茶舗 / イトヨーカ堂 / サマンサタバサジャパンリミテッド / ジューー / 成城石井 / 高島屋 / 虎屋 / 阪急阪神百貨店 / 卓弥呼 / ファーストリテイリング / プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン (P&G) / 丸井グループ / プルミネ / ローソン

■ 金融業、保険業

三井住友銀行 (10) / 三菱東京UFJ銀行 (7) / 大和証券 (5) / みずほフィナンシャルグループ (3) / 三菱UFJ信託銀行 (3) / ゆうちょ銀行 (3) / りそな銀行 (3) / 東京海上日動火災保険 (3) / 三井住友海上火災保険 (3) / ジューシービー (2) / 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (2) / 第一生命保険 (2) / SMBC日興証券 / シティバンク銀行 / 日本政策金融公庫 / 野村證券 / みずほ証券 / 三井住友信託銀行 / あいおいニッセイ同和損保 / ソニー生命保険 / 損害保険ジャパン日本興亜

■ 鉱業、採石業など

国際石油開発帝石 (2)

■ 建設業

清水建設 (2) / 千代田化工建設 (2) / 鹿島建設 / 大成建設 / 西松建設 / 三井不動産リフォーム

■ メーカー

食料品・飲料など

伊藤園 / オタフクソース / 日清食品ホールディングス / ヨックモック / ロッテ

繊維工業

グンゼ / 東レ / 日清紡ホールディングス

化学工業・石油・石炭製品製造業

LIXIL (2) / ブリヂストン (2) / TOTO / 旭化成 / 出光興産 / サラヤ / 太陽石油 / 東洋紡 / 東和薬品 / 富士フイルム / 三菱化学 / ライオン

鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業

YKK / 神戸製鋼所 / 三菱製鋼

はん用・生産用・業務用機械器具製造業

テルモ (4) / 小松製作所 (3) / 荏原製作所 / オムロン / 日立建機 / 日立造船 / 横河電機

電子部品・デバイス・電子回路製造業

京セラコネクタプロダクツ / セイコーインスツル / 日本航空電子工業 / 日立アロカメディカル / マブチモーター

電気・情報通信機械器具製造業

三菱電機 (5) / ダイキン工業 (4) / 日本アイ・ピー・エム (4) / 東芝 (3) / 富士通 (3) / エレコム (2) / 沖電気工業 (2) / パナソニック (2) / 日立製作所 (2) / Sony EMCS (Malaysia) Sdn. Bhd. / クラリオン / サムスン電子ジャパン / シャープ / ソニー / 日本電気 (NEC) / パイオニア / リコー

輸送用機械器具製造業

いすゞ自動車 (3) / スズキ (3) / トヨタ自動車 (3) / 日産自動車 (3) / 三菱重工業 (3) / IHI (2) / アイシン精機 (2) / 住友ゴム工業 (2) / 豊田自動織機 (2) / 日野自動車 (2) / 富士重工業 (2) / 川崎重工業 / 本田技研工業 / 三井造船

■ 情報通信業

KDDI (2) / ソフトバンク (2) / 日本ビジネスシステムズ (2) / IJグループ・バルソリューションズ / NHKエンタープライズ / NTTデータ / ソニー・コンピュータエンタテインメント / トレンドマイクロ / 日本電子計算 / 東日本電信電話 (NTT東日本) / みずほ情報総研 / リクルートコミュニケーションズ

■ 運輸業、郵便業

日本航空 (5) / 東日本旅客鉄道 (4) / 日立物流 (4) / 全日本空輸 (3) / イースタン・カーライナー (2) / 阪急阪神エクスプレス (2) / ANAエアポートサービス / 商船三井 / 西日本鉄道 / 日本通運 / 日本郵船 / 日本郵便 / ヤマトロジスティクス

■ 不動産業、物品賃貸業

三井不動産 / 明和地所 / 森ビル

■ 電気・ガス・熱供給・水道業

東京電力 (2) / 九州電力 / 太陽日酸

■ 宿泊業、飲食サービス業

プリンスホテル (2) / アパホテル / サイゼリヤ / 帝国ホテル / ホテルオークラ

■ 生活関連サービス業、娯楽業

JTBワールドパッケージングズ / アメリカン・エキスプレス・ジャパン / エイチ・アイ・エス / 近畿日本ツーリスト / サンリオ / 中国ターミナルサービス / 阪急交通社 / 星野リゾート / ラウンドワン

■ マスコミ業

日本放送協会 (NHK) (4) / 日本経済新聞社 (3) / 読売新聞グループ (2) / 中京テレビ放送 / 東洋経済新報社 / 日本テレビ放送網 / ニッポン放送 / フジテレビジョン / 毎日新聞社

■ 出版業

アベイズム (3) / 広芸インテック (2) / NHK出版 / 現代書林 / 語研 / 大日本印刷

■ 学術研究、専門・技術サービス業

TMI総合法律事務所 (4) / アンダーソン・毛利・友常法律事務所 (4) / 半導体エネルギー研究所 (2) / 森・濱田松本法律事務所 (2) / アクセンチュア (2) / 電通 / 博報堂 / 翻訳センター / トーマツ

■ 教育、学習支援業

GABA (3) / ナガセ (2) / 日本公文教育研究会 (2) / 都立五日市高等学校 / 都立翔陽高校 / 横浜市立中学校 / 東京大学 / 青山学院 / 学習院大学 / 獨協大学 / 日本体育大学 / 駿河台学園

■ 医療、福祉

いきいき (2) / 日本赤十字社 / 千葉県国民健康保険団体連合会 / 高清会高井病院

■ 独立行政法人

日本貿易振興機構 (3) / 宇宙航空研究開発機構 / 国際観光振興機構 / 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 / 大学評価学位授与機構 / 日本原子力研究開発機構 / 防災科学技術研究所

■ 官公庁

国家公務

外務省 (5) / 国土交通省 / 総務省 / 財務省 / 国税庁 / 農林水産省 / 防衛省 / 内閣府

地方公務

東京都庁 / 茨城県庁 / 神奈川県庁 / 埼玉県庁 / 長野県庁 / 横浜市役所 / 川崎市役所 / 港区役所 / 青森市役所 / 市川市役所 / 府中市役所 / 静岡県警察

■ 大学院進学など

東京外国語大学大学院 (27) / 東京大学大学院 (9) / 一橋大学大学院 (1) / 大阪大学大学院 (2) / 京都大学大学院 / 筑波大学大学院 / 北海道大学大学院 / 早稲田大学大学院 / 東京大学 / The Australian National University / The University of Manchester / The University of Ulster

卒業後の進路 (2016年3月卒業者)



渡真利 菜々

外国語学部4年 アラビア語専攻
三菱商事に総合職で就職

「新興国におけるインフラ事業に携わりたい」。この思いから私は三菱商事を志望しました。大学受験では「人とは違う言語を学びたい」。その思いからアラビア語学科を選択、入学後は現地の文化や価値観を肌で感じたいと思いヨルダンに留学しました。留学中に難民支援のボランティアに参加しましたが、ボランティアでは難民を生む現状を打破す

る事はできないと実感しました。そのヨルダンで、三菱商事の社員が自ら最前線に立ちビジネスの主体となって働いている姿に感銘を受け、私自身が主体的にビジネスに関わる事で途上国の発展に貢献したいと思うようになりました。

卒業後は、外大生の行動力、異文化への柔軟性を武器として語学力を武器に新興国の発展に貢献できるような事業に携わっていきたいと考えています。

宮崎太輔

外国語学部4年 フィリピン語専攻
富士フイルムに総合職で就職

留学中、新興国のめまぐるしい経済発展を実感する一方で、健康や環境問題に配慮した持続可能な発展がこれからの世界では不可欠だと感じました。「こうした課題に高い技術力で貢献できる企業で働きたい…」。この想いは、就職活動における自分のテーマになり、中でも仲間と一つの課題に切磋琢磨して課題に取り組む環境があると感じたメーカーに魅かれていきました。そして何事にも「挑

戦」する企業風土に魅力を感じ、富士フイルムに進路を決めました。

振り返ると、大学のフライングディスク部では未経験ながらも主将として取り組んだり、留学先をあえてフィリピンの田舎に選んだり、チャレンジを重ねることで多くのものを得てきました。将来は海外業務に携わり、多くの挑戦を通じて成長していきたいと思っています。

梶原 駿

国際社会学部4年 北アメリカ地域 / 英語
三井住友銀行に総合職で就職

私は東京外大に入学当初から、英語を活かせる仕事があったという気持ちから漠然と海外で働きたいと考えていました。しかし、「海外で何をしたいのか」という問いに対して、なかなか答えを出すことができませんでした。

しかし、大学3年の夏にボランティアでインドに滞在した時に状況は一変しました。現地では、電気や水道、道路などのインフラが十分に整備され

ておらず、日々の生活に苦勞している人々を目にしました。その時、将来はこのような人々を助けられるような仕事があったいと強く感じたのです。

英語を活かして何がしたいかという問いへの答えを見つけた私は、海外でのインフラの投資に大きな強みを持つ、三井住友銀行に進路を決めました。今後は世界中の人々の安定した生活に貢献できるよう、頑張りたいと思います。

渡邊紫乃

言語文化学部4年 英語 / 北アメリカ地域
富士ゼロックスにテクニカルコミュニケーター(技術翻訳)として就職

英語漬けの毎日を送ってきた東京外大での4年間。いざ就職活動を迎えて気づいたことは、「英語に特化した職種」は少数派だということ。私もフツウの「営業」になるのかな、と弱気になることもあり

しかし、さまざまな会社の選考に挑戦する中で、やはり通訳や翻訳をしたいという気持ちが強まり、その後は「英語に特化した職種」への就職活動に

一層のやる気と自信を持って臨むことができました。最初の時点で選択肢を絞りすぎず、複数の業界や職種を視野に入れていたことが功を奏したと思っています。

春からは内定先企業の語学の専門職として、異言語間の橋渡しを担います。英語を得意とする人々が増えている今日、「語学職だからこそ」と言われる程の専門性を追求していきたいです。

生活全般

学生が学業に専念するためには、学費など経済的な基盤が前提となります。本学では大学という新しい環境の中で、心身ともに健全に安心してすごせるよう、さまざまな角度からサポートを行っています。学びたいと思う学生には有意義な学生生活を送れるよう独自の奨学金制度を設けて支援しています。安心して学び、次世代を担う人材が育つ環境がここにあります。

学費・奨学金

学費

入学料282,000円
授業料267,900円(前半期分)
267,900円(後半期分)
計535,800円(年額)

入学料免除・徴収猶予制度

入学前1年以内に、本人の学費を主として負担している者が死亡もしくは風水害などの災害を受けた場合など特別の事情のため、入学料の納付が著しく困難と認められる場合には、納付すべき入学料の全額または半額を免除する制度があります。また、経済的理由により入学料の納付期限までの納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる場合には、入学料の徴収を猶予する制度があります。いずれの制度も本人の申請により選考のうえ、決定されます。

授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業が優秀と認められる場合、期(前半期・後半期)ごとに本人の申請により選考のうえ、納付すべき授業料の全額または半額を免除する制度があります。

奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的理由により学費支弁が困難と認められる場合、学費を貸与する制度の申請が可能です。東京外国語大学では独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度がおもに利用されています。

また、このほかに卒業生の組織である東京外語会の奨学金が年間10人程度の学生に支給されています。地方公共団体・民間育英団体による奨学金制度にも申請できます。

【日本学生支援機構の奨学金】

貸与月額

■第一種奨学金(無利子):

自宅通学 30,000円、45,000円から選択

自宅外通学 30,000円、51,000円から選択

■第二種奨学金(有利子): 30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円から選択

【留学生への奨学金情報】

- 東京外国語大学国際教育支援基金による留学生への奨学金支給制度
- 日本政府(文部科学省)奨学金
 - (1)私費外国人留学生学習奨励費給付制度(独)日本学生支援機構では、私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、かつ経済的理由により修学が困難である者に対して、学習奨励費の給付事業を行っています。
- そのほか
- 独立行政法人日本学生支援機構による奨学金
- 全国の各種財団奨学金募集など多くの留学生支援があります。



2016年度入学生に対する緊急支援奨学金について

東日本大震災などの自然災害により、学費負担者の経済状態が急変した学生の学費負担軽減のため、2016年度入学生に対する緊急奨学金を支給します。緊急支援対象者には、入学料(282,000円)および年間授業料(535,800円)の合計額相当(817,800円)を支給します。

からだと心のサポート

学生相談窓口

学生のみなさんが、さまざまな疑問や悩みを解決し、充実した学生生活を送ることができるよう援助・助言するための学生相談窓口が設置されています。授業の履修方法など修学上の問題から、進路の問題、身体や心の健康、日常生活の問題まで、ありとあらゆる相談を受け付けています。持ち込まれた相談内容については、学生相談員が、その内容、程度を問わず、親身になって相談にあたります。相談者のプライバシーを守り、安心して相談ができる体制が整っています。

相談の内容はさまざまです

単位の取り方、時間割の組み方がわからない／授業が理解できない、ついていけない／留学の仕方がわからない／将来や自分の生き方について不安を感じる／就職活動で悩んでいる／友人ができない／対人関係、異性関係で悩んでいる／何もやる気かない／サークル活動やアルバイトで悩んでいる／先輩や教員とトラブルがある／ハラスメントを受けた／大学生活で何をしたいのか見つからない

保健管理センター

学生および教職員の疾病予防と健康の保持増進のため設置されています。定期健康診断や学内で起きたけがや病気の応急処置、健康相談・カウンセリングを行っています。保健管理医・産業医と呼ばれる医師、看護師に加え、曜日によっては、カウンセラー、内科医、精神神経科医が、みなさんの相談にのってくれます。

また、ホームページやニュースレター(ほけせん便り)を通じて保健に関する基礎知識を提供し、みなさんが保健面での自己管理の習慣を身につけられるように努めています。

生活支援

アパート・下宿の紹介

東京外国語大学には、外国人留学生と一緒に生活する「国際交流会館」という学生寮がありますが、大学周辺で一人暮らしをする学生も多くいます。住まいの紹介は東京外国語大学生活協同組合(大学生協)でも行っています。

国際交流会館3号館入居者募集要項

所在地：東京外国語大学キャンパス
募集人員：日本人学生47人
入居期間：2年間
生活に必要な費用：月額46,000円
入居時一時金：30,000円
問合せ先 学生課 TEL：042-330-5174
E-mail: gakusei-kakari@tufs.ac.jp

アルバイトの紹介

学費の補助のためアルバイトを必要とする学生向けに、大学生協においてアルバイト情報の提供を行っています。語学の講師や翻訳・通訳など語学力を要する職種の求人が多いのが東京外国語大学の特徴です。



学生後援会

学生後援会は、学部学生の保護者の方が中心となって2002年に設立された団体で、学生の正課授業や課外活動など大学生活を支えるさまざまな助成をしています。たとえば、大学行事である学内ポート大会や外語祭(大学祭)、学生の就職活動のためなどに幅広い経済的支援を行っています。また、保護者の方々に大学の現状や学生生活を知っていただくため大学との共催で「保護者への説明会」を開催しています。



さらなる学び

東京外国語大学に籍を置いたまま、他大学において指定された授業科目を履修することができます。各大学は、それぞれが特色ある歴史と伝統と教育プログラムをもつ個性的な大学です。「あの大学のあの授業を受けてみたい」「最近こんなことに興味がある」「卒業論文を書くうえでどうしても受けたい授業がある」など、目的は人それぞれでしょう。なじみのキャンパスを飛び出し、異なる環境で学ぶことは貴重な体験です。

大学をクロスして学べる制度

具体的な制度や科目

多摩地区国立五大学
単位互換制度

多摩地区にある5つの国立大学(東京外国語大学、東京学芸大学、東京農工大学、電気通信大学、一橋大学)が相互に交流し、教育の充実を図ることを目的に、単位互換制度を実施しています。

TAC (多摩アカデミックコンソーシアム)

TACは、国際基督教大学、国立音楽大学、東京経済大学、津田塾大学、武蔵野美術大学、東京外国語大学による大学協力機構です。TACに加盟している大学間では単位互換制度が行われているほか、学生は互いの大学の図書館を自由に利用することができます。

EU Institute in Japan (EUIJ)
東京コンソーシアム

EUIJ東京コンソーシアムは、東京外国語大学と一橋大学、国際基督教大学、津田塾大学が結成している日本におけるEU研究のための学術拠点の一つです。4大学の間でEU関係授業科目の単位互換を行っています。

四大学連合による制度

四大学連合は、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学が結成している連合です。このうち、東京外国語大学と東京工業大学は「複合領域コース、国際テクニカルライティング・コース」において、単位互換を実施しています。

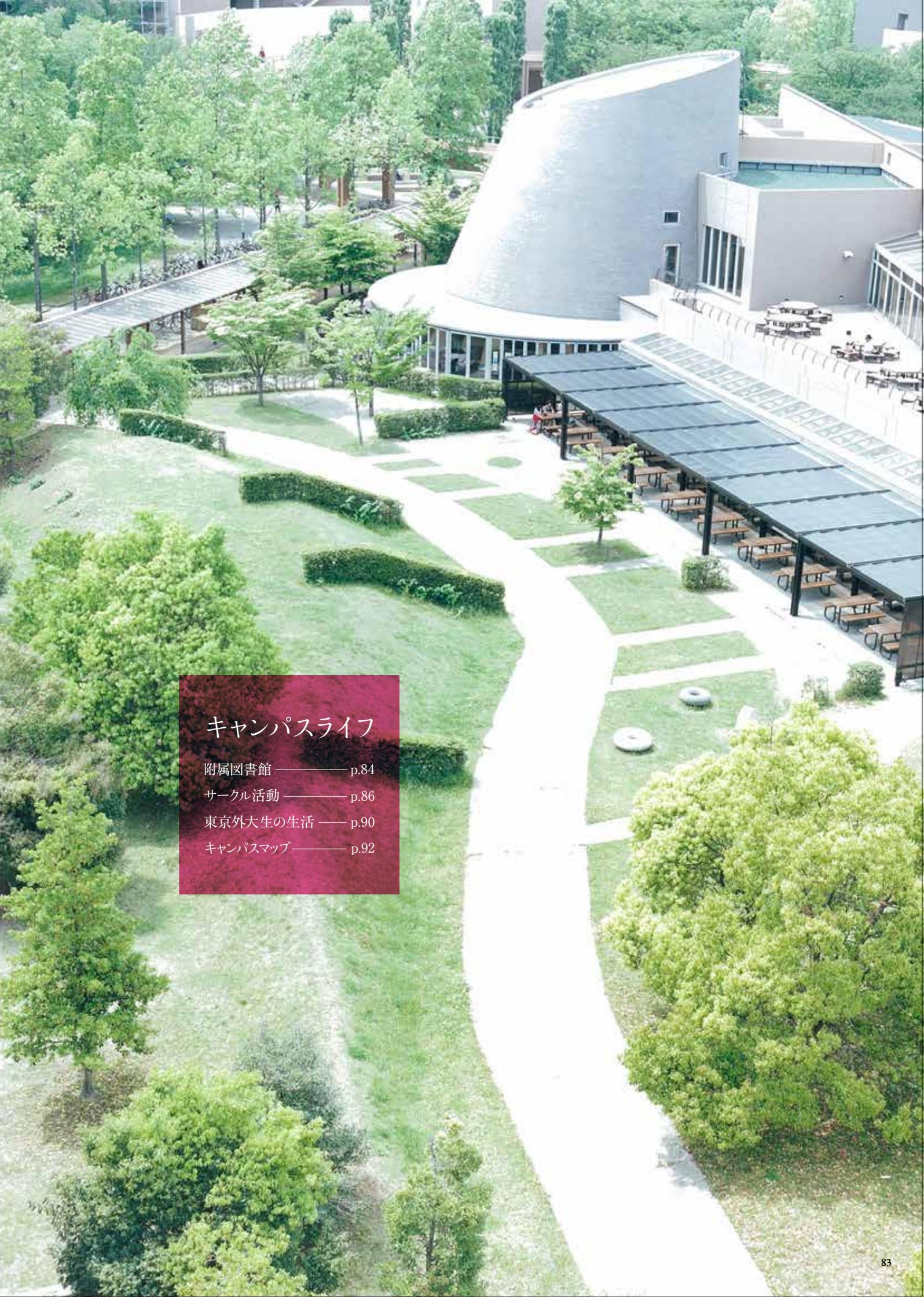
西東京三大学連携
理科系科目も充実

西東京三大学連携では、電気通信大学、東京農工大学、東京外国語大学が文理協働型のグローバル人材育成プログラムを行います。現在、東京農工大学との連携では、「現代農学の最前線—食料・生命・資源・環境の諸問題」や「農業実習」が開講されています。

幅広い連携

本学は、15大学・1研究所(中央大学、首都大学東京、国際基督教大学、東京女子大学、津田塾大学、お茶の水女子大学、東京藝術大学、東京農工大学、清泉女子大学、長岡技術科学大学、日本体育大学、電気通信大学、神田外語大学、日本貿易振興機構アジア経済研究所、名古屋外国語大学、神戸市外国語大学)と個別に教育・研究交流に関する協定を結び、教育・研究の協力を行っています。





キャンパスライフ

附属図書館 ————— p.84

サークル活動 ————— p.86

東京外大生の生活 — p.90

キャンパスマップ ————— p.92

附属図書館

100年以上の歴史をもつ東京外大の附属図書館は、世界各国から収集された260を超える言語による約70万冊の図書を所蔵しています。また、多言語コンシェルジュがレポートやプレゼンテーションへのアドバイスなど、学びをサポートを行っています。



世界各国から収集された蔵書の宝庫

附属図書館

附属図書館は、地上4階の建物です。2階をメインフロアに、2階から4階までの3層吹き抜けと大きなガラス窓による構造で、開放感あふれる造りとなっています。1階は、積層式の電動集書書架が設置され、コレクションや学術雑誌のバックナンバーが収蔵されています。3階は各分野の日本語・英語の基本図書、4階は多言語の言語・文学関係の図書を収蔵するほか、約130台の利用者用端末が配置されています。閉館時間は、21時45分。土日も開館しており、毎日夜遅くまで図書館でしっかりと勉強できます。

蔵書は多言語OPAC(オンライン蔵書目録)により、原綴り文字でもローマン・アルファベットへの翻字でも検索ができるようになっています。また、基本文献ガイド「TUFSS-ビブリオ」では、専門の教員が薦める各分野の基本文献のリストを公開し、地域言語・専攻語の辞書案内や、地域研究の基本文献を紹介しています。

オンラインジャーナル、e-Book コレクション、各種データベースも利用できます。「東京外国語大学学術成果コレクション」では、東京外国語大学の研究成果、および各種のプロジェクトで収集・電子化された史資料をインターネットで公開しています。

多摩地区の大学との連合により、多摩アカデミックコンソーシアム(TAC)加盟の大学の図書は、相互に、便利に利用できます。



多言語コンシェルジュが学びをサポート

TUFSS-ラーニングコモンズ

附属図書館4階にあるTUFSS-ラーニングコモンズ(愛称:@ラボ)は、「主体的な学習のための共有スペース」として利用されています。学生同士がグループで議論したり、プレゼンテーションの練習をする場として利用できる空間です。また、学習相談デスクが設置され、「多言語コンシェルジュ」と呼ばれる大学院生がレポートやプレゼンテーション、卒論など学習方法の悩みにアドバイスしてくれます。



多言語コンシェルジュからのメッセージ

大学院生
池田和希さん

私たち「多言語コンシェルジュ」は、大学院生の持つ専門を活かし、レポートや課題で困っている学生のお手伝いをしています。私はヨーロッパ政治と英語・イタリア語を担当していますが、相談は、基本的なレポートの書き方、論理の構成の仕方など、学部生が大学の課題に向き合う際に突き当たるものがほとんどです。大学での勉強は高校の勉強とは異なり、自分で資料を探し、自分で考え、表現することが求められます。そのような高校と大学の勉強の違いに困ったときは、私たちと一緒に考えてみましょう。図書館4階@ラボでお待ちしています。



■ 言語別の蔵書数



英語	123,176	モンゴル語	6,802	ウルドゥー語	8,013
ドイツ語	25,472	インドネシア語	4,843	ヒンディー語	19,520
フランス語	25,038	マレーシア語(マライ語)	4,254	ベンガル語	3,213
イタリア語	10,134	タガログ語(フィリピン語)	365	アラビア語	5,579
スペイン語	23,302	タイ語	5,399	ペルシア語	3,219
ポルトガル語	10,195	ラオス語(ラオ語)	2,225	トルコ語	4,083
ロシア語	42,110	ベトナム語	3,151	オランダ語	2,789
ポーランド語	6,577	カンボジア語(クメール語)	1,305	インド諸語	7,526
チェコ語	2,105	ビルマ語	3,540	その他	76,256
中国語	56,419			合計	704,571
韓国・朝鮮語	11,368				

2015年4月現在

情報ライフラインを支える

総合情報コラボレーションセンター(Information Collaboration Center)は、大学の学習・研究に欠かせない情報ライフラインを支えています。全学に800台近いPCを導入(学生5人あたり1台)し、末端まで1Gbpsの超高速ネットワークや、キャンパス全域での無線LANサー

ビスを実現しています。メール・サービス、ユーザファイル・システムはもちろん、学生向けには「情報基盤サービスページ(IISS)」を提供し、ホームページ、メールリストからいつでも利用できる環境が整っています。こうしたICCサービスは、学びを支え、充実させる基盤となっています。



サークル活動

1年次から4年次が過ごす東京外大のキャンパスでは、大学公認団体として、体育系サークル44団体、文化系サークル36団体が活動しています。舞踊、ダンス、語劇、国際交流やボランティアなど東京外大ならではのサークルもあります。



女子ラクロス部：みんな初心者ですが32人ほどで、楽しく元気にグラウンドを走り回っています。練習は基本的に週4回です。現在、4部から3部への昇格を目指して、練習に励んでいます。



球技

- アメリカンフットボール部
- ラグビー部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 硬式野球部
- 軟式野球部



▲ラグビー部：大学に入ってから始める人も多いです。
 ◆OB、OGも加え、みんなで仲良く、楽しく練習しています！

- 男子硬式庭球部
- 女子硬式庭球部
- 男子ソフトテニス部
- 女子ソフトテニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- バドミントン部
- 男女卓球部
- 女子ラクロス部
- 男子フライングディスク部
- 女子フライングディスク部
- フットサル部

陸上・滑走競技

- 男女陸上競技部
- フィギュアスケート部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部



東京外大のグラウンドのメインストリートは6レーンです。



男女陸上競技部：東京外大のグラウンドで週3回練習を行っています。さまざまな大会や駅伝に参加しますが、なかでも国公立大学対校戦と四大学対校戦は重要な大会に位置付けています。



端艇部：日本一を目標に、男女合わせて21人で活動しています。昨年は定期戦で3連覇、全日本級の大会で入賞を果たしました。1900年の創部以来、多くの先輩方が活躍し、現役部員の活動を支えています。共に日本一を目指し、仲間と切磋琢磨できる新入部員を待っています。

水中・水上競技

- 端艇部
- 水泳部

(注：ボートコース、水泳場は学外施設を利用)



◀端艇部：五大学レガッタ男子エイトで3連覇を達成しました。
 ▼水泳部：初心者から経験者までレベルに合わせて練習します。



空手道部：週3回、稽古に励んでいます。直接当たらない寸止め空手なので怪我の心配がなく、女子部員も多く活躍しています。空手は世界中で人気のスポーツなので、留学生もたくさん訪れます。在学中に未経験者でも黒帯がとれるようになります。

武道・武術

- 空手道部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 剣道部
- 合気道部
- 弓道部
- フェンシング部



剣道部：部訓は『直心』（相手を尊敬し、自己は謙虚になる）です。



弓道部：本多流を基本とし、毎日練習することができます。

サークル活動



フィリピン民族舞踊団：フィリピン文化の華といわれる民族舞踊を通して、その多様な文化を学び、多くの人に伝えることを目指しています。国内でのさまざまなイベントに加え、フィリピン、シンガポール、アメリカ、セルビアで公演し、踊りを通じて文化交流にも貢献してきました。

舞踊・ダンス

競技ダンス部

スペイン舞踊部

チアリーディング部

フィリピン民族舞踊団

ベリーダンス部

ストリートダンス部

クラシックバレエ部

インドネシア舞踊部

フラ・タヒチアンダンス部

朝鮮舞踊部

ボンダンス同好会



競技ダンス部：モダンとラテンを組み合わせて8種を踊ります。



インドネシア舞踊部：女性戦士が弓と矢を使い、祖国を守る様子の踊りです。



オーケストラ部：部員は90人ほどで、週2回の合奏練習と、週1回のパート練習を行い、春と秋の年2回の演奏会に向けて練習に励んでいます。演奏と運営の両面で、一人ひとりが役割を担っています。演奏会をつくり上げる喜びとともに、音楽で自分を表現する楽しさを経験することができます。

音楽・芸術

オーケストラ部

古典ギター部

カンテ研究会

サルサ研究会

NOPIA (ピアノ)

モダンジャズ研究所

ブラジル研究会

混声合唱団コール・ソレイユ

ロシア民謡研究会 ルムーク

アカペラサークル(LINES)

GMC (軽音)

ダルマ・ダーツ(軽音)

写真部

美術部

劇団ダダン

XBULL (コメディ)



軽音系サークルでは、外語祭のステージで演奏する部員もいます。



裏千家茶道倶楽部：大学会館の和室で、週1回は師範の先生から指導を受けています。年に数回お茶会を催し、毎回の趣向は部員で考えます。一つひとつの動作を丁寧に行うことを心掛けてお点前をすることで、よい姿勢と作法が身につきます。また、着物の着付けも練習します。

トラディショナル

伯牙会(和楽器)

華道部

表千家茶道部

裏千家茶道倶楽部

かるた会

着付けクラブ(IYEO)



伯牙会：琴、三味線など和楽器の演奏をしています。



かるた会：百人一首の札を取り合う「競技かるた」では、団体戦に参加します。



総合ボランティアサークル PeekABoo：大学を飛び出し、海外に飛び込んで活動する学生が多いのは、本学の特徴でもあります。国内で主に地域に根ざした活動を行っているのが、PeekABooです。地域のゴミ拾いや障害者施設のお手伝いなどを通して、みんなが笑顔になるように、との想いをこめて活動しています。その他の地域のボランティア活動は、ボランティア活動スペースVOLASのリーフレットをごらんください。

文化・ボランティア

ESS (英語研究会)

国際交流会(TOFSIA)

PeekABoo

(総合ボランティアグループ)

模擬国連

通訳研究会

ラテンアメリカの会(GIRASOL)

W-Win

うりぬり(日韓交流)

映画研究会

文芸部

VACS声優放送研究会

漫画研究会

Femme Cafe

くらふと(国際理解教育)



W-Win：アフリカへの給食送付のため学食プロジェクトを準備しています。

東京外大生の生活

世界各国の言語を学ぶ東京外大生のキャンパスライフでは、食事の時間はコミュニケーション力を高める絶好のチャンスです。学内の食堂やカフェテリアのランチタイムは、たくさんの学生が国際交流を行っています。また、東京外大生の実態調査の一部をご紹介します。



ワンコインで財布にやさしい

さぼおる

大学会館2F 11:00～18:30

1グラム当たり1円強のビュッフェ形式で、30品の中から好きなものだけを選んでメニューを決めることができます。リーズナブルな価格設定なので、昼食も夕食も『さぼおる』ですごす学生が多くいます。テイクアウト容器に盛って、持ち帰ることもできます。

多言語が飛び交うカフェテリア

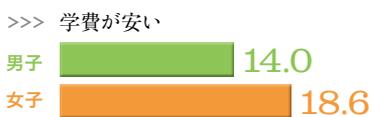
ミール

大学会館1F 11:00～14:00

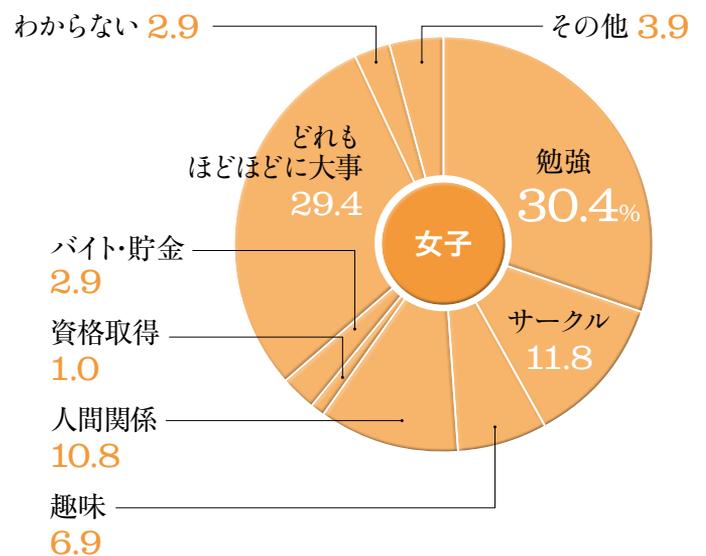
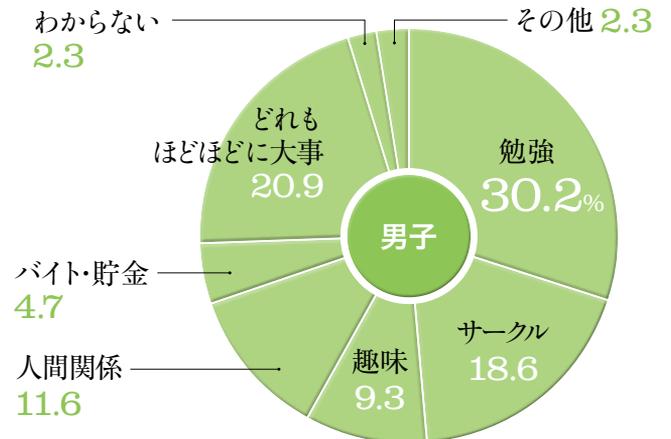
開放的なカフェテリア食堂です。丼物、麺から付け合わせの小鉢まで、豊富なメニューの中から自由に選択する方式です。また、食事の時間帯以外には、多くの学生が辞書を片手に勉強する姿が日常的に見られ、国際色豊かな雰囲気です。



東京外国語大学を選んだ理由は? ※複数回答含む



大学生活で大切なことは何ですか? ※1つ回答



キャンパスへの通学時間は?



キャンパスマップ

東京外大のキャンパスは、緑豊かな府中市に位置しています。キャンパスの最寄り駅の西武多摩川線「多磨駅」と京王線「飛田給駅」は、多磨霊園や味の素スタジアムでよく知られています。また、若者の人気スポットとして知られる吉祥寺へのアクセスがとても便利です。



1 アライバルコート

正門側にあるオブジェTUFSから中央広場へと続く緑の歩道。キャンパスのメイン・ストリートとして利用されています。



2 アグラ・グローバル

「地球の広場」という意味が込められた異文化交流施設。同時通訳設備のある501人収容可能なホールを備えています。



3 附属図書館

160を超える言語による書籍と資料を有しており、蔵書数は約69万冊。各国の新聞・雑誌、AV資料なども所蔵しています。



6 アジア・アフリカ言語文化研究所

7 保健管理センター



10 留学生日本語教育センター

文部科学省国費外国人留学生や東京外国語大学の交流協定校から来ている留学生のために、日本語教育が行われています。



4 本部管理棟

学費や奨学金などの事務手続きを行うほか、留学や就職、課外活動をサポートする窓口があります。入試に関する情報も提供しています。



5 中央広場・円形回廊

円形回廊はおもな建物をつないでおり、回廊の下を通れば雨の日も傘をささずに行き来できます。外語祭では多くの人で賑わいます。



8 学生会館(食堂・売店)

3種類の食堂と売店があります。130人収容可能な集会室のほか、デッキ・テラスも備えています。学生が憩い、交流する場となっています。



9 研究講義棟

中央通路が地上8階までの吹き抜け構造となっています。ガラスの屋根から光が差し込む開放感のある建物です。



11 屋内運動場・課外活動施設・弓道場

屋内施設は、サークル活動を楽しむ場として、多くの学生が利用しています。



12 テニスコート

13 運動場

14 国際交流会館



1. 一般入試

※詳細は、「平成29年度入学者選抜要項」及び各募集要項でご確認ください。(http://www.tufs.ac.jp/admission/)

言語文化学部

学科	入学定員	募集単位 (言語)	募集人員		入学後の配属地域
			前期日程	推薦入試	
言語文化学科	355人	英語	39人	2人	北西ヨーロッパ 北アメリカ
		ドイツ語	25人	2人	中央ヨーロッパ
		ポーランド語	7人	—	
		チェコ語	7人	—	
		フランス語	25人	2人	西南ヨーロッパ
		イタリア語	14人	—	西南ヨーロッパ ラテンアメリカ
		スペイン語	28人	2人	
		ポルトガル語	13人	—	西南ヨーロッパ ラテンアメリカ
		ロシア語	28人	2人	ロシア(24人) 中央アジア(6人)
		モンゴル語	7人	—	中央アジア
		日本語	10人	—	日本
		中国語	26人	2人	東アジア
		朝鮮語	14人	—	
		インドネシア語	10人	—	東南アジア
		マレーシア語	5人	—	
		フィリピン語	7人	—	
		タイ語	7人	—	
		ラオス語	5人	—	
		ベトナム語	6人	—	
		カンボジア語	5人	—	
		ビルマ語	5人	—	南アジア
		ウルドゥー語	7人	—	
		ヒンディー語	10人	—	
ベンガル語	5人	—			
アラビア語	14人	—	西アジア・ 北アフリカ		
ベルシア語	7人	—			
トルコ語	7人	—			
合計	355人		343人	12人	

注意点

- ・複数の配属地域がある言語を志願する場合は、出願時に希望する配属地域を1つ選択する。
- ・ロシア語について
「ロシア語」を志願する者の配属地域は、教育カリキュラム上の観点から、入学後の配属地域欄記載の人数割合を目安として合格者を配属する。そのため、ロシア語を志願する場合は、出願時に2つの地域について希望順位を届け出ること。配属地域の決定にあたっては、入学者選抜結果の上位者から出願時に届け出た希望順によって決定する。
なお、配属地域に「中央アジア」を選択した場合、入学後、1年次からのロシア語に加え、2年次以降ウズベク語も学ぶ。

国際社会学部

学科	入学定員	募集単位 (地域)	募集人員		入学後の配属言語 (前期日程の 配属言語の目安)
			前期日程	後期日程	
国際社会学科	360人	北西ヨーロッパ	6人	5人	英語
		中央ヨーロッパ	28人	13人	ドイツ語(18人) ポーランド語(5人) チェコ語(5人)
		西南ヨーロッパ第1	27人	14人	フランス語(18人) イタリア語(9人)
		西南ヨーロッパ第2	11人	6人	スペイン語(8人) ポルトガル語(3人)
		ロシア	17人	8人	ロシア語
		北アメリカ	11人	5人	英語
		ラテンアメリカ	18人	9人	スペイン語(12人) ポルトガル語(6人)
		日本	5人	—	日本語
		東アジア	30人	12人	中国語(19人) 朝鮮語(11人)
		中央アジア	13人	—	モンゴル語(7人) ロシア語(6人)
		東南アジア第1	14人	7人	インドネシア語(6人) マレーシア語(3人) フィリピン語(5人)
		東南アジア第2	18人	10人	タイ語(5人) ラオス語(3人) ベトナム語(4人) カンボジア語(3人) ビルマ語(3人)
		南アジア	14人	7人	ウルドゥー語(5人) ヒンディー語(6人) ベンガル語(3人)
		西アジア・ 北アフリカ	19人	8人	アラビア語(9人) ベルシア語(5人) トルコ語(5人)
		アフリカ	10人	5人	英語
		オセアニア	10人	—	英語
		合計	360人		251人

注意点

- ・前期日程志願者のうち、複数の配属言語がある地域を志願する者は、出願時に配属言語のすべてについて希望順位を届け出ること。前期日程合格者の配属言語は、入学者選抜結果の上位者から希望順に決定する。
- ・前期日程合格者の配属言語は、入学後の配属言語欄記載の人数割合を目安とする。
- ・後期日程志願者のうち、複数の配属言語がある地域を志願する者は、出願時に希望する配属言語を1つ選択する。
- ・後期日程合格者の配属言語は、希望どおりに決定する。
- ・中央アジア地域においては、配属言語にロシア語を選択した場合、入学後、1年次からのロシア語に加え、2年次以降ウズベク語も学ぶ。
- ・アフリカ地域においては、入学後、1年次からの英語のほかフランス語、ポルトガル語又はアラビア語のうちの1つと3年次以降にスワヒリ語も学ぶ。

2. 入学者選抜の種類

学部	一般入試		特別入試				
	前期日程	後期日程	推薦入試 (言語文化学部)	帰国生等特別推薦 (国際社会学部)	帰国子女	私費外国人留学生 (日本語/日本地域以外)	外国人留学生 (日本語/日本地域)
言語文化学部	○	—	○(注1)	—	○	○	○
国際社会学部	○	○(注2)	—	○	○	○	○

(注1) 一部言語(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語)についてのみ実施します。

(注2) 一部募集を行わない地域があるのでご注意ください。なお、詳細は、「入学者選抜要項」をご確認ください。

3. 各入学試験について

※詳細は、「平成29年度入学者選抜要項」及び各募集要項をご確認ください。(http://www.tufs.ac.jp/admission/)

入試区分/実施学部	概要	日程	募集要項 公表時期
一般入試 (前期日程) ■言語文化学部 ■国際社会学部	言語文化学部及び国際社会学部は、大学入試センター試験と本学学力検査「外国語」「地理歴史(日本史または世界史)」(前期日程試験)の成績及び調査書の内容で評価する一般入試を実施します。	出願：1月下旬～2月上旬	募集要項：11月下旬
一般入試 (後期日程) ■国際社会学部	国際社会学部では、大学入試センター試験と本学学力検査「外国語」(後期日程試験)の成績及び調査書の内容で評価する一般入試を実施します。	出願：1月下旬～2月上旬	募集要項：11月下旬
推薦入試 ■言語文化学部	言語文化学部では、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語を志願するものについて、大学入試センター試験の成績、学校長の推薦書、志望理由書及び調査書で総合評価する推薦入試を実施します。これは、本学の特色・専門分野に興味を持ち、高等教育を受けるための基礎学力を確実に身につけた志願者を、学校長からの推薦を受け、選抜するものです。	出願：1月中旬～1月下旬	募集要項：11月下旬
帰国生等特別推薦入試 ■国際社会学部	国際社会学部では、外国の教育制度に基づく教育機関で一定期間中等教育を受けた学生を対象に、小論文、面接等により総合評価する帰国生等特別推薦入試を実施します。これは、グローバル化に伴う多様な人の移動が作り出す近年の現実に対応し、豊かな国際感覚をもつ学生の就学機会を広げるための入試です。	出願：11月上旬頃	募集要項：8月上旬
帰国子女特別入試 ■言語文化学部 ■国際社会学部	言語文化学部及び国際社会学部では、保護者の海外勤務等に帯同し、やむを得ない事情により外国の学校教育を受けてきたものを対象に、大学入試センター試験は免除し、修了教育機関における成績等と本学学力検査(一般入試の前期日程試験)により選抜する特別入試を実施します。	出願：11月下旬頃	募集要項：8月上旬
私費外国人留学生入試 (日本語/日本地域以外) ■言語文化学部 ■国際社会学部	言語文化学部(日本語)、国際社会学部(日本地域)以外に入学することを希望する留学生に対し、日本留学試験(日本語)の成績、本学学力検査(一般入試の前期日程試験)、及び高等学校に相当する学校の成績証明書の内容を総合して判定する「私費外国人留学生入試」を実施します。	出願：11月下旬頃	募集要項：8月上旬
外国人留学生入試 (日本語/日本地域) ■言語文化学部 ■国際社会学部	言語文化学部(日本語)、国際社会学部(日本地域)に入学することを希望する留学生に対し、日本留学試験(日本語及び総合科目)の成績と、本学学力検査「日本語」の成績、及び高等学校に相当する学校の成績証明書の内容を総合して判定する「外国人留学生入試(日本語/日本地域)」を実施します。	出願：11月上旬～11月下旬頃	募集要項：8月上旬

4. 入試情報等へのアクセス

※最新の入試情報は、本学のホームページ(http://www.tufs.ac.jp/admission/)でご確認ください。

〈学生募集要項等の請求・照会先〉

1 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接請求することができます。詳細は本学ホームページでご確認ください。

http://www.tufs.ac.jp/admission/application

2 テレメールで請求する場合

1. インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)または自動音声対応電話をご利用ください。

インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)の場合	自動音声対応電話の場合
http://telemail.jp	IP電話 050-8601-0101
バーコード ※対応する携帯電話でコードが読み取れます。 	※IP電話は一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

2. 本学の資料請求番号6桁を入力またはプッシュしてください。

資料名	資料請求番号
学部入学案内	562520
入学者選抜要項	582520
入学者選抜要項と学部入学案内	562500
一般入試募集要項	582500
一般入試募集要項と学部入学案内	542500
推薦入試募集要項(言語文化学部)	545030

※入学者選抜要項は平成28年7月下旬頃より発送を予定しております。

3.あとはガイダンスに従って登録してください。

*受付から2、3日で送付されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。なお、5日以上経っても届かない場合にはテレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

*料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従い、表示金額をお支払いください。

*自動音声対応電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話ください。録音された音声不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。

※上記1、2を利用した請求についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

3 本学へ直接請求する場合

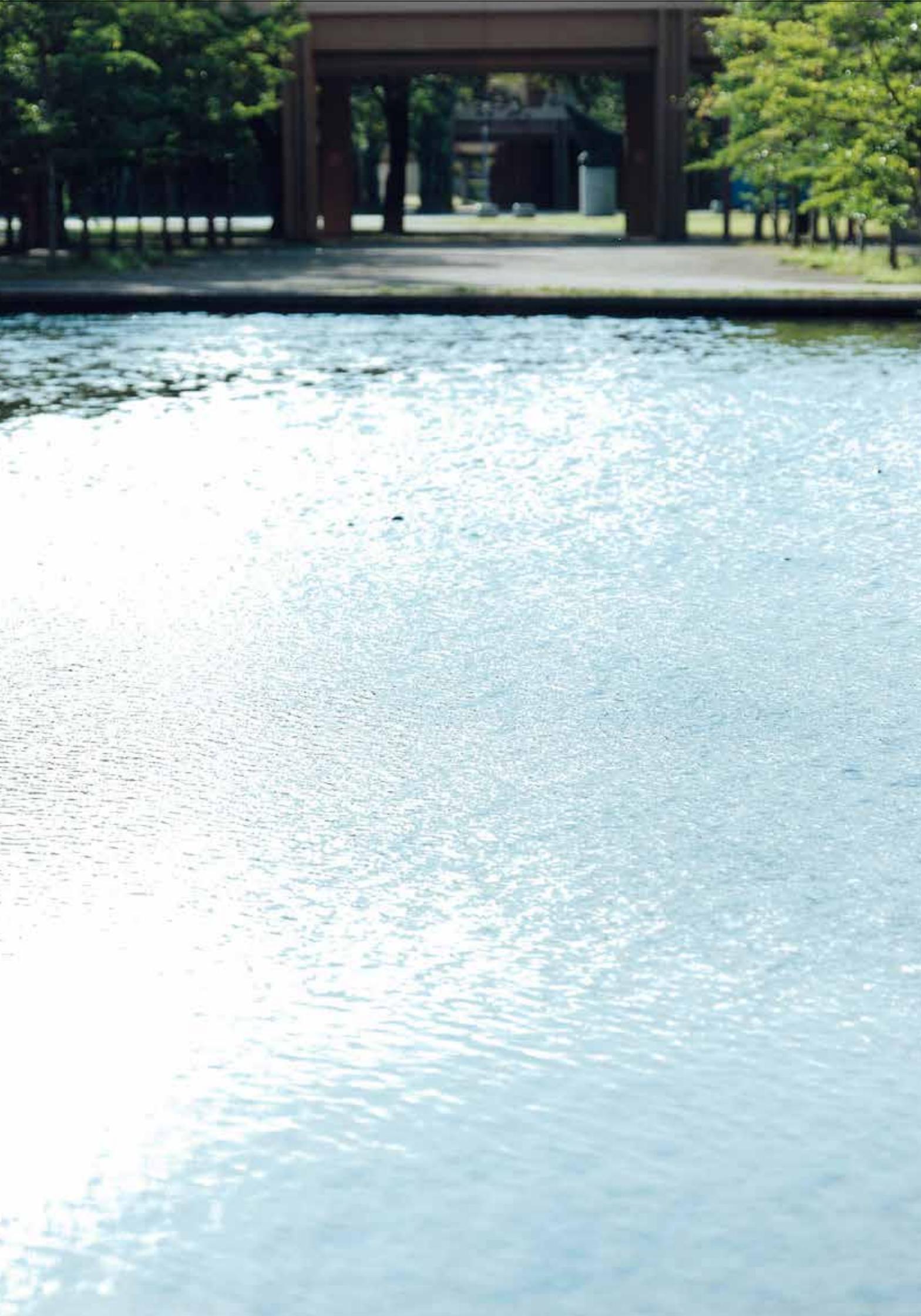
直接、本部管理棟の入試課窓口までお越しください。

請求・照会先

東京外国語大学 学務部入試課入学試験係

TEL 042-330-5179

(窓口・電話受付時間：月～金 9:00～12:00、13:00～17:00)



キャンパスへのアクセス

府中キャンパス

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

入試については 042-330-5179 (入試課)

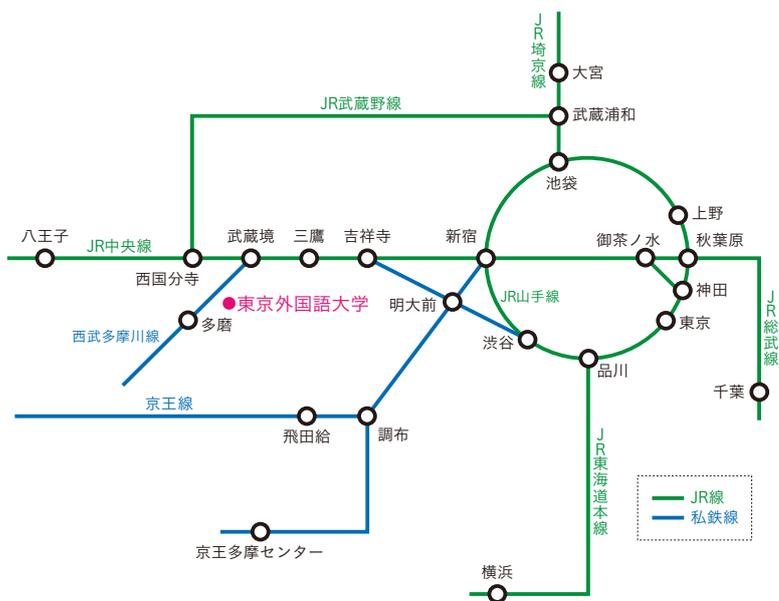
それ以外については 042-330-5158 (戦略支援室)



電車: JR中央線武蔵境駅
 → 西武多摩川線多磨駅
 → キャンパス 5分

バス: 京王線飛田給駅 → キャンパス 7分
 京王バス「多磨駅行き」のバスで「東京外国語大学前」下車

徒歩: 京王線飛田給駅 → キャンパス 20分



多磨駅までのアクセス ※目安時間

- 東京駅から 46分 中央線快速利用
- 上野駅から 52分 京浜東北線・中央線快速利用
- 横浜駅から 67分 東海道本線利用
- 千葉駅から 98分 総武線快速・中央線快速利用
- 大宮駅から 69分 埼京線・武蔵野線利用

東京外国語大学学部入学案内2017
 2016年(平成28年)3月31日 第1刷発行
 2016年(平成28年)6月3日 第2刷発行
 発行者: 立石博高
 発行所: 国立大学法人東京外国語大学
 住所: 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
 電話: 042-330-5158 (戦略支援室)
 E-mail: sr@tufs.ac.jp
 協力: 東京外国語大学写真部

掲載されている記事・写真・
 図表などの無断転載を禁じます。
 掲載している情報は、
 記事執筆時点のものです。



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies



2016年 オープンキャンパス

第1回 7月10日(日)

第2回 11月19日(土)

※上記日程は3月1日現在の予定となります。
日程等が変更となる場合は、
東京外国語大学ホームページで
あらためご案内させていただきます。

国立大学法人 東京外国語大学
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
<http://www.tufs.ac.jp>

入試に関するお問い合わせ先
入試課：Tel 042-330-5179

その他の質問のお問い合わせ先
戦略支援室：Tel 042-330-5158

2016年3月31日発行
